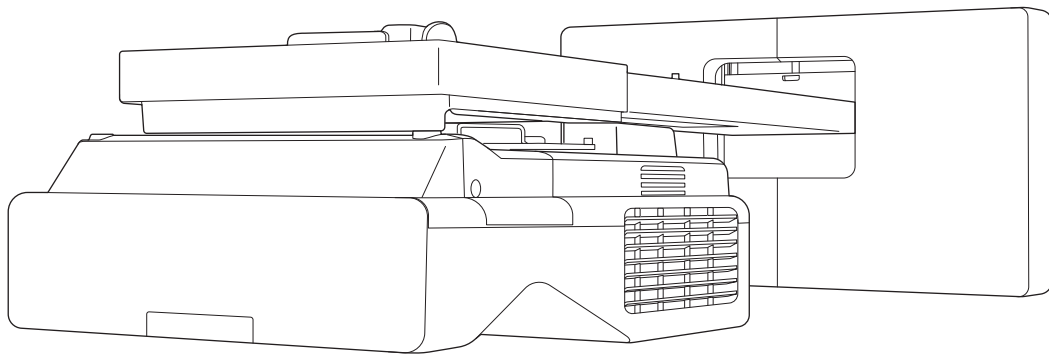


EB-735Fi
EB-725Wi
ELPMB62
ELPFT01
ELPMB63

設置工事説明書



本書の記載

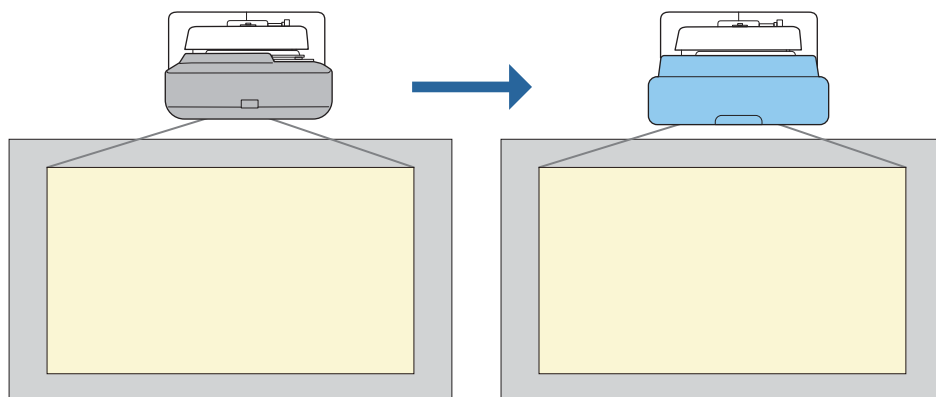
本書では下記の内容を説明しています。

- 壁掛け金具（ELPMB62）を使った超短焦点プロジェクター（EB-735Fi/EB-725Wi）の取り付け方法
- タッチユニット（ELPFT01）の取り付け方法
- タッチユニット取り付け金具（ELPMB63）を使ったタッチユニットの取り付け方法
- ペンスタンドの取り付け方法

同梱されていない機器や金具はオプション品としてお買い求めいただけます。

置き換え設置について

既に壁掛け設置されているプロジェクターとEB-735Fi/EB-725Wiを置き換えて、同じ位置に同じサイズの映像を投写できます。



置き換え設置の条件

置き換え設置を行うときは、以下の条件に当てはまるか事前にご確認ください。

- 設置されているプロジェクターが以下のいずれかであること
 - EB-485WT
 - EB-485W
 - EB-480T
 - EB-480
 - EB-595WT
 - EB-590WT
 - EB-585W
 - EB-580
 - EB-695WT
 - EB-685WT
 - EB-685W
 - EB-680
- 設置されている壁掛け金具が以下のいずれかであること
 - ELPMB28
 - ELPMB43
 - ELPMB46
- 65～100型までのサイズで投写していること
- プロジェクター同士が同じ解像度であること

置き換え設置の流れ（一例）

置き換え設置は下記の流れで行います。お使いの金具やプロジェクターとイラストが異なる場合があります。金具の詳しい取扱方法や調整方法は、既に設置されているプロジェクターまたは壁掛け金具の『設置工事説明書』をご確認ください。

1 古いプロジェクターを取り外す

- エンドキャップを取り外す（必要に応じてウォールプレートカバーも取り外す）
- セッティングプレートから調整ユニットを取り外す

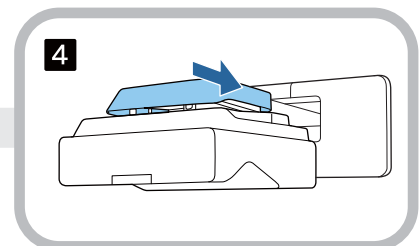
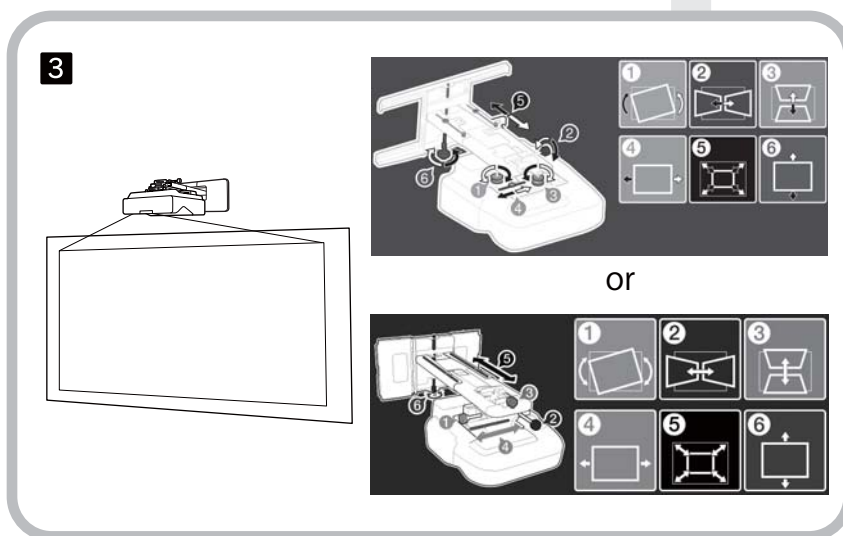
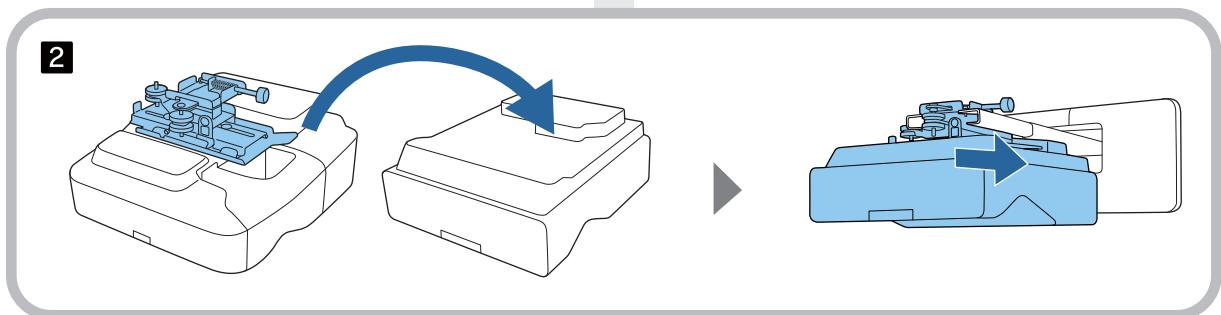
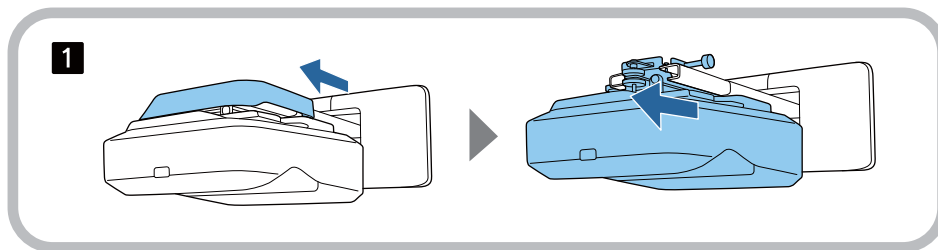
2 新しいプロジェクターを取り付ける

- 古いプロジェクターから調整ユニットを取り外し、新しいプロジェクターに取り付ける
- 調整ユニットをセッティングプレートに取り付ける

3 映像を微調整する

映像を投写して、金具の調整ダイヤルやプロジェクターの補正機能で映像の位置を微調整する

4 エンドキャップを取り付ける



本書について

本書の記載	1
置き換え設置について	2
置き換え設置の条件	2
置き換え設置の流れ（一例）	3

はじめに

安全にお使いいただくために	6
安全に関する表示	6
記号の意味	6
同梱品一覧	7
壁掛け金具	7
金具本体	7
付属品	8
タッチユニット	9
タッチユニット取り付け金具	10
ペンスタンド	10
準備が必要なもの	11
設置の流れ	12
取り付け寸法図	13
複数台の 프로젝ターを近くに設置する ときは	15
複数台のタッチユニットを近くに設置する ときは	16

壁掛け金具設置

壁掛け金具の設置に関するご注意	17
壁掛け金具の設置場所に関するご注意	20
壁掛け金具仕様	22
外形寸法	23
調整範囲	25
上下スライド	25
水平スライド	26
前後スライド	26
ミニPC取り付け用プレート	27
アクセサリ取り付け部	27
壁掛け金具取り付け手順	28

金具の取り付け	29
設置位置を決める（投写距離表）	29
EB-735Fi	31
EB-725Wi	39
調整ユニットを 프로젝ターに取り付ける	44
ウォールプレートを壁に取り付ける	45
セッティングプレートをウォールプレートに取り付ける	48
セッティングプレートに調整ユニットを取り付ける	53
周辺機器を取り付ける	54
投写映像の位置調整	57
調整前の準備	58
自動画面調整	60
セッティングプレート調整ガイドを使った手動調整	64
프로젝ターメニューを使った調整	67
カバーの取り付け	73
セキュリティケーブルの取り付け	74

ペンスタンド設置

ペンスタンドに関するご注意	76
ペンスタンド仕様	77
外形寸法	77
ペンスタンド取り付け手順	78
マグネットで固定する場合	78
ネジで固定する場合	79

インタラクティブペン調整

インタラクティブペンの位置合わせ	81
手動ペン位置合わせ	81
自動ペン位置合わせ	83

タッチユニット設置

タッチユニットに関するご注意	85
電波障害自主規制について	85
タッチユニットの設置場所	86
タッチユニット取り付け金具に関するご注意	87
レーザーに関するご注意	88

添付のラベルについて	88
レーザー照射口	88
タッチユニット仕様	89
外形寸法	89
タッチユニット取り付け金具仕様	90
外形寸法	90
調整範囲	91
旧モデルのタッチユニットをお使いの ときは	92
タッチユニット取り付け手順	93
赤外線ディフレクターを取り付ける	93
タッチユニットを取り付ける	94
取り付け金具を使わずに投写面に取り付 ける場合	94
取り付け金具を使って投写面以外に取り 付ける場合	97
セキュリティケーブルを取り付ける ...	101
タッチユニットの電源を入れる	102
レーザーの角度を調整する（タッチユニッ ト自動調整）	103
自動調整に失敗したときは	108
指タッチ操作の位置合わせ	117

プロジェクター設定

一括設定機能	120
USBメモリーを使って設定する	120
設定値をUSBメモリーに保存する	120
保存した設定値を他のプロジェクターに 反映する	122
コンピューターとプロジェクターをUSBケ ーブルで接続して設定する	123
設定値をコンピューターに保存する ...	123
保存した設定値を他のプロジェクターに 反映する	124
設定がうまくいかないときは	125
本機を複数台並べて設置する（マルチ プロジェクション）	127
プロジェクターID の設定	127
マルチプロジェクションの映像調整	129
EB-735Fi/EB-725Wiをお使いの場合	129

プロジェクターの同期設定（インタラクテ ィブ機能を使う場合のみ）	130
---	-----

付録

安全規格対応シンボルマークと説明	132
商標について	135

安全にお使いいただくために



本製品を安全にお使いいただくために、お使いの前に必ず本書をお読みください。本書の内容に反した取り扱いが故障や事故の原因となります。本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

プロジェクターの『取扱説明書』と『安全にお使いいただくために』も合わせてご確認ください、取り扱いの注意事項をお守りください。




安全に関する表示

取扱説明書および本製品には、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

記号の意味

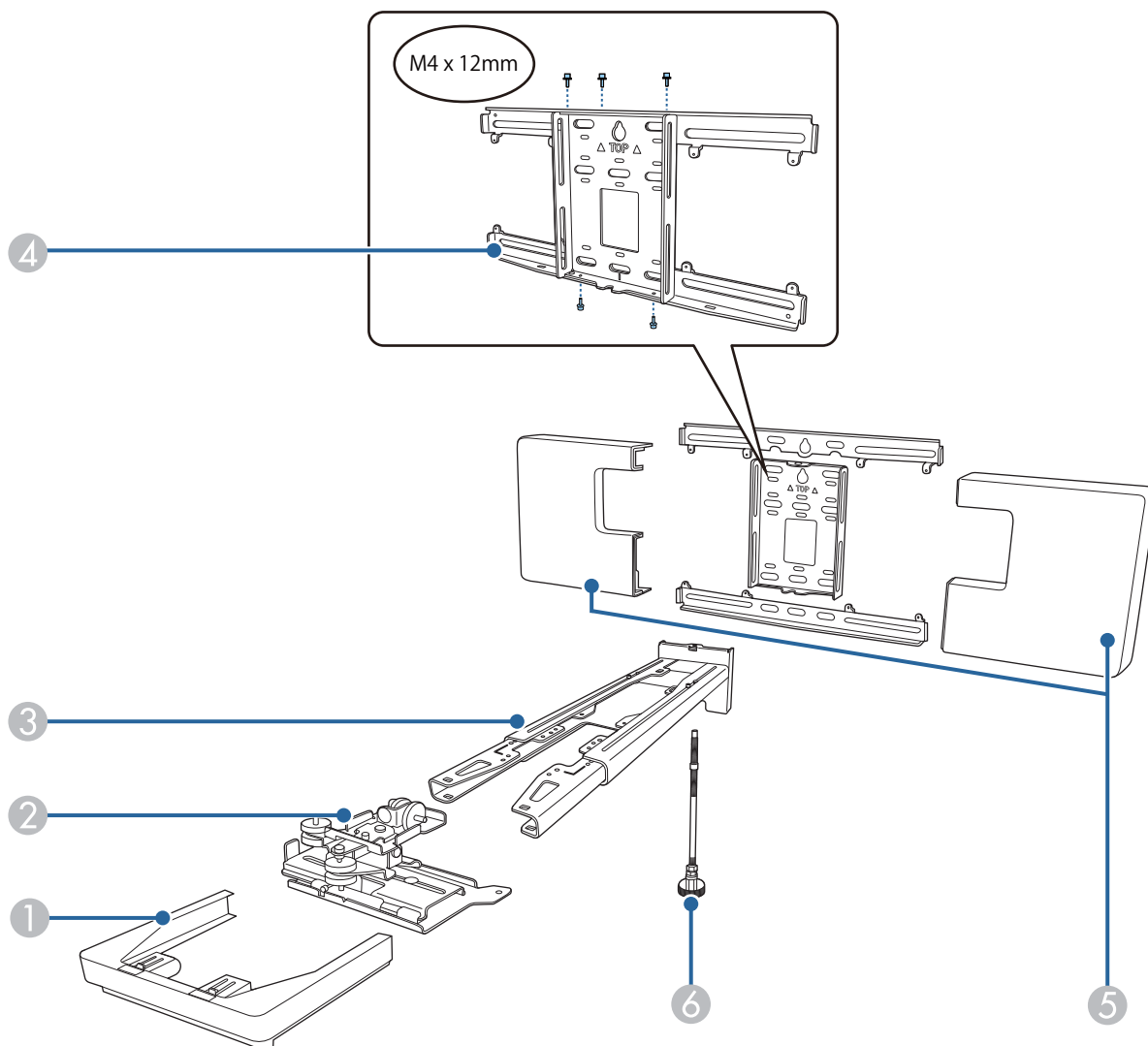
記号	意味
	行為を禁止する記号
	行為を指示する記号
	関連する情報や知っておくと便利な情報

同梱品一覧

取り付けに必要な同梱品がすべて揃っていることをご確認ください。

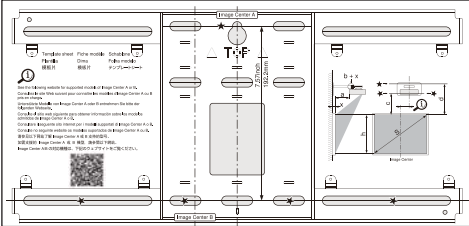
壁掛け金具

金具本体



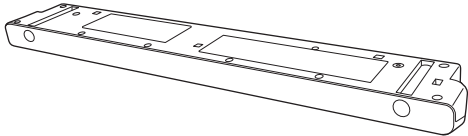
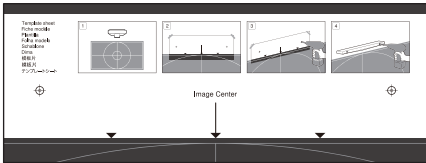
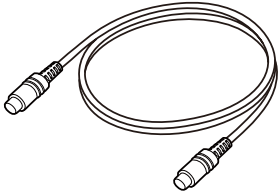
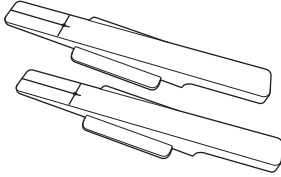

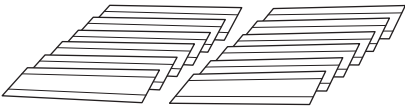
No.	パーツ名
①	エンドキャップ
②	調整ユニット
③	セッティングプレート
④	ウォールプレート
⑤	ウォールプレートカバー
⑥	六角軸

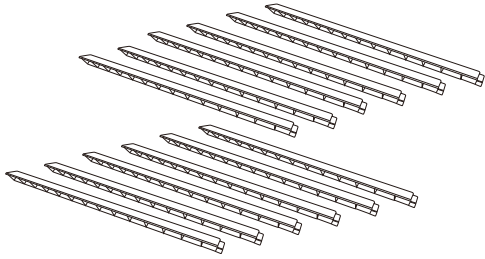
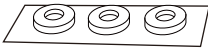
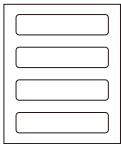
■ 付属品

パーツ	名称	用途
	テンプレートシート	ウォールプレートを取り付ける前に壁に貼りつけて、必要なネジ穴を開けるために使います。
	ミニPC用プレート	ミニPCやスティックPCを取り付けるときに、ウォールプレートに取り付けます。
	ミニPC用ベルト	ネジ固定ができないミニPCやスティックPCを取り付けるときに、PCをプレートに固定するために使います。
	ケーブル結束用ベルト	配線後に余ったケーブルを束ねます。
	目隠しシール	設置後にセッティングプレートの隙間が気になるときに貼りつけます。
	セーフティワイヤーセット	プロジェクターの落下を防ぐために、壁掛け金具とプロジェクターを繋ぎます。詳しい使い方はセーフティワイヤーセットに付属の取扱説明書をご確認ください。
	六角レンチ (M4 用)	-
	スパナ (呼び13、M6 用)	-
	M4 x 12mm 六角穴付きボルト ワッシャー/スプリングワッシャーあり (13本)	<ul style="list-style-type: none"> • p.7で示した図の通り、ウォールプレートを組み立てるために使います (5本) • 調整ユニットをプロジェクターに固定するために使います (4本) • 調整ユニットをセッティングプレートに固定するために使います (4本)

パーツ	名称	用途
	M6 x 20mm 六角段付きボルト ワッシャー/スプリングワッシャーあり (1本)	セッティングプレートウォールプレートに固定するために使います。
	M6 x 20mm 十字穴付き段付きネジ プラスチックワッシャーあり (3本)	
	M3 x 6mm 十字穴付きネジ (4本)	ミニPC用プレートウォールプレートに固定するために使います。

タッチユニット

パーツ	名称	用途
	タッチユニット本体	-
	テンプレートシート (タッチユニットネジ固定用)	タッチユニットをネジで固定する場合に事前に貼りつけて、必要なネジ穴を開けるために使います。
	タッチユニット接続ケーブル (約1.8m)	タッチユニットをプロジェクターに接続するために使います。
	マーカー2個	タッチユニットから照射されるレーザーの角度調整を行うときに使います。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> お使いいただく中で指タッチ操作がうまく動かなくなった場合、レーザーの再調整を行うときにマーカーを再度使います。設置後も保管してください。</div>
	マーカー固定用テープ (約6cm) 12枚	マーカーを投写面に固定するために使います。

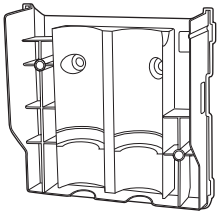
パーツ	名称	用途
	赤外線ディフレクター (約28.5cm) 12本	投写面の下部にトレイやフレームがあるときに使います。レーザーの反射による誤動作を防ぎます。
	ネジ穴用スペーサー 3個	タッチユニットをネジで固定するときに、ネジ穴に貼りつけます。
	目印ラベル4枚	タッチユニットをマグネットで固定したあとに貼りつけます。使用中に位置がずれて再設置するときの目印になります。

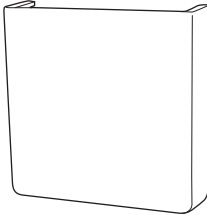
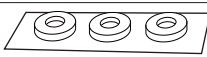
タッチユニット取り付け金具

タッチユニットを投写面以外に取り付けるときに使います。

パーツ	名称	用途
	タッチユニット取り付け金具本体	-
	テンプレートシート (タッチユニット取り付け金具用)	取り付け金具を固定する前に貼りつけて、必要なネジ穴を開けるために使います。
	六角穴付きボルト M4 x 25mm 2本	取り付け金具にタッチユニットを固定するために使います。
	六角レンチ (M4 用)	-

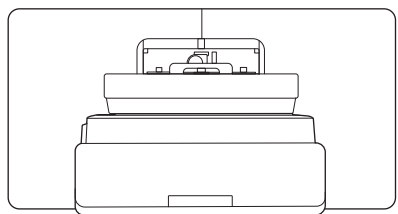
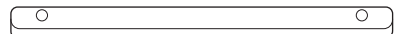
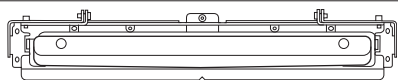
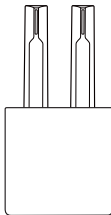
ペンスタンド

パーツ	名称	用途
	本体	-

パーツ	名称	用途
	カバー	ペンスタンドの前面に取り付けます。
	ネジ穴用スペーサー 3個	ペンスタンドをネジで固定するとき、ネジ穴に貼りつけます。

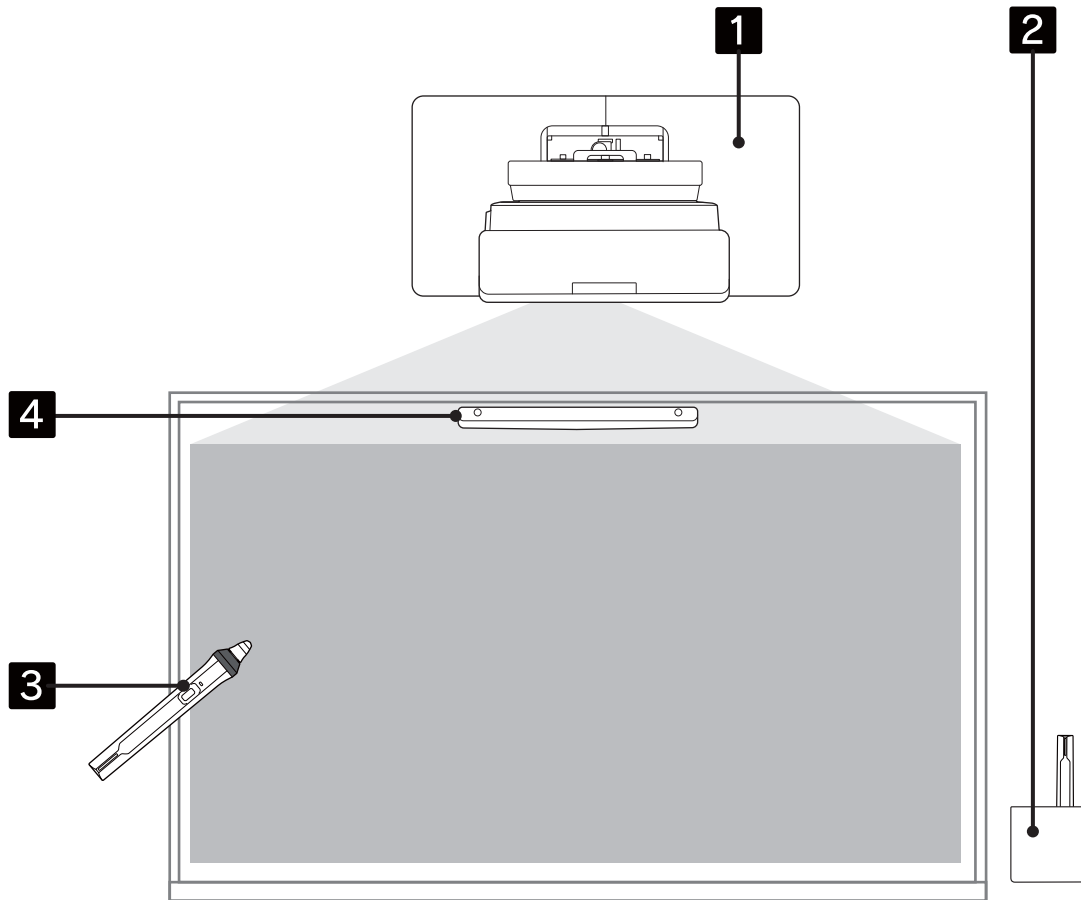
準備が必要なもの

同梱品以外に、別途準備が必要なネジ類や工具は以下のとおりです。

対象パーツ	必要なもの
	壁掛け金具用 <ul style="list-style-type: none"> • M10 または3/8インチx 60mmアンカーボルト（ウォールプレート固定用：4本以上） • M10ネジ（ウォールプレート仮留め用：1本） • 17mm ラチェットレンチ（六角軸の調整用） • プロジェクターと接続するケーブル類 • ミニPC等の機器類
	タッチユニット用 <ul style="list-style-type: none"> • M4ネジ（タッチユニット固定用：2本）
	タッチユニット取り付け金具用 <ul style="list-style-type: none"> • 金具固定用のアンカーボルトまたはネジ（取り付ける面の材質に応じて） <ul style="list-style-type: none"> • M4のアンカーボルト（4本） • 直径3.8mm、全長45mm以上の木ネジ（4本）
	ペンスタンド用 <ul style="list-style-type: none"> • M4 x 20mmネジ（2本）

■ 設置の流れ

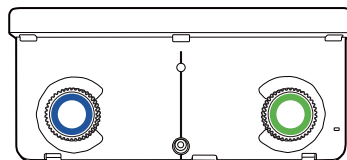
プロジェクターや周辺機器の取り付けは、下記の順番で行うことをお勧めします。



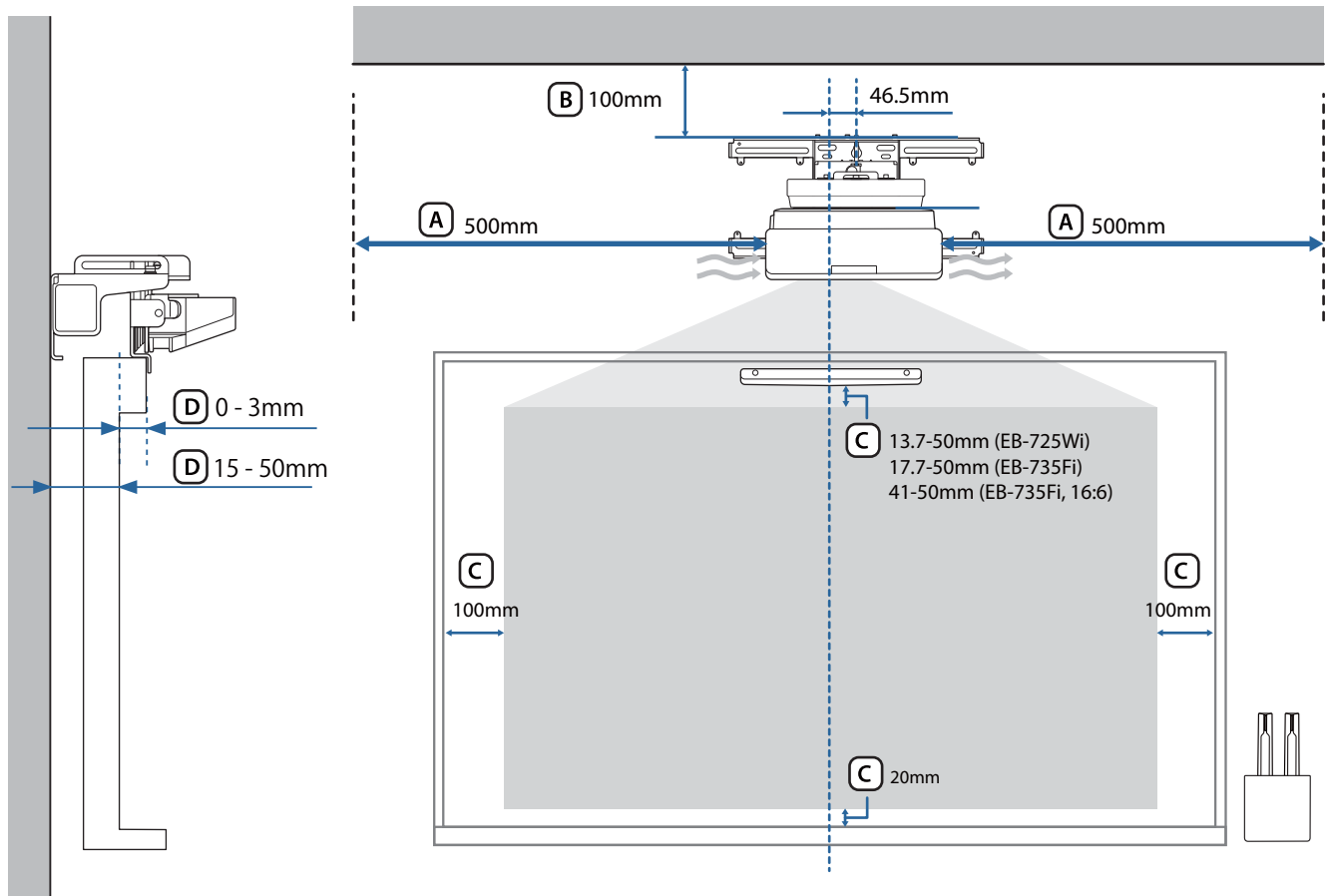
- 1 プロジェクターの壁掛けと調整 (☞ p.17)
- 2 ペンスタンドの取り付け (☞ p.76)
- 3 ペンの位置合わせ (☞ p.81)
- 4 タッチユニットの取り付けと調整 (☞ p.85)



設置済みのタッチユニット (下図参照) をそのまま使う場合は、レーザーの角度調整 (p.103) から実施してください。



取り付け寸法図



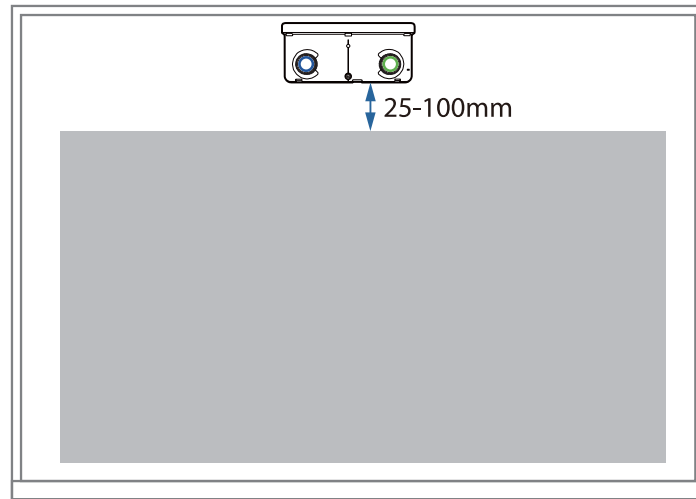
⚠ 注意

- プロジェクターを設置するときは、プロジェクターの排気口や吸気口を壁などから離してください。(上図 **(A)** 参照)
- タッチユニットを使用する場合は、投写画面の周囲に必要なスペースを空けてください。(上図 **(C)** 参照)
- タッチユニット取り付け金具を使ってタッチユニットを取り付ける場合は、スクリーン周囲の枠の厚みと、取り付け面からスクリーン表面までの長さを確認してください。(上図 **(D)** 参照)



天井からウォールプレート上端までの間を約100mm空けると、プロジェクターの設置や取り外し時に作業しやすくなります。(上図 **(B)** 参照)

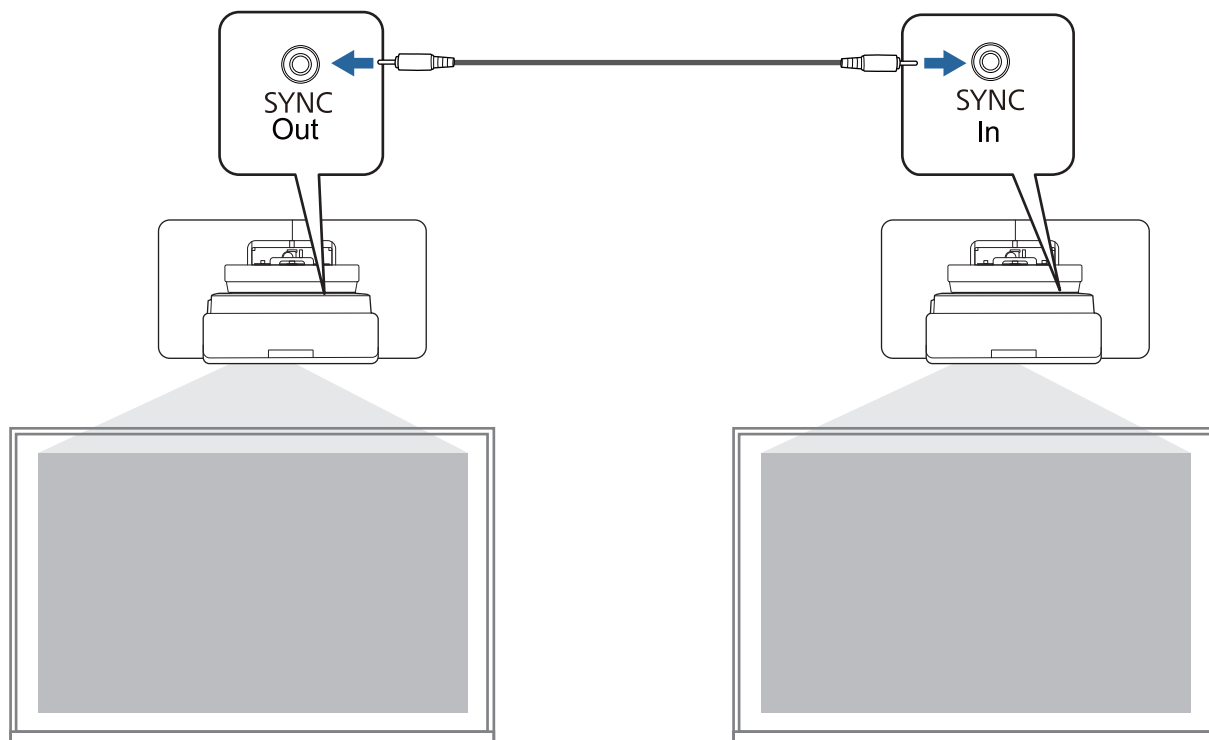
設置済みのタッチユニットをそのまま使う場合は、タッチユニット下端から映像上端までの間を25～100mm空けてください。投写サイズやアスペクト比を変えて投写する場合は、タッチユニットの再設置が必要になることがあります。



複数台の 프로젝ターを近くに設置するときは

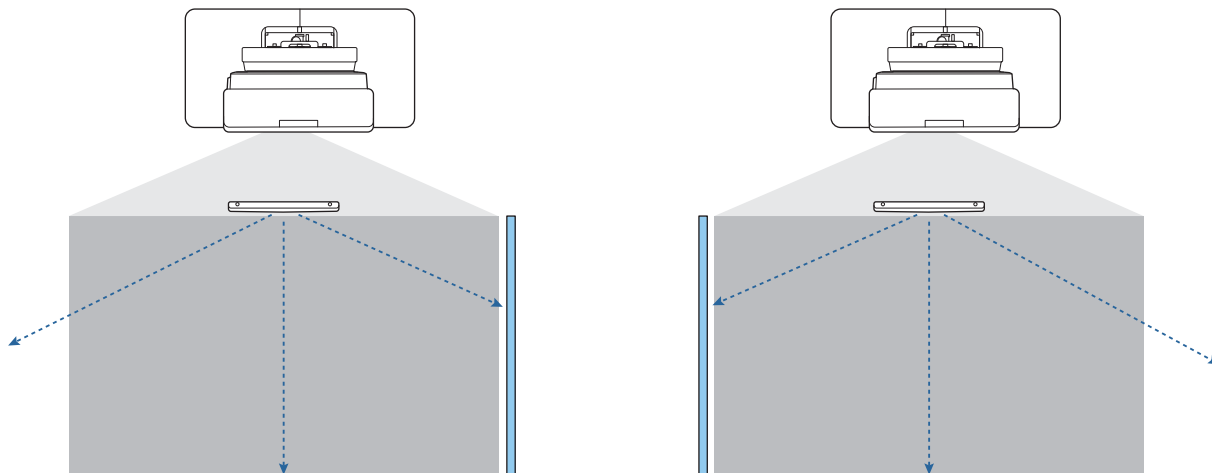
近くに設置した 프로젝ター同士でインタラクティブペンの操作が干渉するときは、オプションのワイヤードリモコンケーブル（ELPKC28）を使って 프로젝ター同士を接続してください。

接続してから [ペン/指タッチ] メニューの [複数台設置] - [複数台同期] を [有線接続] に設定すると、インタラクティブペンの干渉が軽減します。

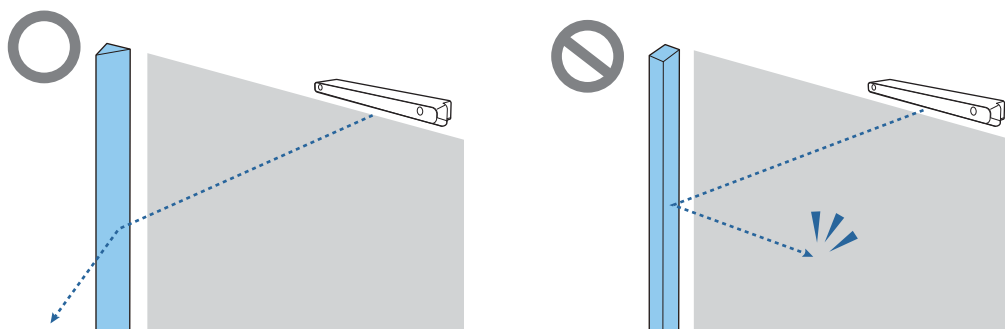


複数台のタッチユニットを近くに設置するときは

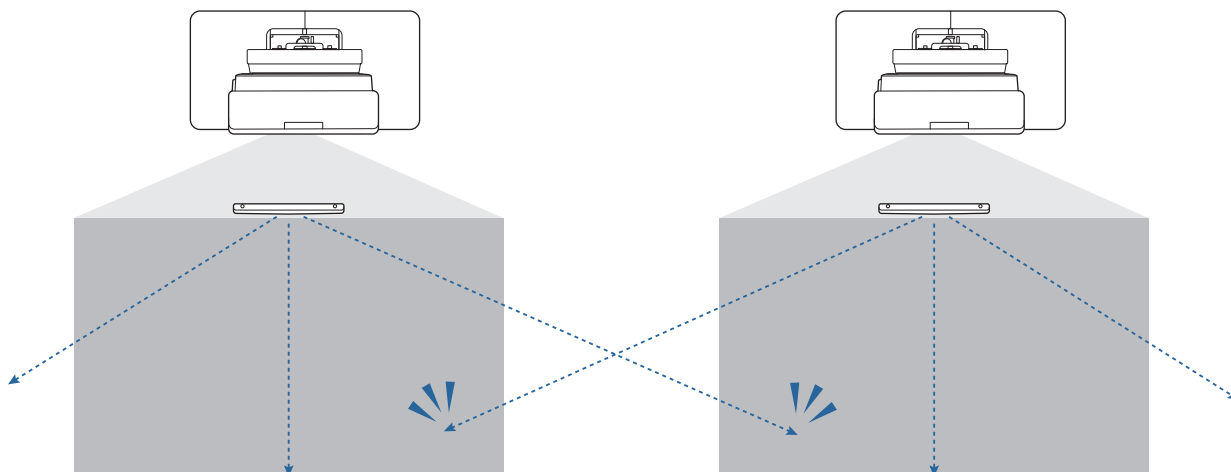
同じ壁面に複数台のタッチユニットを設置するときは、隣の投写面にレーザーが届かないように、同梱の赤外線ディフレクターを仕切りとして取り付けることをお勧めします。















- 赤外線ディフレクター以外のものを仕切りとして使うときは、下図のように傾斜のついたものをご用意ください。













- 仕切りを取り付けない場合、タッチユニットのレーザーが隣の投写面に届き、指タッチ操作がうまくできないことがあります。



壁掛け金具の設置に関するご注意

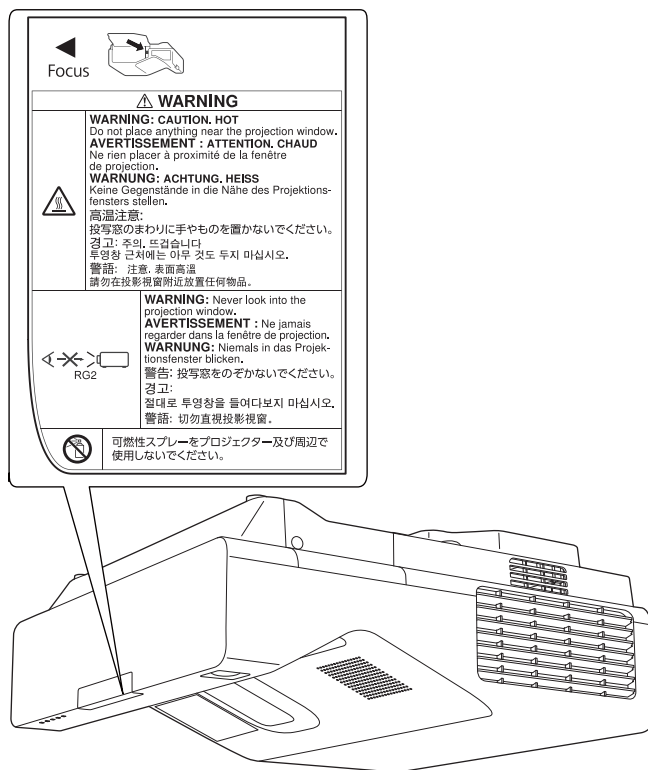
 警告	
<p>壁掛け金具はプロジェクターの壁掛け設置専用用品です。プロジェクター以外のものを取り付けるとその重さによっては破損することがあります。</p> <p>本製品が壊れて落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	
<p>壁への取り付け（壁掛け設置）工事は、特別な技術が必要です。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。</p>	
<p>壁掛け設置工事は、本書で指定したボルトやネジを使用して、本書に記載の手順で行ってください。</p> <p>記載事項を守らないと、本製品が落下し、けがや事故の原因となります。</p>	
<p>電源コードの取り扱いには注意してください。</p> <p>取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。取り扱いの際には、次の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。 破損や加工した電源コードを使用しない。 電源コードをセッティングプレートに通すときは、強い力で引っ張らない。 	
<p>振動や衝撃が伝わる不安定な場所には設置しないでください。</p> <p>本製品や設置面が破損するおそれがあります。また、本製品が落下して人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	
<p>壁に取り付ける際は、プロジェクターと壁掛け金具の質量および横揺れにも十分耐えられるように取り付けてください。ナット・ボルト等はM10または3/8インチx60mmを使用してください。</p> <p>M10または3/8インチx60mmより小さいと落下事故の原因となります。取り付けの強度不足等による落下事故につきましては、当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。</p>	
<p>本製品は必ず二人以上の専門業者で設置してください。設置中にネジ類を緩めるときは、本製品が落下しないように取り扱ってください。</p> <p>本製品が落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	
<p>本製品を壁に取り付けるときは、プロジェクターと壁掛け金具を支えるために壁には十分な強度が必要です。</p> <p>本製品はコンクリートの壁に取り付けてください。</p> <p>プロジェクターと壁掛け金具の最大総重量は、約15 kgです（ケーブル類含まず）。</p> <p>本製品を壁に設置する前に、壁の強度を確保してください。強度不足のときは、十分に補強してから設置してください。</p>	
<p>定期的に、破損箇所やネジ類の緩みがないか点検してください。</p> <p>破損箇所があるときはすぐに使用を中止してください。本製品が落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	
<p>本製品の分解・改造は絶対にしないでください。</p> <p>内部には電圧の高い部分が多くあり、火災・感電・事故の原因となります。</p>	
<p>本製品にぶら下がらないでください。また、重い物をぶら下げないでください。</p> <p>本製品が壊れて落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	

 警告	
<p>壁掛け金具の設置や調整を行うときは、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。</p> <p>プロジェクターの金具固定部にネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下して事故やけがの原因となります。</p>	
<p>調整後はすべてのネジを完全に締め直してください。</p> <p>十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。</p>	
<p>設置後は、ボルト・ナットを絶対に緩めないでください。</p> <p>また、定期的にネジ類の緩みがないことを確認してください。万一、緩みがあるときは、確実に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。</p>	
<p>ケーブルはネジやボルトを避けて配線してください。</p> <p>ケーブルの取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。</p>	
<p>プロジェクターの電源を入れるときは、絶対に投写窓をのぞかないでください。</p> <p>強い光で目を痛めるなどの原因となります。小さなお子様のいる場所では特に注意してください。離れた場所からリモコンを使ってプロジェクターの電源を入れるときは、投写窓をのぞいている人がいないことを確認してから電源を入れてください。</p>	
<p>プロジェクターを使用するときは、プロジェクターの投写窓にものを置いたり、手を近づけたりしないでください。</p> <p>投写光が集束するため高温になり危険です。</p>	
<p>可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。</p> <p>プロジェクター内部が高温になっているため、引火による火災の原因となります。</p>	
<p>プロジェクターのメンテナンスや修理をするときは、必ず工事専門業者がプロジェクターの取り外しと再設置を行ってください。</p> <p>プロジェクターのメンテナンスおよび修理の方法は、プロジェクターの『取扱説明書』を参照してください。</p>	
<p>本製品に異常が発生したときは、すぐに本製品に接続しているケーブルを抜いて、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。</p> <p>そのまま使用を続けると、火災・感電・視力障害の原因となります。</p>	

警告

本機にはレーザー警告ラベルが貼られています。

投写中は、投写窓から放射されるレーザービームをのぞかないでください。(JIS C 6802:2014に準拠)



本機のケースを開けないでください。

内部に高出力レーザー製品が組み込まれています。



本機の光源を直接見ないでください。

強い光が視力障害などの原因となります。



注意

ご使用になるプロジェクター機種の使用温度範囲を超える場所には設置しないでください。

故障の原因となります。



レンズや内部の光学部品に汚れが付着しないように、ホコリや湿気の少ないところに設置してください。



本製品を調整するときは無理な力を加えないでください。

本製品が壊れてけがの原因となることがあります。



本機はJIS C 6802:2014に適合したクラス1レーザー製品です。



電源プラグをつなぐ前に、必ず接地接続を行ってください。また、接地接続を外すときは、電源プラグを外してから行ってください。








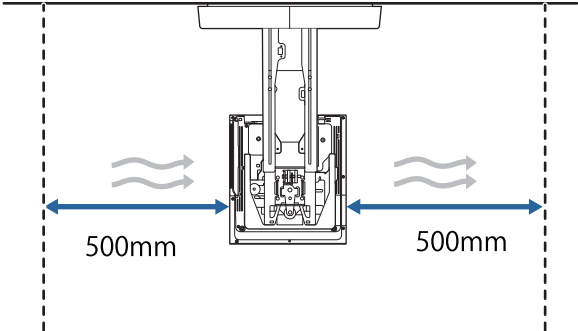



本機を廃棄する場合は分解しないでください。

国や地域の法令や条例に従って廃棄してください。

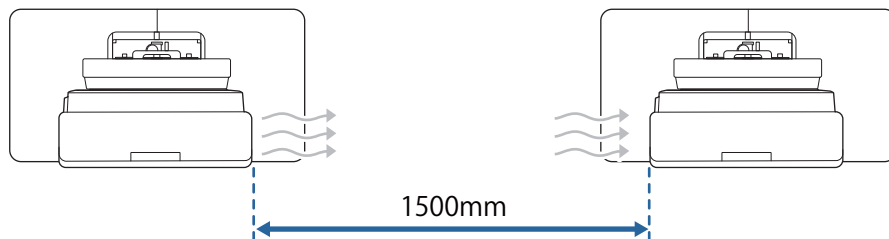


壁掛け金具の設置場所に関するご注意

 警告	
<p>油煙やイベント用スモークがあたる場所に設置しないでください。</p> <p>プロジェクターの金具固定部に油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下して事故やけがの原因となります。</p>	
 注意	
<p>太陽光が直接当たる場所には、プロジェクターやスクリーンを設置しないでください。</p> <p>太陽光がプロジェクターやスクリーンに直接当たると、インタラクティブ機能が正しく動作しないことがあります。</p>	
<p>プロジェクターを設置する場所に、あらかじめ電源工事を済ませておいてください。</p>	
<p>プロジェクターを設置する場所は、蛍光灯・エアコンなど他の電気製品から離してください。</p> <p>蛍光灯の種類によっては、リモコンやペンが誤動作することがあります。</p>	
<p>プロジェクターを設置するときは、プロジェクターの排気口や吸気口を壁などから下図のとおり離してください。</p>	
	
<p>2台以上のプロジェクターを並べて設置するときは、35℃以下の環境に設置してください。</p> <p>高温の環境で使用すると、プロジェクターが高温になり突然電源が切れることがあります。</p>	

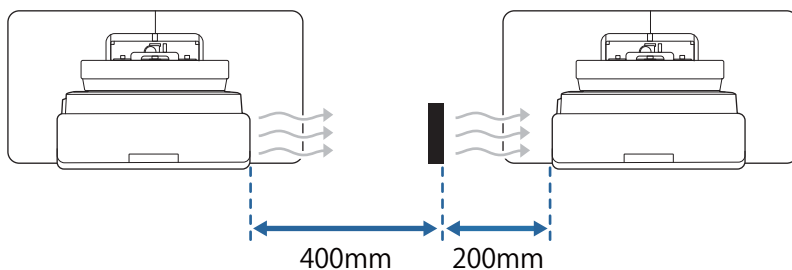
⚠ 注意

2台以上のプロジェクターを並べて設置するときは、プロジェクター同士の間を約1500mm空けてください。



約1200mmのスペースを確保できない場合は、排気口から出た熱を遮るための仕切りを取り付けます。

仕切りは排気口よりも縦横それぞれ約20mm大きくし、排気口から約400mm、吸気口から約200mmの位置に取り付けます。



プロジェクターの設置・調整は、実際の使用環境に近い室温で行ってください。

温度が変化すると、映像の位置がずれたりペンの精度が悪化したりする可能性があります。



プロジェクターの傾きが、スクリーンに対してタテ・ヨコ+3度または-3度以内になるように設置してください。



インタラクティブ機能を使用するときは、手の届く範囲に投写されるように設置してください。



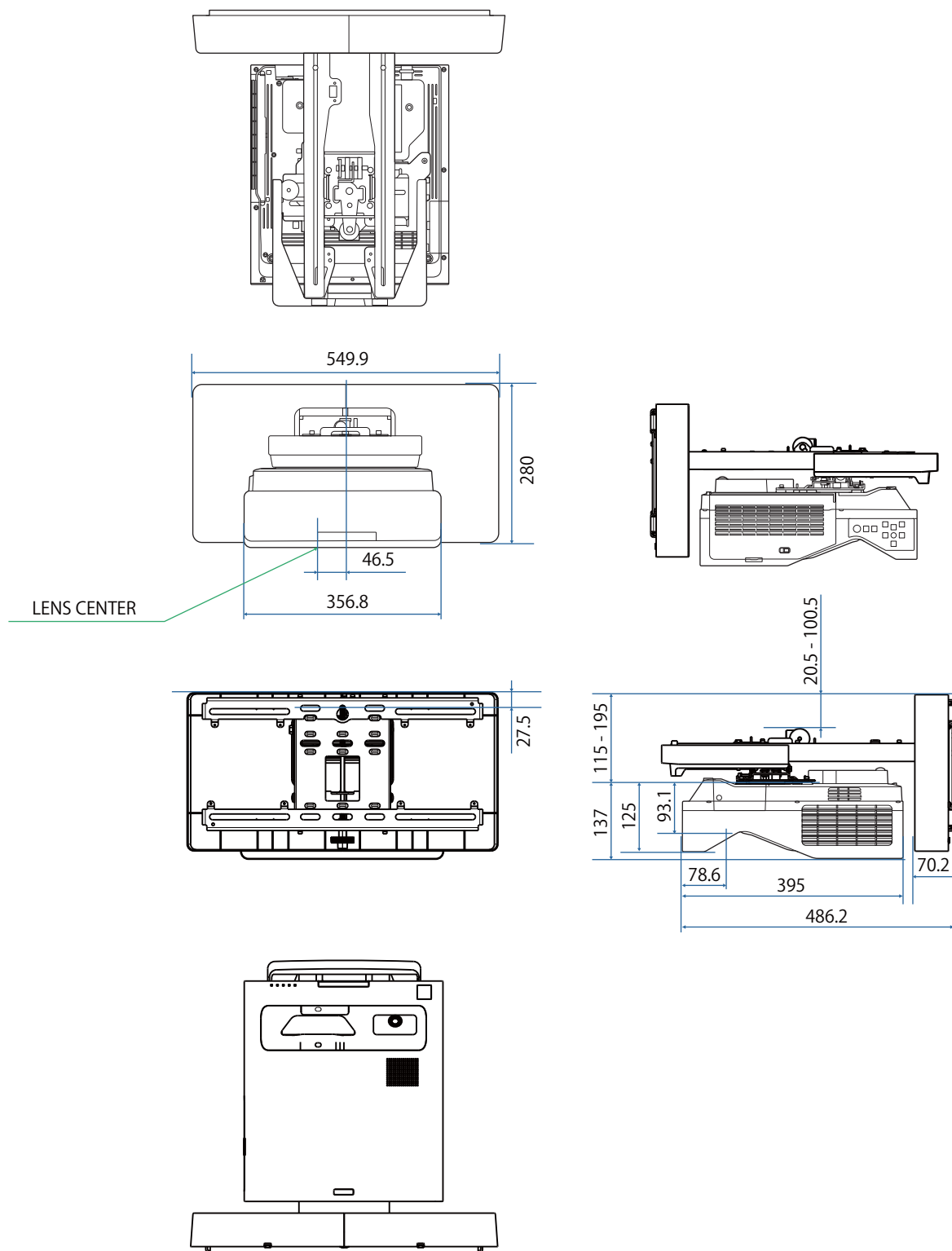
貼付型スクリーン、またはボード型スクリーンの使用をお勧めします。

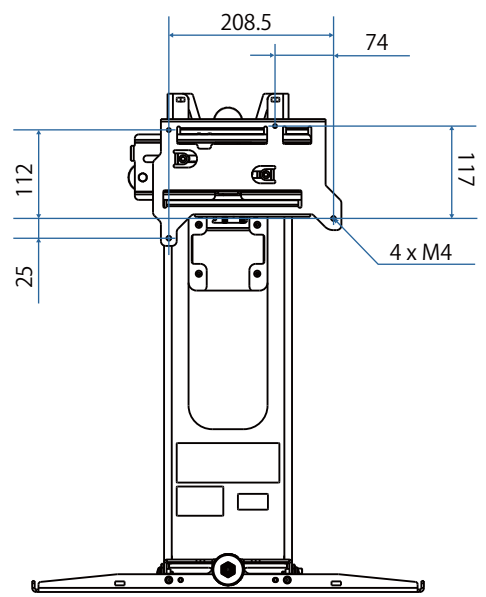
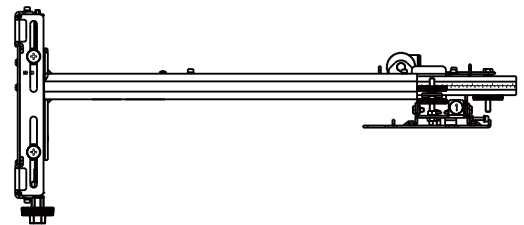
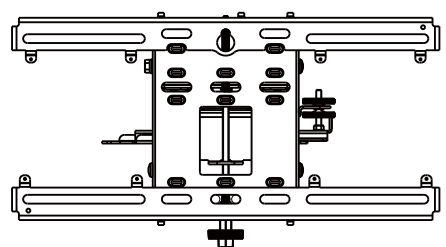
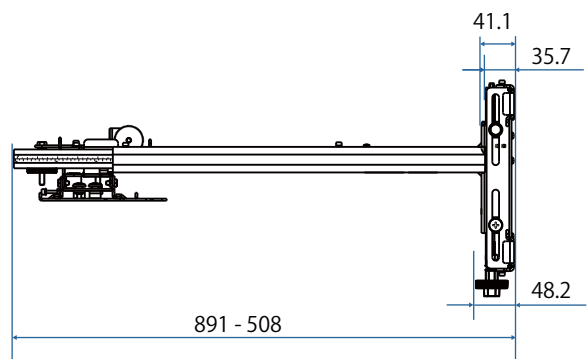
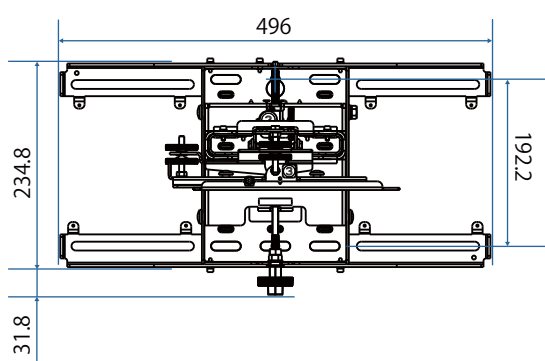
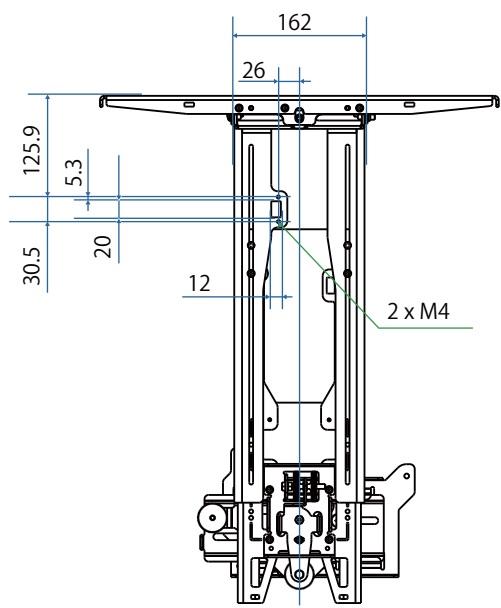


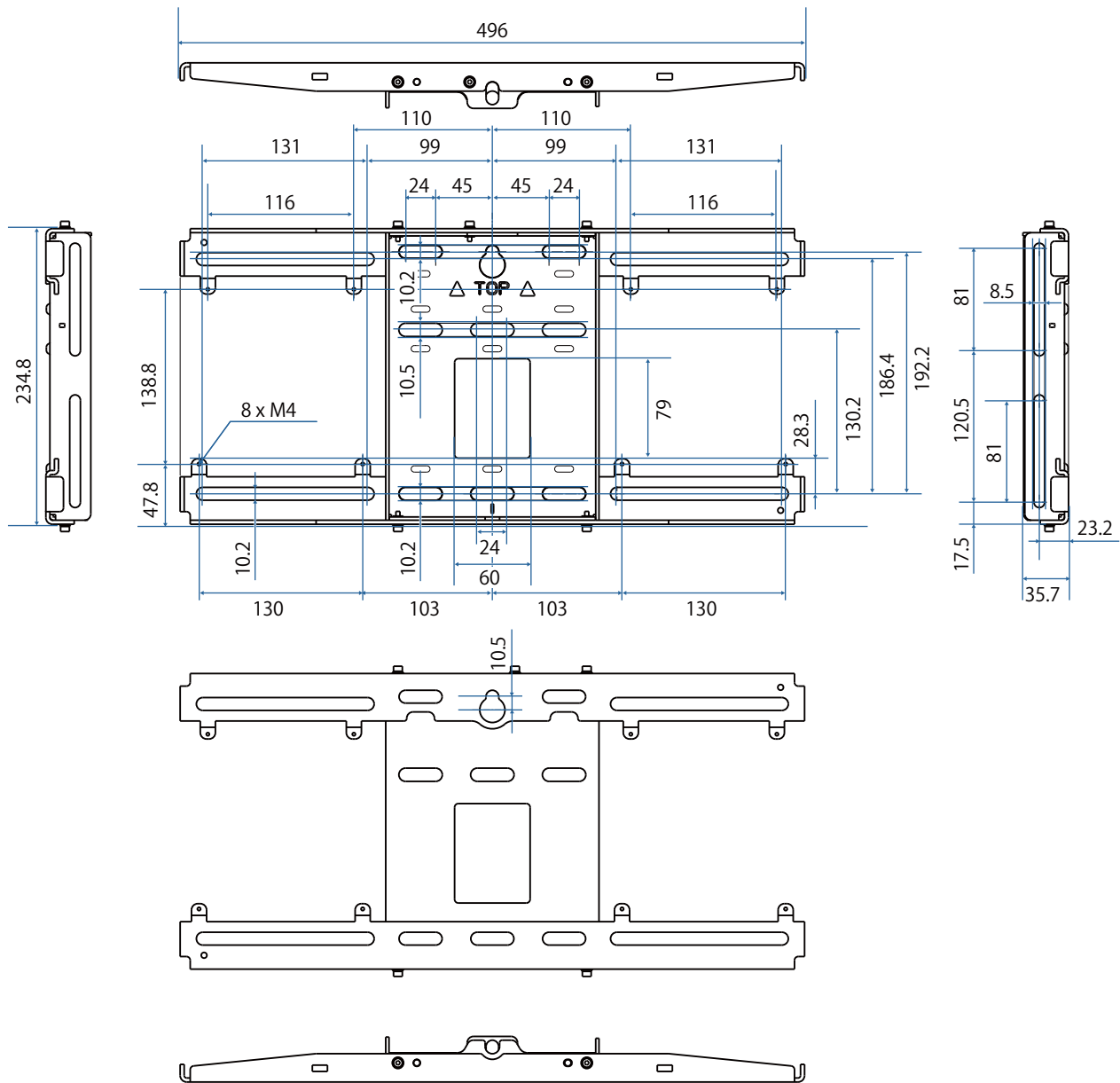
壁掛け金具仕様

項目	仕様
壁掛け金具質量（セッティングプレート、六角軸、調整ユニット、ウォールプレート、ウォールプレートカバー、エンドキャップ）	約9.2kg
最大荷重	約15.0kg

外形寸法

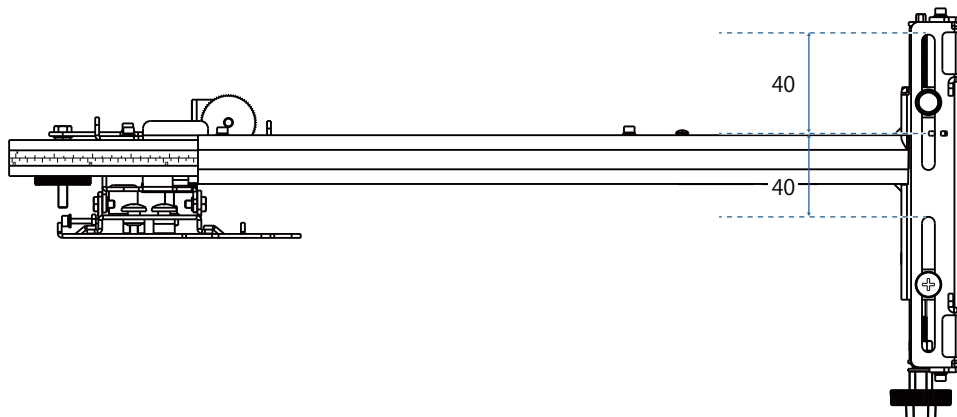




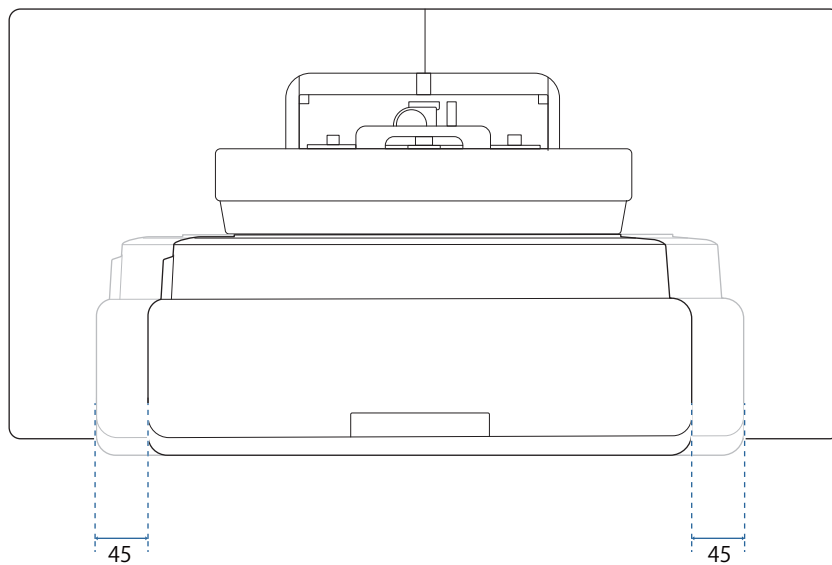


調整範囲

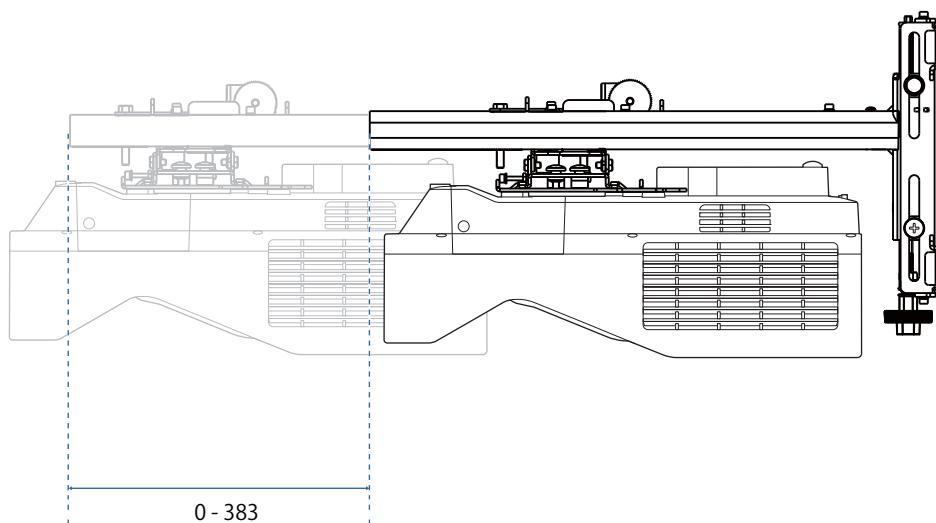
■ 上下スライド



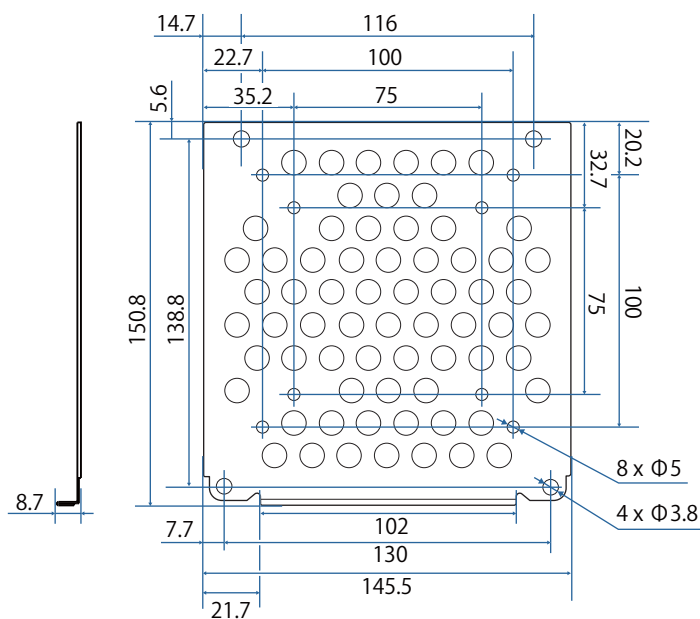
■ 水平スライド



■ 前後スライド



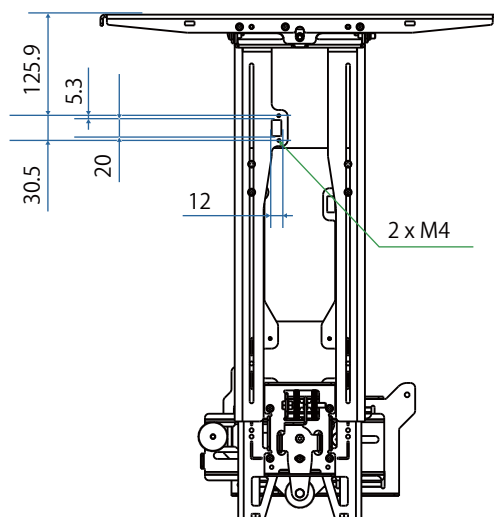
ミニPC取り付け用プレート



項目	仕様
PC取り付け用ネジ穴 (VESA規格対応)	75mm x 75mm 100mm x 100mm
取り付け可能なPCサイズ	150mm x 150mm x 44mm以内
取り付け可能なPC重量	0.7kg以下

アクセサリ取り付け部

スイッチャーやチューナーを取り付けるときは、下図のネジ穴を使って固定してください。



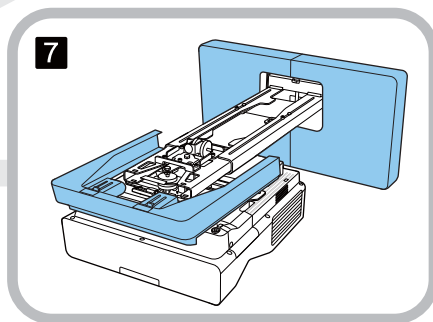
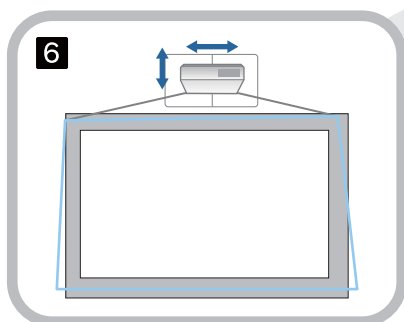
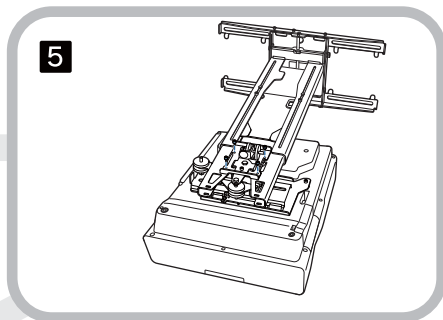
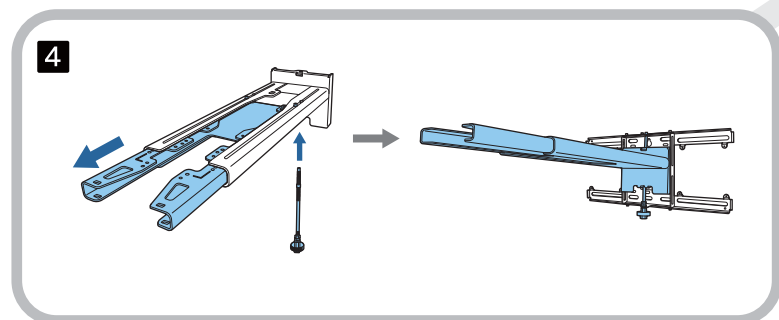
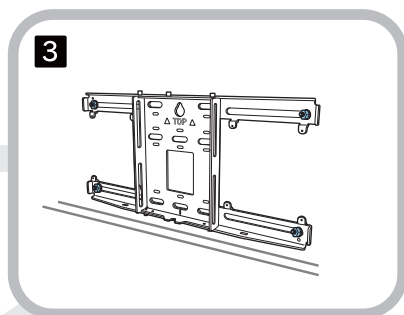
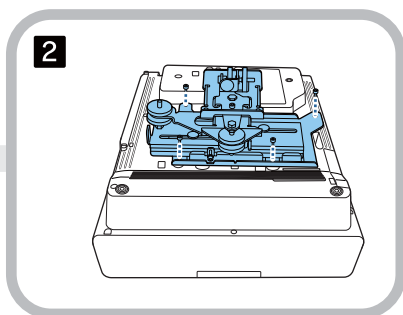
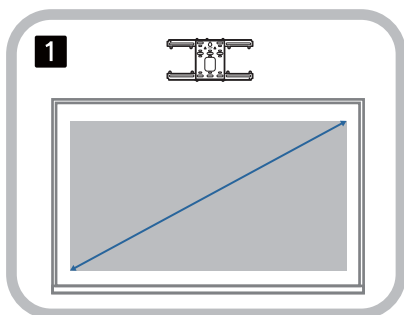
取り付ける前に、プロジェクターや接続ケーブルを含めた総重量が壁掛け金具の最大荷重に収まることを確認してください。(☛「壁掛け金具仕様」 p.22)

壁掛け金具取り付け手順

壁掛け金具は以下の流れで取り付けます。

ケーブル類の配線は金具を取り付ける前に済ませてください。

- 1 投写距離表を確認して設置位置を決める (☞ p.29)
- 2 調整ユニットをプロジェクターに取り付ける (☞ p.44)
- 3 ウォールプレートを取り付ける (☞ p.45)
- 4 セッティングプレートのアームの長さを調整してから、ウォールプレートに取り付ける (☞ p.48)
- 5 セッティングプレートに調整ユニットを取り付けて、ケーブルや周辺機器を接続する (☞ p.53)
- 6 映像の位置を調整する (☞ p.57)
- 7 カバー類を取り付ける (☞ p.73)



金具の取り付け

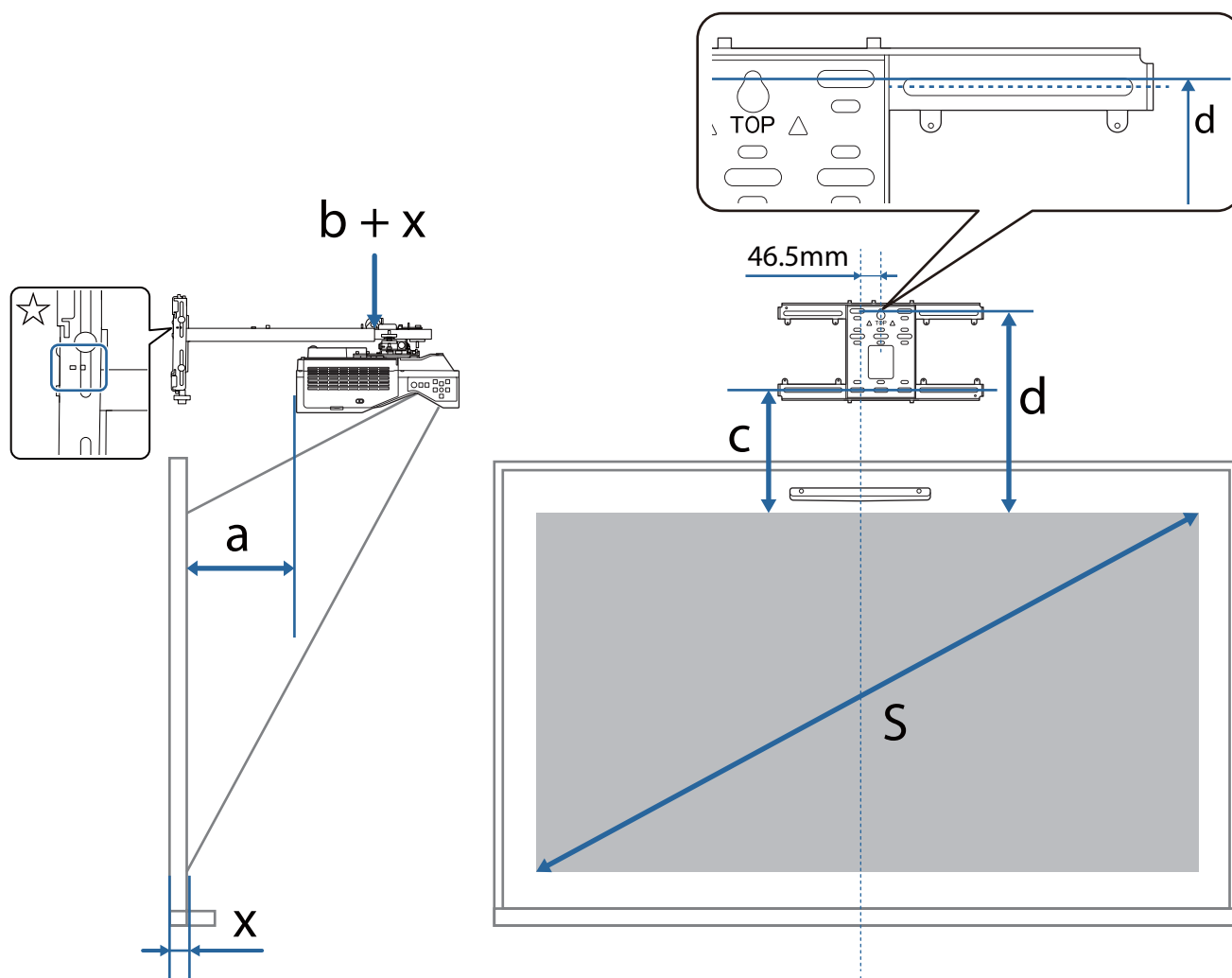
■ 設置位置を決める（投写距離表）

投写したい画面サイズ（S）に合わせて、ウォールプレートの設置位置を決めます。下図を参考に、a～dまでの数値を確認してください。セッティングプレートがウォールプレートの中央にあるとき（下図 ☆ 参照）の値です。

投写する画面の中心とウォールプレートの中心のオフセット値は46.5mmです。



xの距離が短いと、最小投写サイズが大きくなる場合があります。



a: 投写距離最短（ワイド）

b+x: セッティングプレートのアームスライド目盛りの数値（最大533mm）

x: 壁から投写面までの距離（タッチユニット取り付け金具を使用する場合は15 - 50mm（[p.13](#)））

c: 映像上端からウォールプレート取り付けネジ穴（下側）までの距離

d: 映像上端からウォールプレート仮留め用ネジ穴までの距離

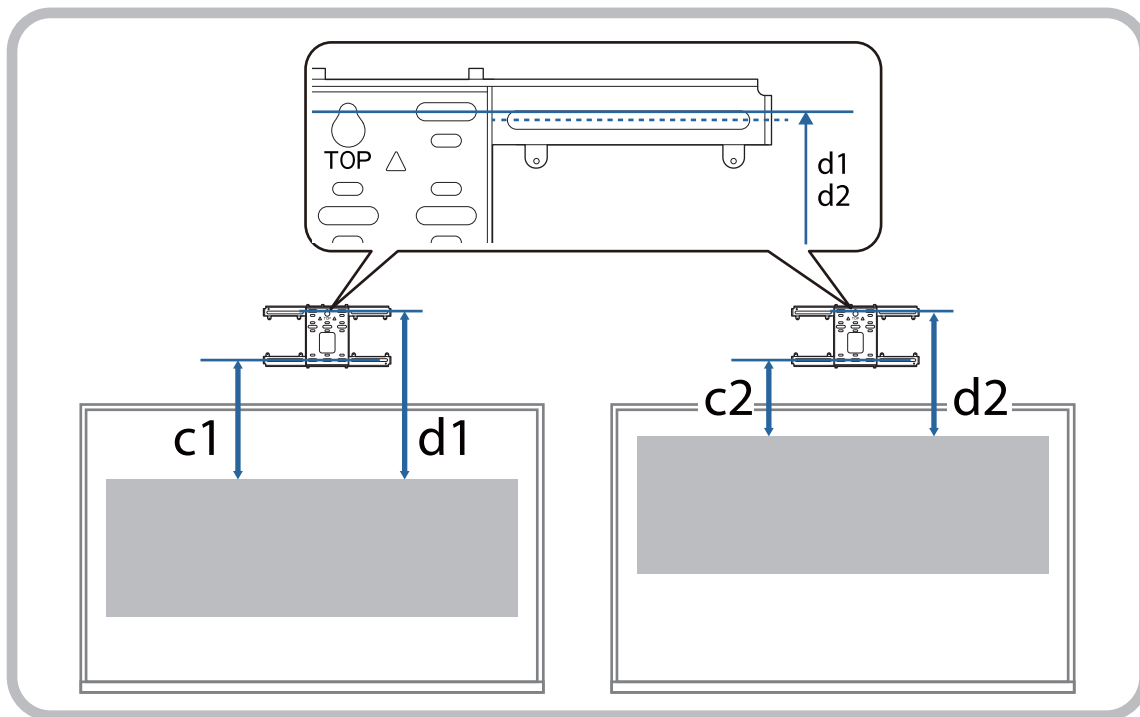
S: 投写する画面サイズ

16:6のAspect比で投写する場合のcとdの値は下記を参照してください。

16:6のAspect比でインタラクティブ機能を使うときは、[スクリーン位置] を中央より上に設定します。

(EB-735Fi)

- $c1/d1$: [スクリーン位置] が中央のとき
- $c2/d2$: [スクリーン位置] が上端のとき



■ EB-735Fi

16 : 9投写画面

[単位 : mm]

	S	a	b	c	d
65 型	1439 × 809	57	115	212	404
66 型	1461 × 822	63	121	215	407
67 型	1483 × 834	69	127	218	410
68 型	1505 × 847	75	133	221	413
69 型	1528 × 859	81	139	224	416
70 型	1550 × 872	87	145	227	419
71 型	1572 × 884	93	151	230	423
72 型	1594 × 897	99	157	233	426
73 型	1616 × 909	105	163	237	429
74 型	1638 × 921	111	169	240	432
75 型	1660 × 934	117	175	243	435
76 型	1682 × 946	123	181	246	438
77 型	1705 × 959	129	188	249	441
78 型	1727 × 971	135	194	252	444
79 型	1749 × 984	141	200	255	447
80 型	1771 × 996	147	206	258	450
81 型	1793 × 1009	153	212	261	454
82 型	1815 × 1021	159	218	265	457
83 型	1837 × 1034	165	224	268	460
84 型	1860 × 1046	171	230	271	463
85 型	1882 × 1058	177	236	274	466
86 型	1904 × 1071	183	242	277	469
87 型	1926 × 1083	189	248	280	472
88 型	1948 × 1096	195	254	283	475
89 型	1970 × 1108	201	260	286	478

	S	a	b	c	d
90 型	1992 × 1121	207	179	289	482
91 型	2015 × 1133	213	185	292	485
92 型	2037 × 1146	219	191	296	488
93 型	2059 × 1158	225	197	299	491
94 型	2081 × 1171	231	203	302	494
95 型	2103 × 1183	237	209	305	497
96 型	2125 × 1195	243	215	308	500
97 型	2147 × 1208	249	221	311	503
98 型	2170 × 1220	255	227	314	506
99 型	2192 × 1233	261	233	317	510
100 型	2214 × 1245	267	239	320	513

4 : 3投写画面

[単位 : mm]

S		a	b	c	d
54 型	1097 × 823	63	122	215	407
55 型	1118 × 838	70	129	219	411
56 型	1138 × 853	78	137	223	415
57 型	1158 × 869	85	144	226	419
58 型	1179 × 884	92	151	230	422
59 型	1199 × 899	100	159	234	426
60 型	1219 × 914	107	166	238	430
61 型	1240 × 930	115	173	242	434
62 型	1260 × 945	122	181	245	438
63 型	1280 × 960	129	188	249	441
64 型	1300 × 975	137	195	253	445
65 型	1321 × 991	144	203	257	449
66 型	1341 × 1006	151	210	261	453
67 型	1361 × 1021	159	218	264	457
68 型	1382 × 1036	166	225	268	461
69 型	1402 × 1052	173	232	272	464
70 型	1422 × 1067	181	240	276	468
71 型	1443 × 1082	188	247	280	472
72 型	1463 × 1097	195	254	284	476
73 型	1483 × 1113	203	262	287	480
74 型	1504 × 1128	210	269	291	483
75 型	1524 × 1143	218	276	295	487
76 型	1544 × 1158	225	284	299	491
77 型	1565 × 1173	232	291	303	495
78 型	1585 × 1189	240	298	306	499
79 型	1605 × 1204	247	306	310	502

	S	a	b	c	d
80 型	1626 × 1219	254	313	314	506
81 型	1646 × 1234	262	320	318	510
82 型	1666 × 1250	269	328	322	514
83 型	1687 × 1265	276	335	325	518
84 型	1707 × 1280	284	343	329	521
85 型	1727 × 1295	291	350	333	525
86 型	1748 × 1311	298	357	337	529
87 型	1768 × 1326	306	365	341	533
88 型	1788 × 1341	313	372	344	537
89 型	1808 × 1356	320	379	348	540
90 型	1829 × 1372	328	300	352	544
91 型	1849 × 1387	335	307	356	548
92 型	1869 × 1402	343	314	360	552
93 型	1890 × 1417	350	322	363	556
94 型	1910 × 1433	357	329	367	559
95 型	1930 × 1448	365	336	371	563
96 型	1951 × 1463	372	344	375	567
97 型	1971 × 1478	379	351	379	571
98 型	1991 × 1494	387	358	382	575

16:10投写画面

[単位：mm]

	S	a	b	c	d
65 型	1400 × 875	88	147	228	420
66 型	1422 × 888	95	154	231	424
67 型	1443 × 902	101	160	235	427
68 型	1465 × 915	108	167	238	430
69 型	1486 × 929	114	173	241	434
70 型	1508 × 942	121	180	245	437
71 型	1529 × 956	127	186	248	440
72 型	1551 × 969	134	193	252	444
73 型	1572 × 983	140	199	255	447
74 型	1594 × 996	147	206	258	450
75 型	1615 × 1010	153	212	262	454
76 型	1637 × 1023	160	219	265	457
77 型	1659 × 1037	166	225	268	461
78 型	1680 × 1050	173	232	272	464
79 型	1702 × 1063	179	238	275	467
80 型	1723 × 1077	186	244	278	471
81 型	1745 × 1090	192	251	282	474
82 型	1766 × 1104	199	257	285	477
83 型	1788 × 1117	205	264	289	481
84 型	1809 × 1131	212	270	292	484
85 型	1831 × 1144	218	277	295	487
86 型	1852 × 1158	225	283	299	491
87 型	1874 × 1171	231	290	302	494
88 型	1895 × 1185	238	296	305	498
89 型	1917 × 1198	244	303	309	501

	S	a	b	c	d
90 型	1939 × 1212	251	222	312	504
91 型	1960 × 1225	257	229	315	508
92 型	1982 × 1239	264	235	319	511
93 型	2003 × 1252	270	242	322	514
94 型	2025 × 1265	277	248	325	518
95 型	2046 × 1279	283	255	329	521
96 型	2068 × 1292	290	261	332	524
97 型	2089 × 1306	296	268	336	528
98 型	2111 × 1319	303	274	339	531
99 型	2132 × 1333	309	281	342	534
100 型	2154 × 1346	316	287	346	538

16 : 6投写画面

[単位 : mm]

	S	a	b	c1	d1	c2	d2
60 型	1427 × 535	53	112	344	536	210	402
61 型	1451 × 544	60	119	349	542	213	406
62 型	1475 × 553	66	125	355	547	217	409
63 型	1498 × 562	73	132	360	553	220	412
64 型	1522 × 571	79	138	366	558	223	416
65 型	1546 × 580	86	144	372	564	227	419
66 型	1570 × 589	92	151	377	569	230	422
67 型	1593 × 598	98	157	383	575	233	426
68 型	1617 × 606	105	164	388	581	237	429
69 型	1641 × 615	111	170	394	586	240	432
70 型	1665 × 624	118	177	399	592	243	436
71 型	1689 × 633	124	183	405	597	247	439
72 型	1712 × 642	131	190	411	603	250	442
73 型	1736 × 651	137	196	416	608	253	446
74 型	1760 × 660	144	203	422	614	257	449
75 型	1784 × 669	150	209	427	619	260	452
76 型	1807 × 678	157	215	433	625	263	456
77 型	1831 × 687	163	222	438	631	267	459
78 型	1855 × 696	169	228	444	636	270	462
79 型	1879 × 705	176	235	450	642	273	466
80 型	1903 × 713	182	241	455	647	277	469
81 型	1926 × 722	189	248	461	653	280	472
82 型	1950 × 731	195	254	466	658	283	476
83 型	1974 × 740	202	261	472	664	287	479
84 型	1998 × 749	208	267	477	670	290	482
85 型	2022 × 758	215	274	483	675	293	486

S		a	b	c1	d1	c2	d2
86 型	2045 × 767	221	280	489	681	297	489
87 型	2069 × 776	228	286	494	686	300	492
88 型	2093 × 785	234	293	500	692	303	496
89 型	2117 × 794	240	299	505	697	307	499
90 型	2140 × 803	247	219	511	703	310	502
91 型	2164 × 812	253	225	516	709	313	506
92 型	2188 × 821	260	232	522	714	317	509
93 型	2212 × 829	266	238	528	720	320	512
94 型	2236 × 838	273	245	533	725	324	516
95 型	2259 × 847	279	251	539	731	327	519
96 型	2283 × 856	286	258	544	736	330	522
97 型	2307 × 865	292	264	550	742	334	526
98 型	2331 × 874	299	270	555	748	337	529
99 型	2354 × 883	305	277	561	753	340	532
100 型	2378 × 892	311	283	567	759	344	536
101 型	2402 × 901	318	290	572	764	347	539
102 型	2426 × 910	324	296	578	770	350	542
103 型	2450 × 919	331	303	583	775	354	546
104 型	2473 × 928	337	309	589	781	357	549
105 型	2497 × 936	344	316	594	787	360	552
106 型	2521 × 945	350	322	600	792	364	556
107 型	2545 × 954	357	329	605	798	367	559
108 型	2569 × 963	363	335	611	803	370	562
109 型	2592 × 972	370	341	617	809	374	566
110 型	2616 × 981	376	348	622	814	377	569

■ EB-725Wi

16:10投写画面

[単位：mm]

	S	a	b	c	d
65 型	1400 × 875	69	128	192	384
66 型	1422 × 888	75	134	195	387
67 型	1443 × 902	81	140	198	390
68 型	1465 × 915	87	146	200	393
69 型	1486 × 929	94	152	203	395
70 型	1508 × 942	100	159	206	398
71 型	1529 × 956	106	165	209	401
72 型	1551 × 969	112	171	212	404
73 型	1572 × 983	118	177	214	407
74 型	1594 × 996	124	183	217	409
75 型	1615 × 1010	131	190	220	412
76 型	1637 × 1023	137	196	223	415
77 型	1659 × 1037	143	202	226	418
78 型	1680 × 1050	149	208	228	421
79 型	1702 × 1063	155	214	231	423
80 型	1723 × 1077	162	220	234	426
81 型	1745 × 1090	168	227	237	429
82 型	1766 × 1104	174	233	240	432
83 型	1788 × 1117	180	239	242	435
84 型	1809 × 1131	186	245	245	437
85 型	1831 × 1144	192	251	248	440
86 型	1852 × 1158	199	258	251	443
87 型	1874 × 1171	205	264	254	446
88 型	1895 × 1185	211	270	256	449
89 型	1917 × 1198	217	276	259	451

S		a	b	c	d
90 型	1939 × 1212	223	195	262	454
91 型	1960 × 1225	230	201	265	457
92 型	1982 × 1239	236	208	268	460
93 型	2003 × 1252	242	214	271	463
94 型	2025 × 1265	248	220	273	466
95 型	2046 × 1279	254	226	276	468
96 型	2068 × 1292	260	232	279	471
97 型	2089 × 1306	267	238	282	474
98 型	2111 × 1319	273	245	285	477
99 型	2132 × 1333	279	251	287	480
100 型	2154 × 1346	285	257	290	482

4 : 3投写画面

[単位 : mm]

	S	a	b	c	d
58 型	1179 × 884	73	132	194	386
59 型	1199 × 899	80	139	197	389
60 型	1219 × 914	87	146	200	392
61 型	1240 × 930	94	153	203	396
62 型	1260 × 945	101	160	207	399
63 型	1280 × 960	108	167	210	402
64 型	1300 × 975	115	174	213	405
65 型	1321 × 991	122	181	216	408
66 型	1341 × 1006	129	188	219	411
67 型	1361 × 1021	136	195	222	415
68 型	1382 × 1036	143	202	226	418
69 型	1402 × 1052	150	209	229	421
70 型	1422 × 1067	157	216	232	424
71 型	1443 × 1082	164	223	235	427
72 型	1463 × 1097	171	230	238	430
73 型	1483 × 1113	178	237	241	434
74 型	1504 × 1128	185	244	245	437
75 型	1524 × 1143	192	251	248	440
76 型	1544 × 1158	199	258	251	443
77 型	1565 × 1173	206	265	254	446
78 型	1585 × 1189	213	272	257	450
79 型	1605 × 1204	220	279	261	453

	S	a	b	c	d
80 型	1626 × 1219	227	286	264	456
81 型	1646 × 1234	234	293	267	459
82 型	1666 × 1250	241	300	270	462
83 型	1687 × 1265	248	307	273	465
84 型	1707 × 1280	255	314	276	469
85 型	1727 × 1295	262	321	280	472
86 型	1748 × 1311	269	328	283	475
87 型	1768 × 1326	276	335	286	478
88 型	1788 × 1341	283	342	289	481
89 型	1808 × 1356	290	349	292	484
90 型	1829 × 1372	297	269	295	488
91 型	1849 × 1387	304	276	299	491
92 型	1869 × 1402	311	283	302	494
93 型	1890 × 1417	318	290	305	497
94 型	1910 × 1433	325	297	308	500
95 型	1930 × 1448	332	304	311	504
96 型	1951 × 1463	339	311	314	507
97 型	1971 × 1478	346	318	318	510
98 型	1991 × 1494	353	325	321	513
99 型	2012 × 1509	360	332	324	516
100 型	2032 × 1524	367	339	327	519

16 : 9投写画面

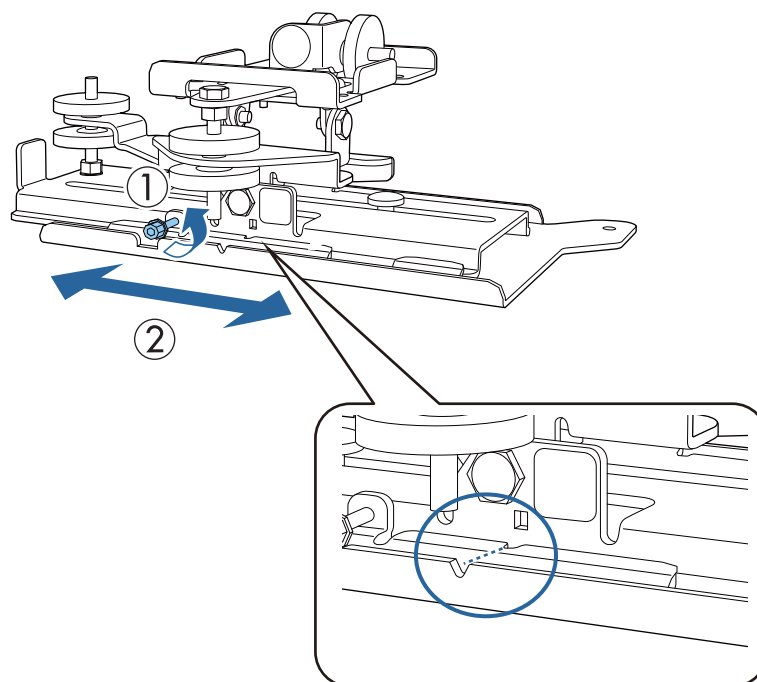
[単位 : mm]

	S	a	b	c	d
64 型	1417 × 797	74	133	238	431
65 型	1439 × 809	80	139	242	434
66 型	1461 × 822	86	145	246	438
67 型	1483 × 834	93	152	249	441
68 型	1505 × 847	99	158	253	445
69 型	1528 × 859	105	164	256	448
70 型	1550 × 872	112	171	260	452
71 型	1572 × 884	118	177	263	456
72 型	1594 × 897	125	183	267	459
73 型	1616 × 909	131	190	271	463
74 型	1638 × 921	137	196	274	466
75 型	1660 × 934	144	202	278	470
76 型	1682 × 946	150	209	281	474
77 型	1705 × 959	156	215	285	477
78 型	1727 × 971	163	221	288	481
79 型	1749 × 984	169	228	292	484
80 型	1771 × 996	175	234	296	488
81 型	1793 × 1009	182	241	299	491
82 型	1815 × 1021	188	247	303	495
83 型	1837 × 1034	194	253	306	499
84 型	1860 × 1046	201	260	310	502
85 型	1882 × 1058	207	266	313	506
86 型	1904 × 1071	213	272	317	509
87 型	1926 × 1083	220	279	321	513
88 型	1948 × 1096	226	285	324	516
89 型	1970 × 1108	232	291	328	520

	S	a	b	c	d
90 型	1992 × 1121	239	211	331	524
91 型	2015 × 1133	245	217	335	527
92 型	2037 × 1146	252	223	339	531
93 型	2059 × 1158	258	230	342	534
94 型	2081 × 1171	264	236	346	538
95 型	2103 × 1183	271	242	349	541
96 型	2125 × 1195	277	249	353	545
97 型	2147 × 1208	283	255	356	549
98 型	2170 × 1220	290	262	360	552
99 型	2192 × 1233	296	268	364	556
100 型	2214 × 1245	302	274	367	559

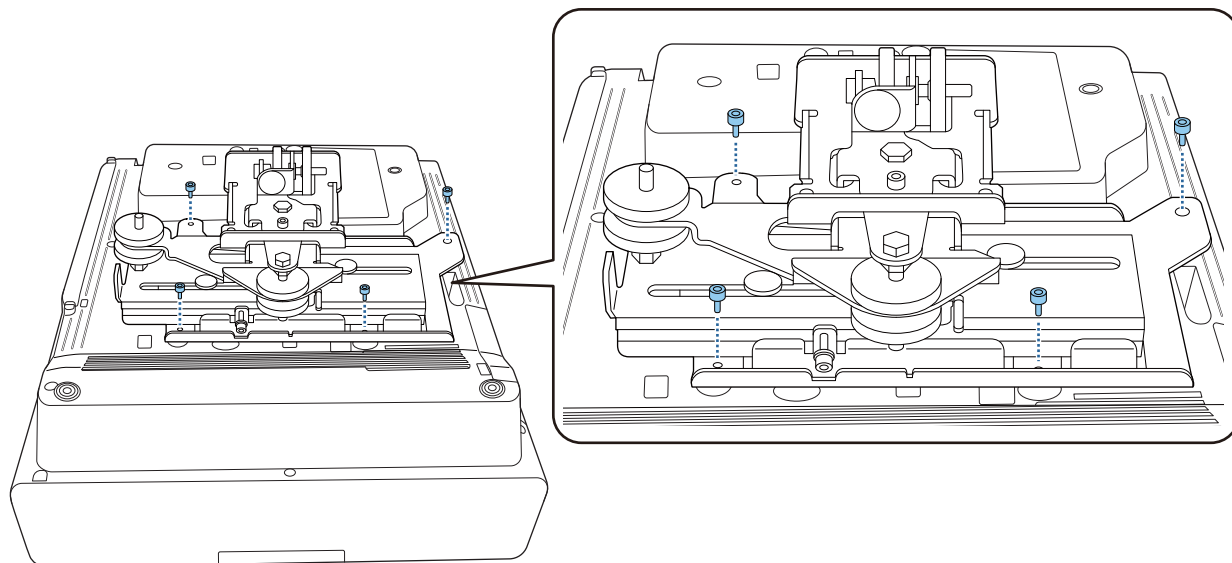
■ 調整ユニットをプロジェクターに取り付ける

1 調整ユニットのM4ボルトを緩めてから、各パーツの目印の位置を合わせる



位置が合ったらM4ボルトを締め直します。

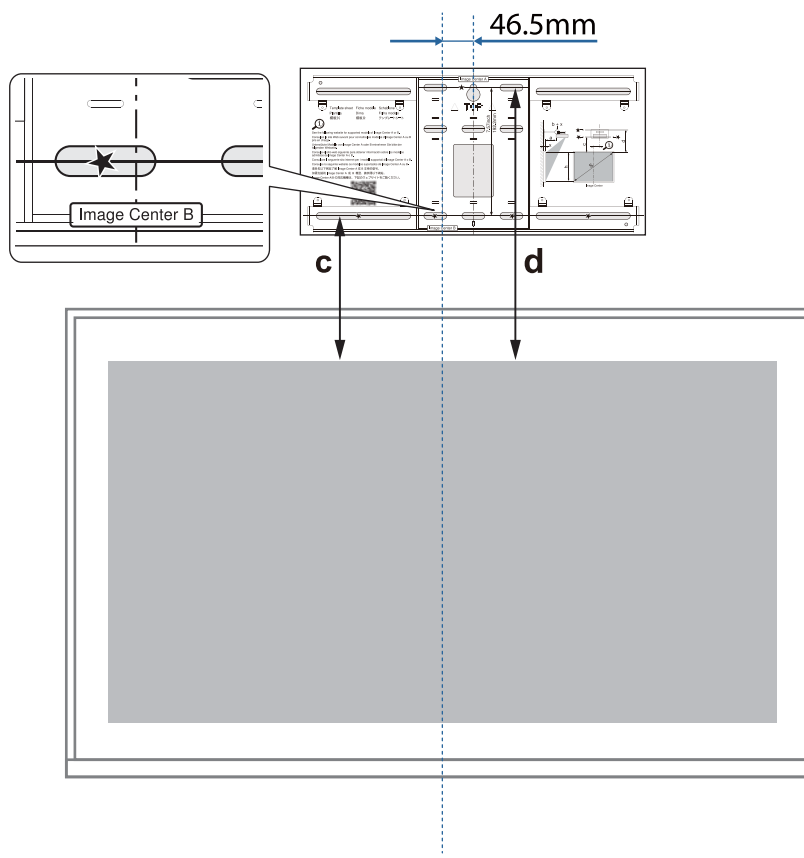
- 2 同梱のM4 x 12mmボルト (4本) で、調整ユニットをプロジェクターの底面に固定する



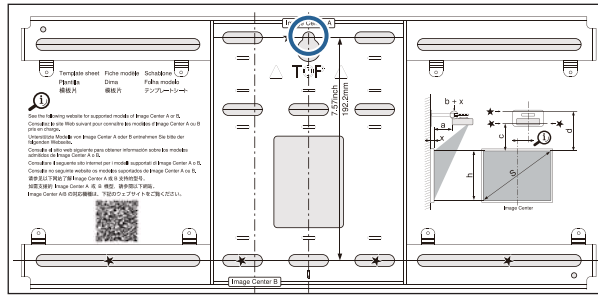
■ ウォールプレートを壁に取り付ける

- 1 テンプレートシートを壁に貼る

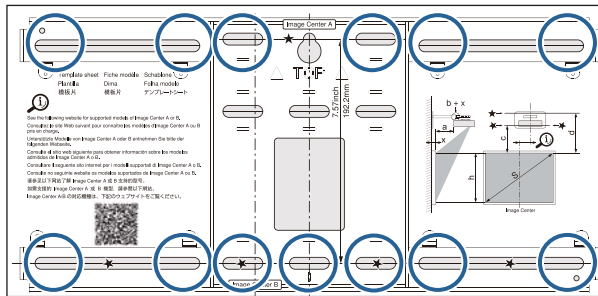
投写距離表 (p.29) で確認した設置位置に合わせて、テンプレートシートを貼りつけます。
 投写する画面の中心位置を、テンプレートシートのImage Center B に合わせてください。



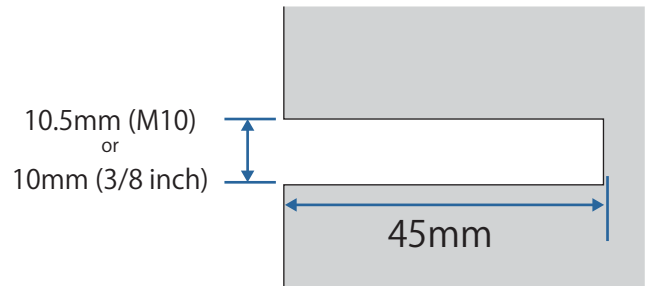
- 2** ウォールプレートの仮留め用ネジ穴の位置に市販のM10ネジを打つ
壁とネジ頭部の間を6mm以上空けてください。




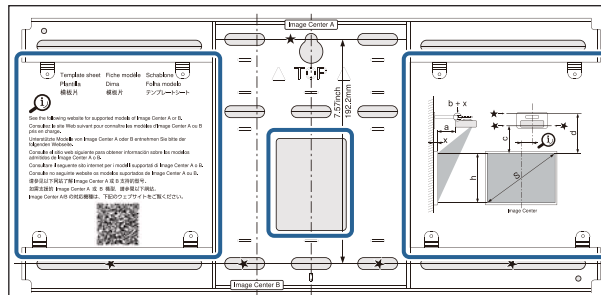
- 3** ウォールプレートの取り付け穴をあける位置を決める
下図のネジ穴の中から、バランスがとれる4箇所以上を固定してください。



- 4** ドリルで壁に穴をあける
ドリル径：10.5mm (M10)または10mm (3/8インチ)
下穴深さ：45mm
埋込深さ：40mm



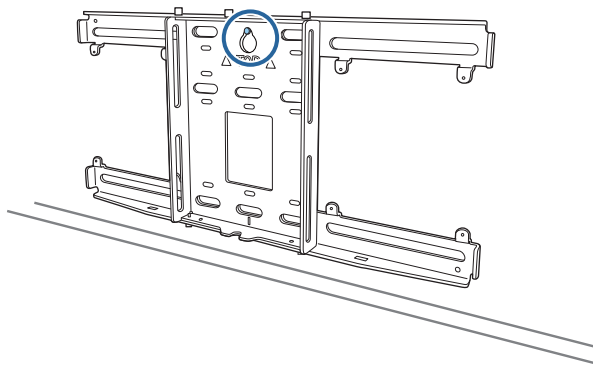
 プロジェクターに配線するケーブルを壁の中に通すときは、下図で示す範囲内に穴をあけて、ケーブル配線穴として使用できます。



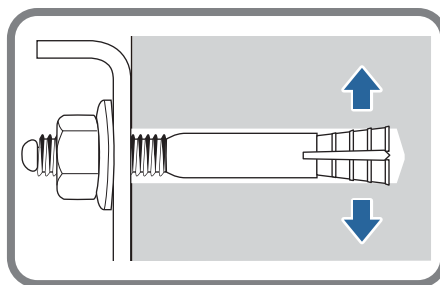
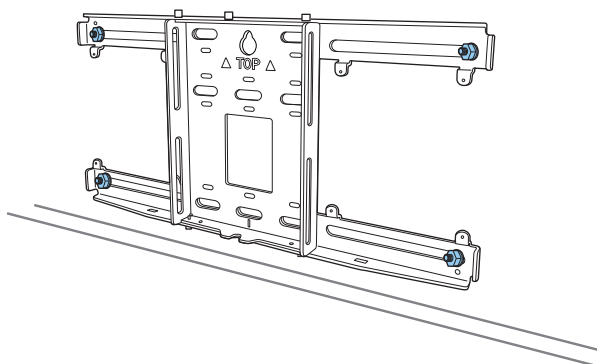
ミニPC・スティックPCを取り付ける場合は、ケーブル配線穴をあける前にミニPC用プレートを固定する位置をご確認ください。(p.54)

- 5** テンプレートシートを取り外す

6 手順2で打った仮留め用のM10ネジにウォールプレートをはっかけて配置する



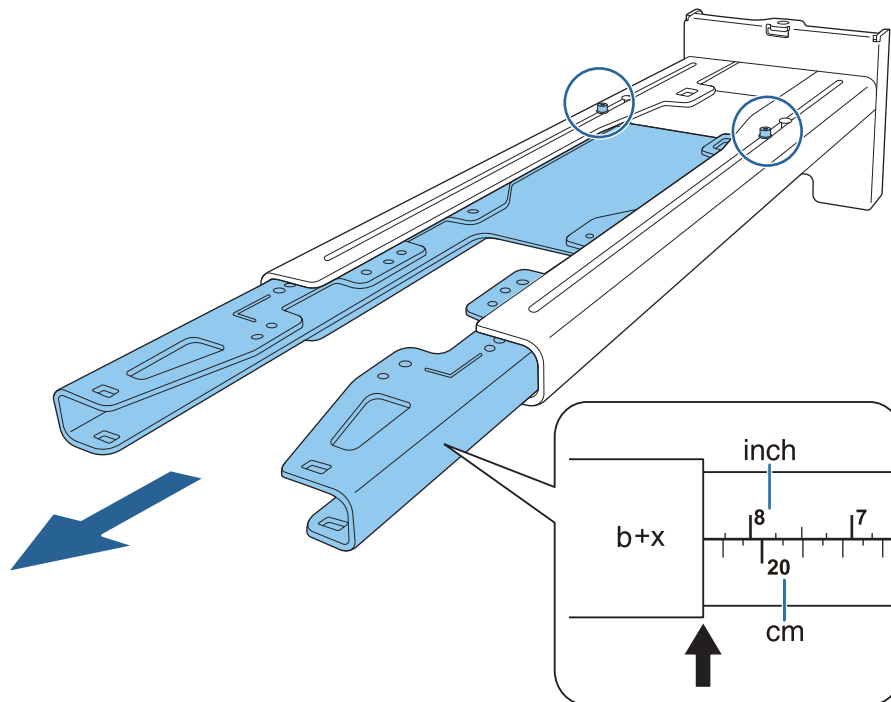
7 手順4であけた穴を使って、ウォールプレートを市販のM10または3/8インチ x 60mmアンカーボルトで固定する



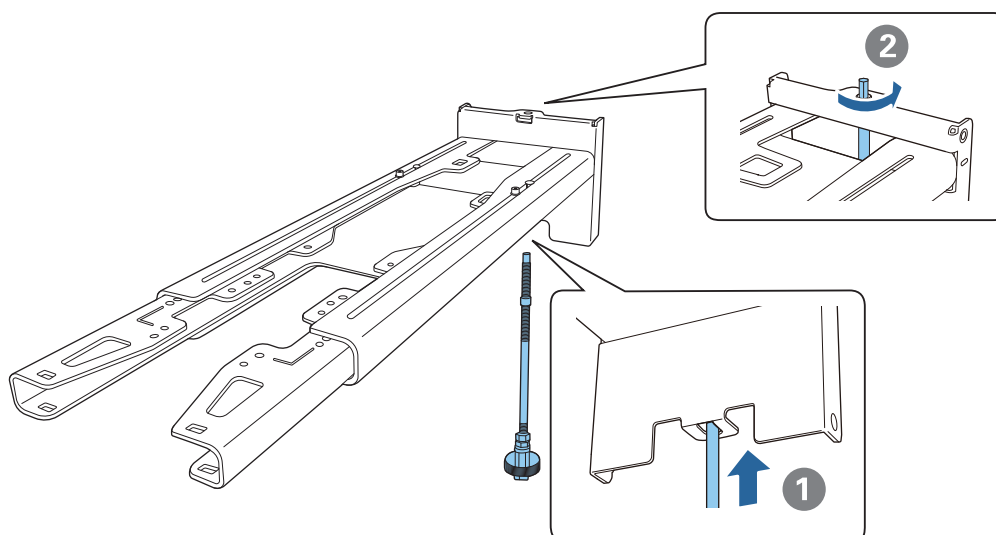
■ セッティングプレートウォールプレートに取り付ける

- 1** M4 x 12mmボルト (2本) を緩めてから、セッティングプレートのアームスライ
ドを引き出す

投写距離表 (p.29) で確認した (b) の値に、壁から投写面までの厚み (x) を足した合計距離を
スライダの目盛りに合わせます。

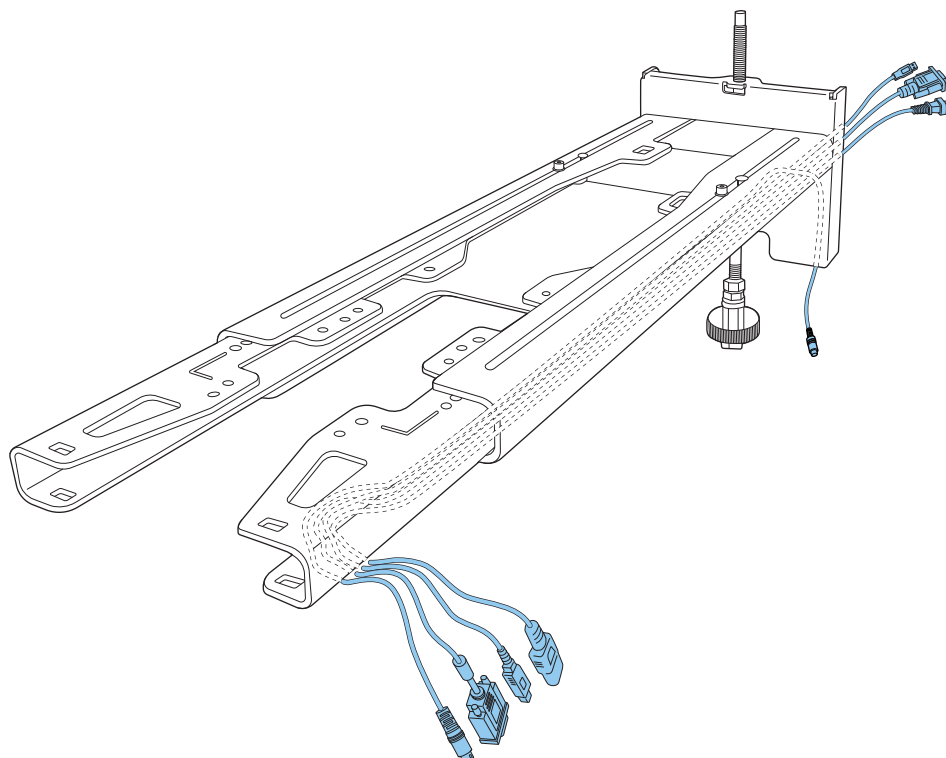


- 2** 六角軸をセッティングプレートに差し込む



3

必要なケーブル類をセッティングプレート内に通す



 警告

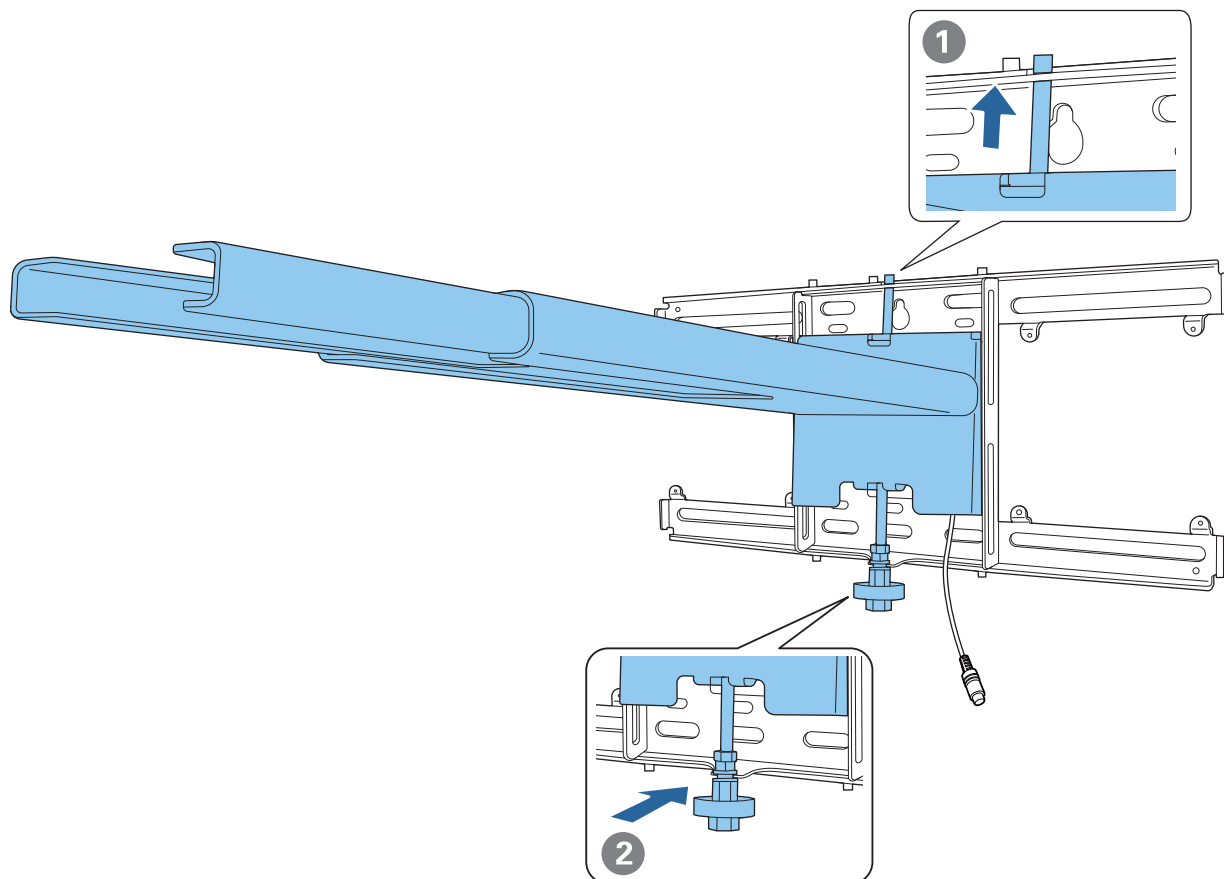
余ったケーブルをセッティングプレートの上に乗せないでください。落下事故の原因となります。



以下の端子は、壁内等に通さずセッティングプレートの下方へ出るようにしてください。

- タッチユニット接続ケーブル
- ミニPC等、周辺機器に接続するためのケーブル

- 4 セッティングプレートウォールプレートに組み付ける
六角軸の上部を差し込んでから、下部を差し込みます。

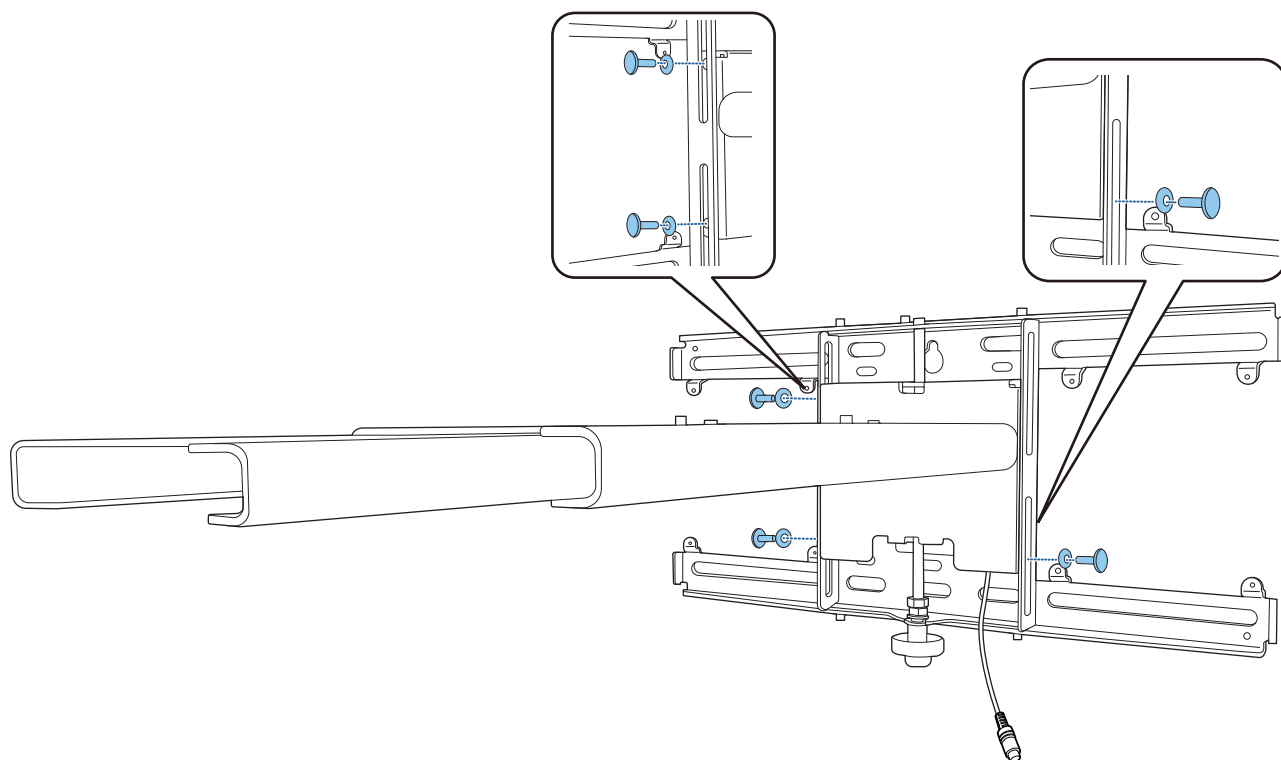


! 注意

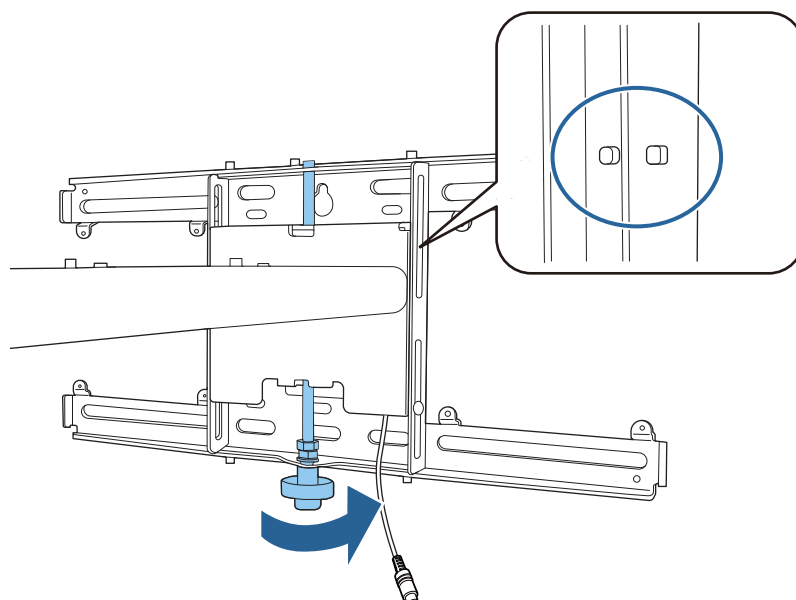
セッティングプレートとウォールプレートの上にケーブル類を挟まないように注意してください。

5 セッティングプレートを仮固定する

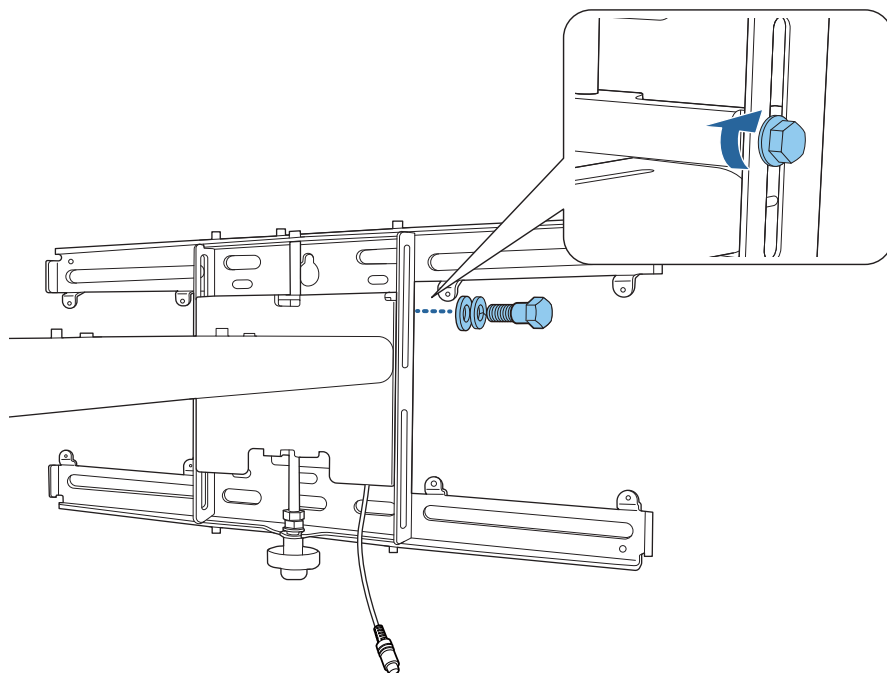
同梱のM6ネジ（3本）で、3箇所を固定します。



6 ラチェットレンチ（17mm）で六角軸の下部を回して、ウォールプレートとセッティングプレートの目印の位置を合わせる



7 M6ボルト（1本）で、セッティングプレートの位置を固定する

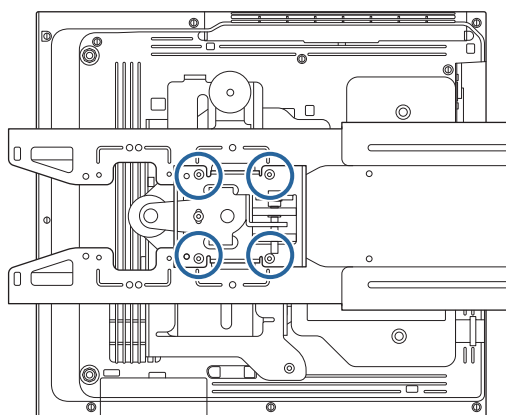


■ セッティングプレートに調整ユニットを取り付ける

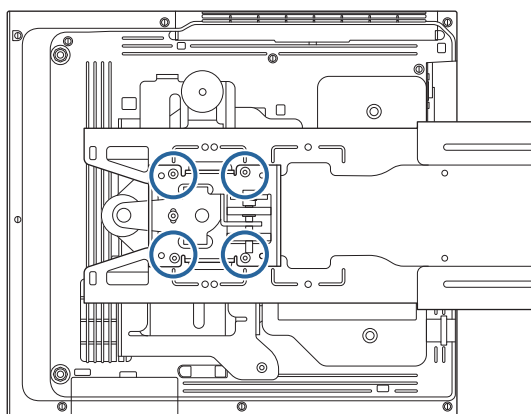
1 調整ユニットの取り付け位置を確認する

取り付け位置はセッティングプレートに目印が刻印されています。投写したい画面サイズに合わせて適切な位置に取り付けます。

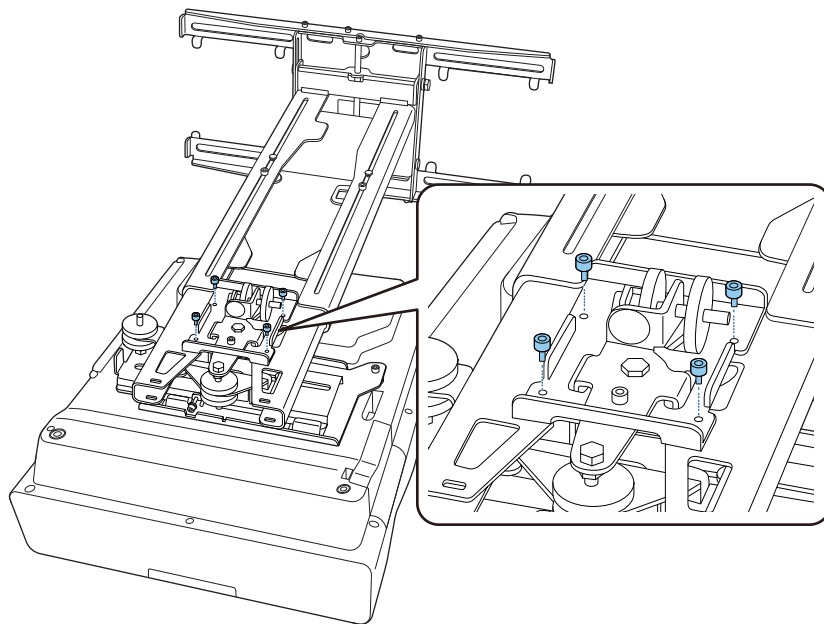
- 90型未満の画面を投写する場合：○の箇所に取り付けます。



- 90型以上の画面を投写する場合：○○の箇所に取り付けます。



- 2 同梱のM4 x 12mmボルト (4本) で、調整ユニットをセッティングプレートに固定する

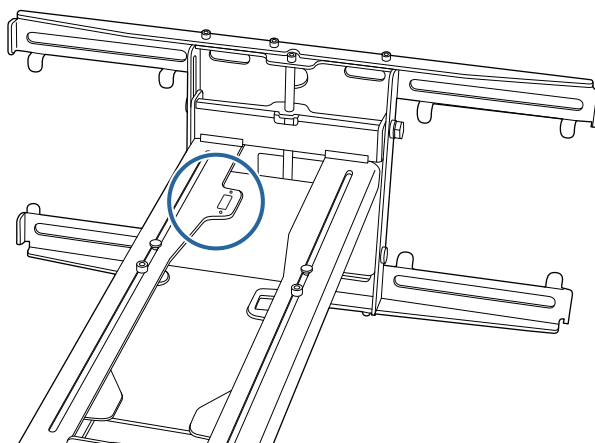


- 3 ケーブル類をプロジェクターに接続する
電源コードは最後に接続してください。

■ 周辺機器を取り付ける

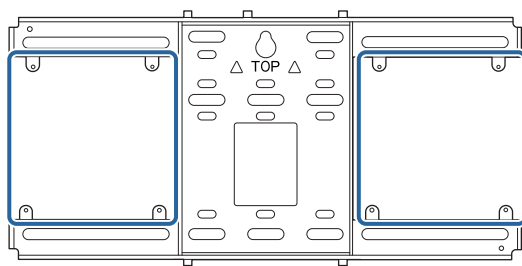
スイッチャーやチューナーを取り付ける

スイッチャーやチューナーは、下図のネジ穴に市販のM4ネジで固定します。



ミニPC・スティックPCを取り付ける

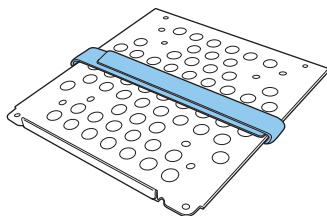
ミニPC・スティックPCは、ミニPC用プレートに取り付けてウォールプレートの左右いずれかに固定します。



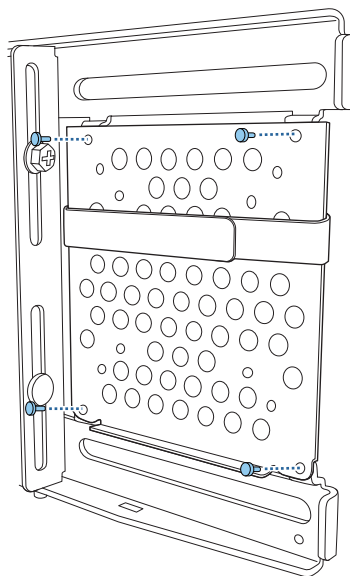
PCの吸排気口をふさがらない向きで取り付けてください。
上側に排気口、下側に吸気口が来るように設置することをお勧めします。

ミニPC用ベルトで固定する場合

1 ミニPC用プレートにベルトを巻きつける

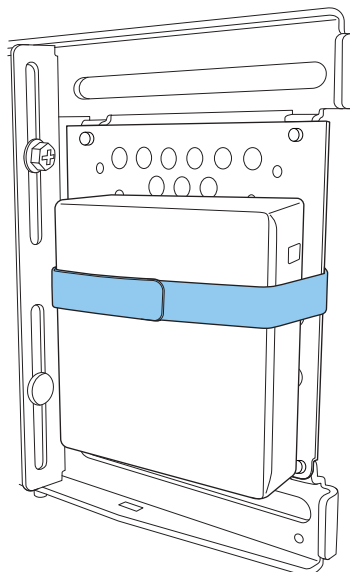


2 同梱のM3x6mmネジ（4本）を使って、ミニPC用プレートをウォールプレートに固定する



3

ミニPC用プレートの下側の突起にPC本体をのせて、ベルトで固定する

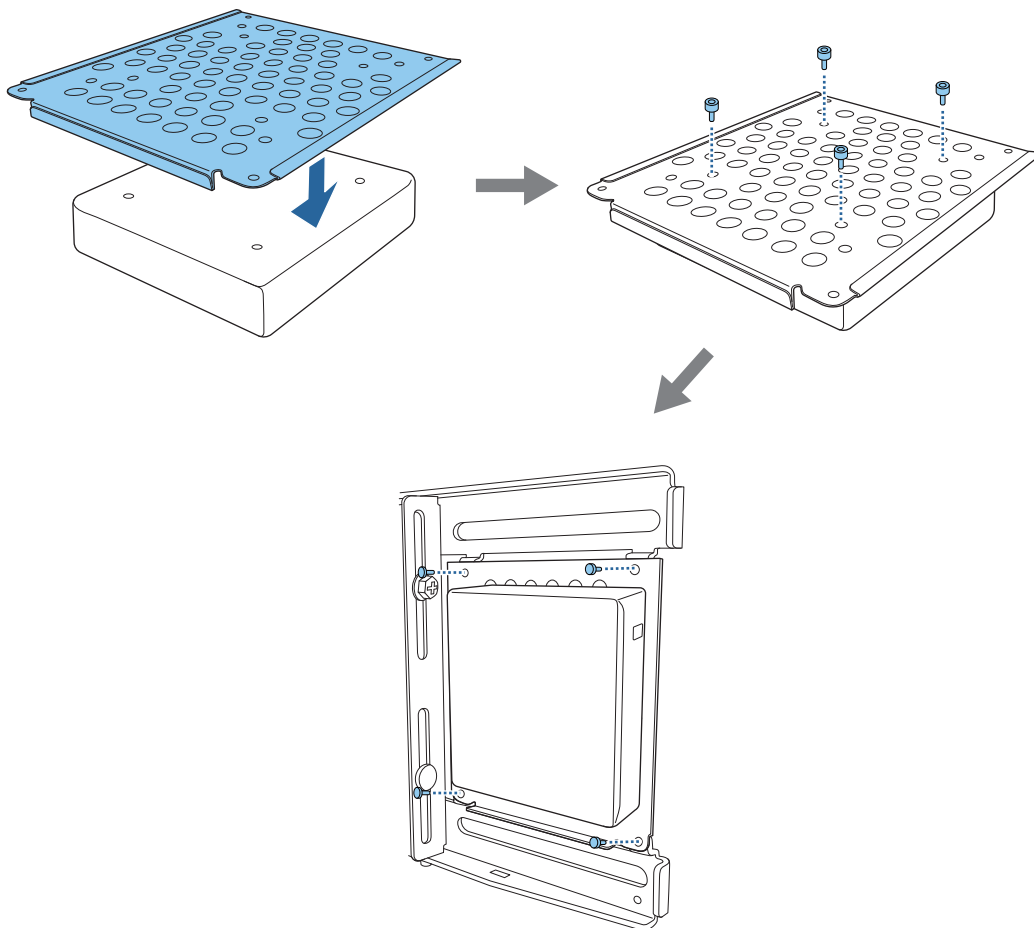


ネジで固定する場合

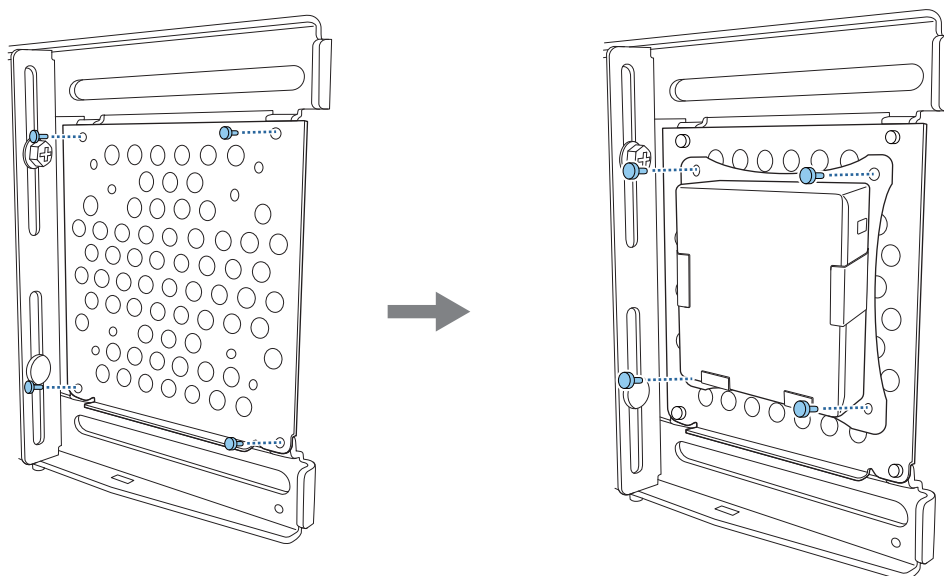
お使いのミニPCの形状やネジ穴の向きによって、取り付ける順番が異なります。事前に取り付け手順をご確認ください。

取り付け例

- PCを取り付けたミニPC用プレートを、同梱のM3x6mmネジ（4本）を使ってウォールプレートに固定する




- 同梱のM3x6mmネジ（4本）を使ってウォールプレートにミニPC用プレートを固定してから、PCを取り付ける



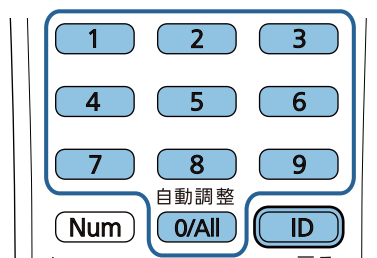
投写映像の位置調整

投写映像の位置調整は、下記のいずれかの方法で行います。

 同じ部屋に複数台のプロジェクターを設置しているときは、リモコンの干渉を防ぐためにプロジェクターIDを設定することをお勧めします。

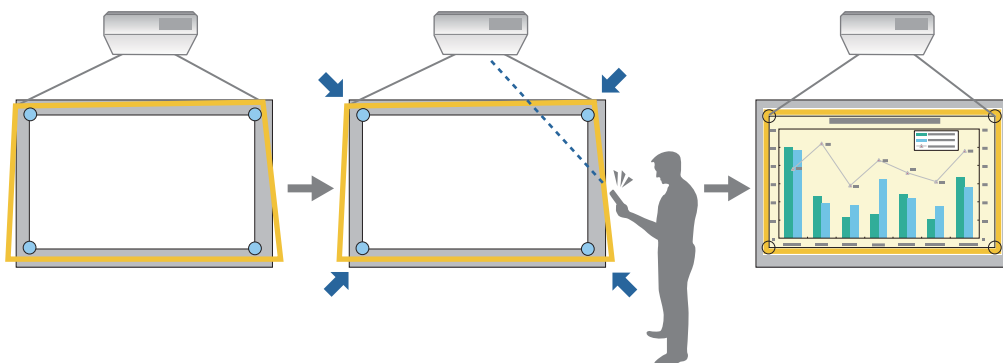
プロジェクターの電源をオンにして、[設置] - [プロジェクターID] でプロジェクターにID番号を設定します。

対象のプロジェクターを操作するときは、リモコンの【ID】ボタンを押したまま、対象のプロジェクターのIDと同じ数字のボタンを押します。



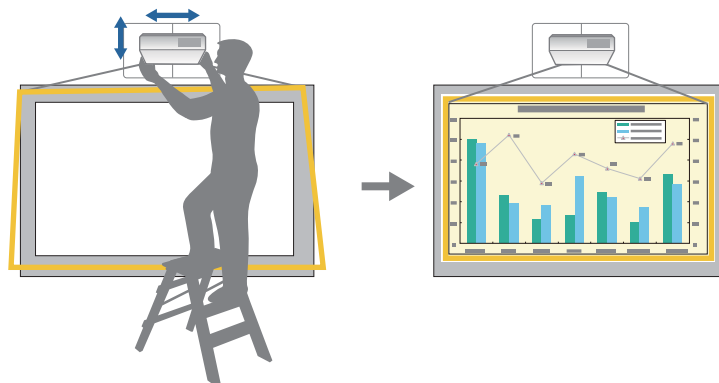
- 自動画面調整（ p.60）

投写する位置の四隅にコーナーマーカーを貼りつけて、映像の位置を自動で調整します。指定の位置に大まかに合わせて調整したいときに便利です。



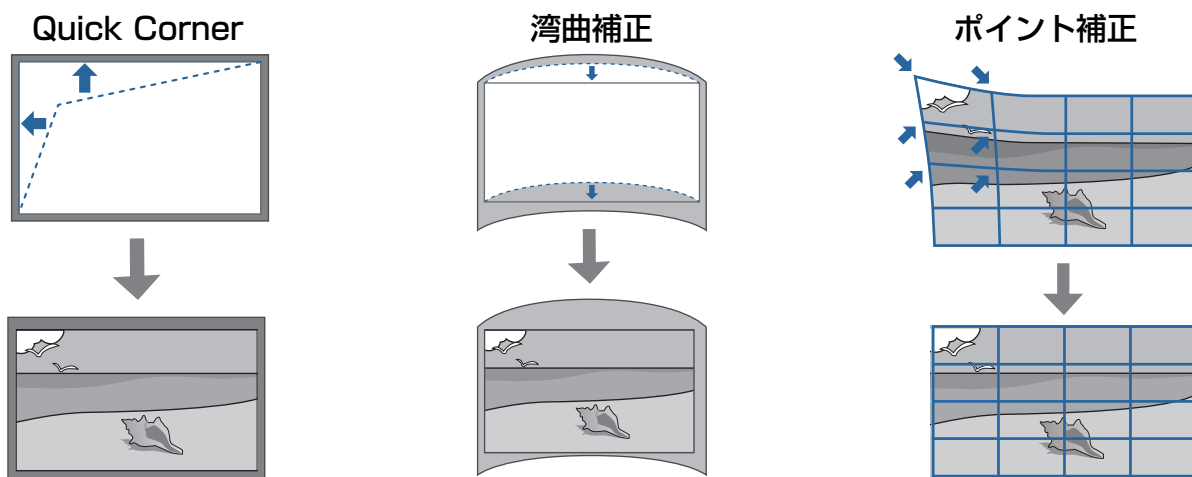
• セッティングプレート調整ガイドによる調整 (p.64)

表示されるガイド画面に合わせて、金具の位置を手動で調整します。画質を維持したままで投写位置を細かく調整したいときに便利です。




• プロジェクターメニューによる調整 (p.67)

調整したいエリアを選択して、手動で映像を補正します。設置ガイドで調整を行った後、投写位置を微調整するとき便利です。

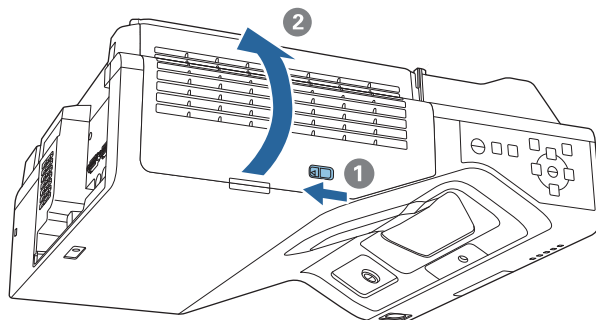


- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写開始後、30分以上経ってから映像の調整を行ってください。
- プロジェクターの設置・調整は、実際の使用環境に近い室温で行ってください。温度が変化すると、映像の位置がずれたりペンの精度が悪化したりする可能性があります。
- 本機を2台以上設置する場合に、一括設定機能を使って設定を行うときは、投写画面を調整する前に行ってください。
- 映像の画質を維持するためには、金具の位置を動かして映像を調整することをお勧めします。

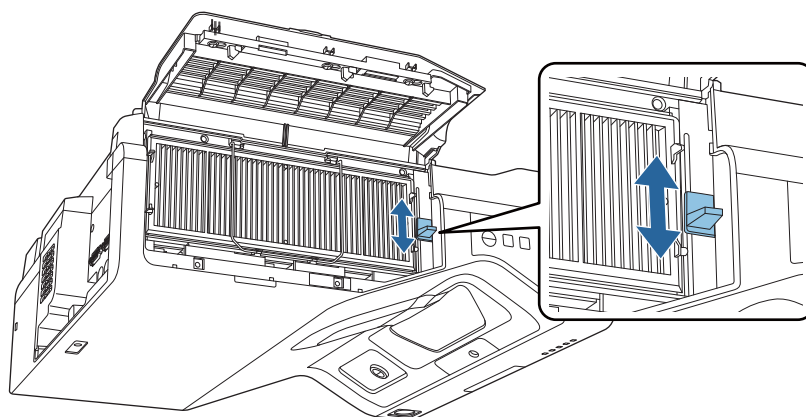
■ 調整前の準備

- 1 リモコンまたは操作パネルの電源【】ボタンを押して、プロジェクターの電源を入れる

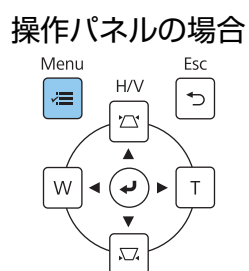
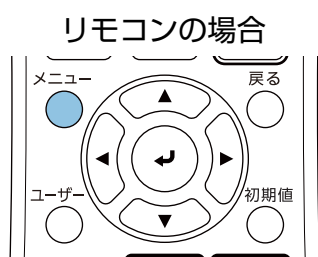
2 プロジェクターの側面にあるエアフィルターカバーを開ける



3 フォーカスレバーで大まかにピントを合わせる



4 【メニュー】 ボタンを押す



5 [設置] メニューの [スクリーンタイプ] で、投写しているスクリーンのアスペクト比を設定する

よく使う項目	設定	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設定	セッティングプレート調整が…	
表示	縦置き	しない
動作	設置モード	フロント・上下反転
管理	自動画面調整	
ネットワーク	幾何学歪み補正	ポイント補正
ペン/指タッチ	デジタルズーム	▼
インタラクティブ	ELPCB02を接続する	オフ
メモリー	タッチユニット	
節電	リモコン受光部	オフ
初期・全体設定	プロジェクターID	オフ
	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	
	パターン表示	

6 必要に応じて、アスペクト比を切り替える

接続機器からの映像を投写して、リモコンの【アスペクト】ボタンを押します。押すたびに画面上にアスペクト名が表示され、アスペクト比が切り替わります。



接続機器からの映像が投写されていないときはアスペクト比は切り替えられません。

自動画面調整

投写する位置の四隅にコーナーマーカーを貼りつけて、映像の位置を自動で調整します。自動画面調整が正しく動作する条件は以下のとおりです。

- 投写サイズ：100インチ以下
- プロジェクターの設置角度：上下左右±1°以内

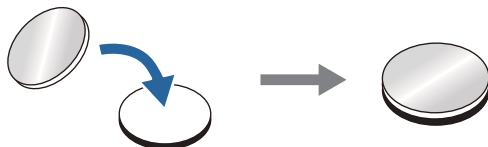


- 投写面の状態によっては、自動画面調整がうまく動作しないことがあります。自動画面調整を行うために必要な条件は以下のとおりです。
 - 投写面が平らであること
 - 投写面に模様や汚れ、障害物がないこと
 - 事前にスクリーンタイプを正しく設定してください。自動画面調整を実行したあとにスクリーンタイプを変更すると、補正前の状態に戻ります。

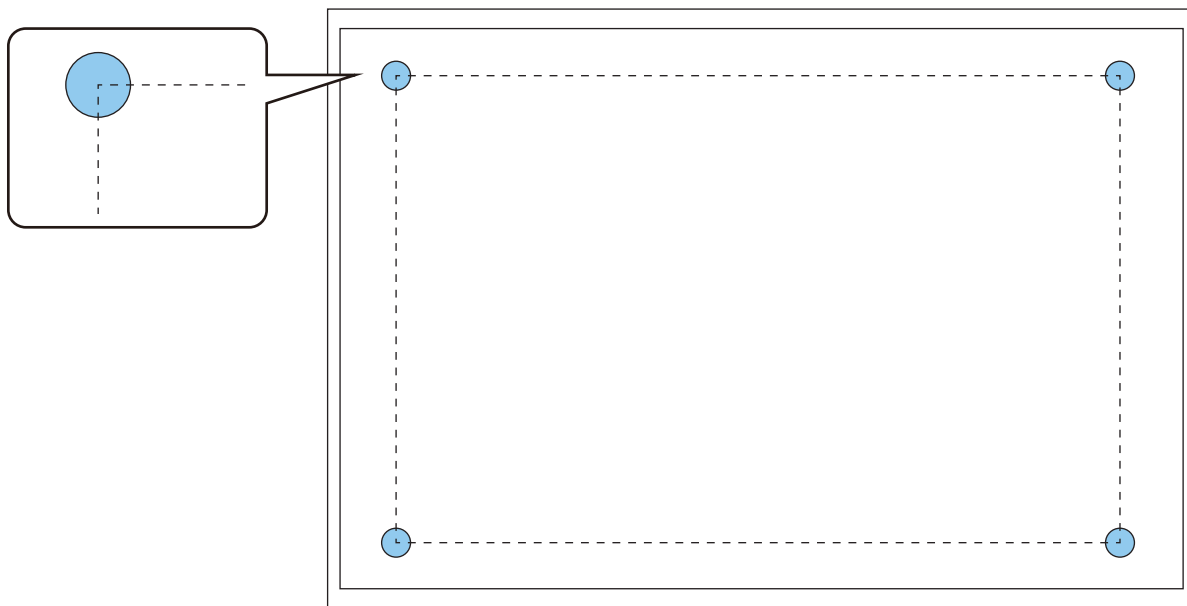
1 投写したい位置の四隅にコーナーマーカーを貼りつける



- コーナーマーカーは貼り直しできません。貼りつける位置に事前に印をつけておくことをお勧めします。
- 貼り直しが必要な場合は、同梱のマグネットシートにコーナーマーカーを貼りつけてお使いください。

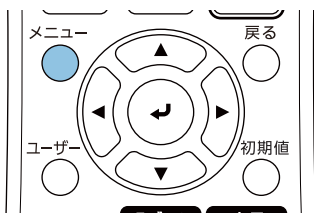


投写位置の角がコーナーマーカーの中心に重なるように貼りつけます。

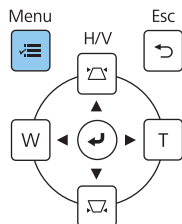


2 【メニュー】 ボタンを押す

リモコンの場合



操作パネルの場合

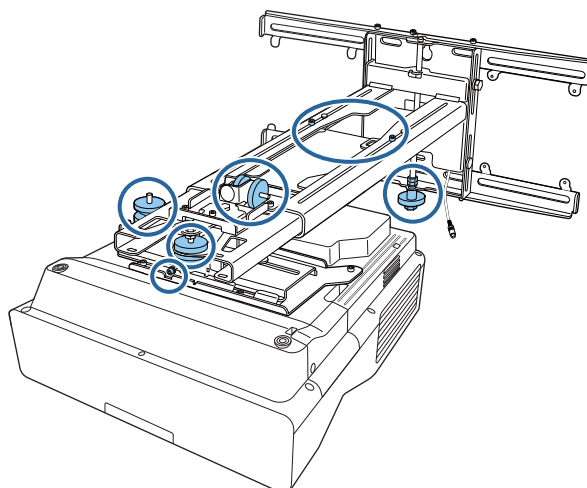


3 [設置] メニューの [自動画面調整] を選択する

よく使う項目	設定	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設定	セッティングプレート調整が…	
表示	縦置き	しない
動作	設置モード	フロント・上下反転
管理	自動画面調整	
ネットワーク	幾何学歪み補正	ポイント補正
ペン/指タッチ	デジタルズーム	▼
インタラクティブ	ELPCB02を接続する	オフ
メモリー	タッチユニット	
節電	リモコン受光部	オフ
初期・全体設定	プロジェクターID	オフ
	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	
	パターン表示	

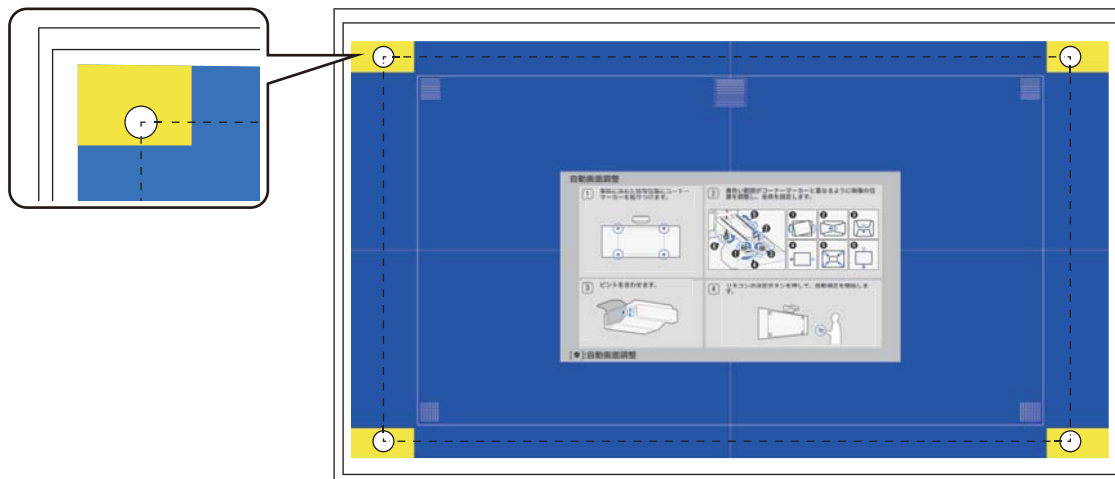
自動画面調整のガイド画面が表示されます。

4 すべての調整ダイヤル・調整ネジを緩める



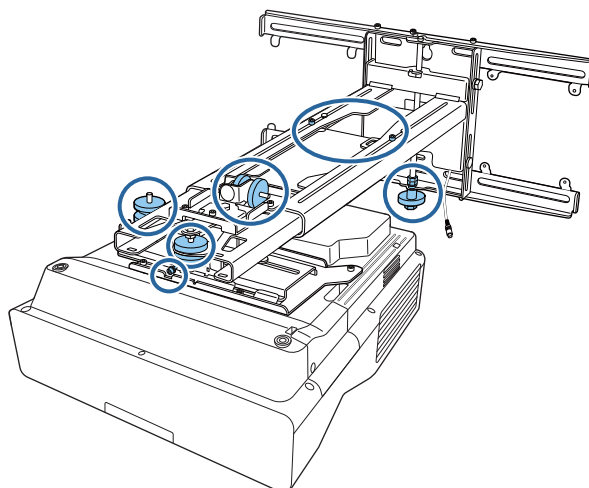
5 プロジェクターを動かして、ガイド画面の四隅にある黄色いエリアがコーナーマーカーに重なるように映像の位置を調整する

すべてのコーナーマーカーが黄色いエリアの中に収まっていることを確認してください。



6

位置が決まったら、手順4で緩めた調整ダイヤル・調整ネジを全て締める

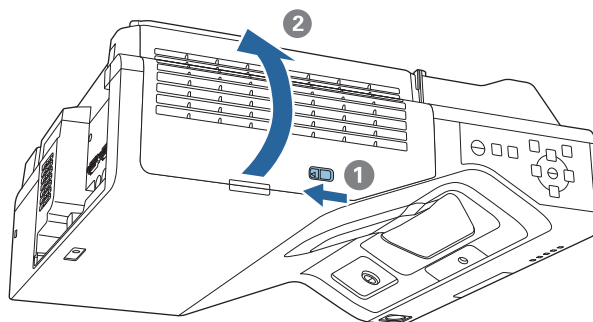


 警告

すべてのボルトやネジを完全に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。

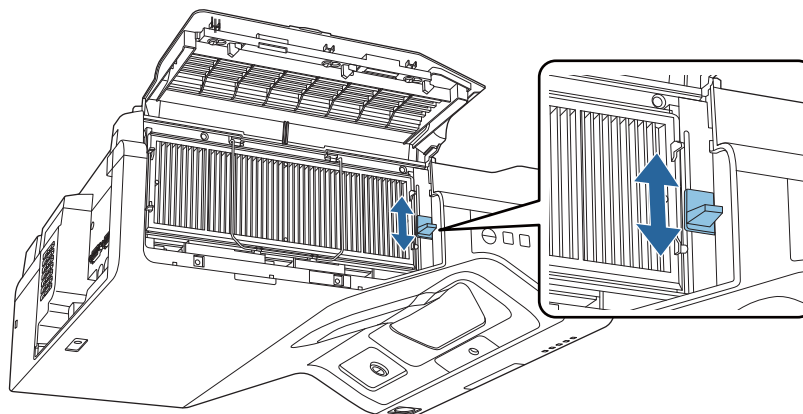
7

プロジェクターの側面にあるエアフィルターカバーを開ける



8

フォーカスレバーで大まかにピントを合わせる



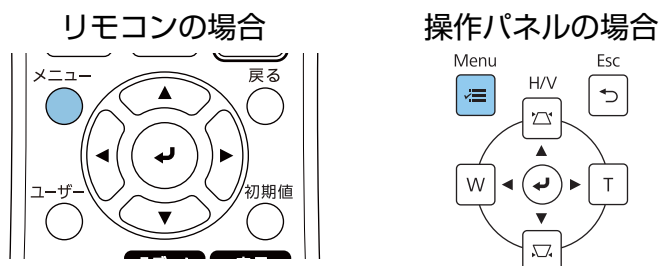
9 【決定】 ボタンを押して、自動調整を開始する

自動調整が終わったあと、さらに微調整を行う場合はQuick Corner (p.69) をお使いください。湾曲補正やポイント補正を使うと、映像が自動補正前の状態に戻ります。

■ セッティングプレート調整ガイドを使った手動調整

ガイド画面に従って、映像の位置を調整します。

1 【メニュー】 ボタンを押す

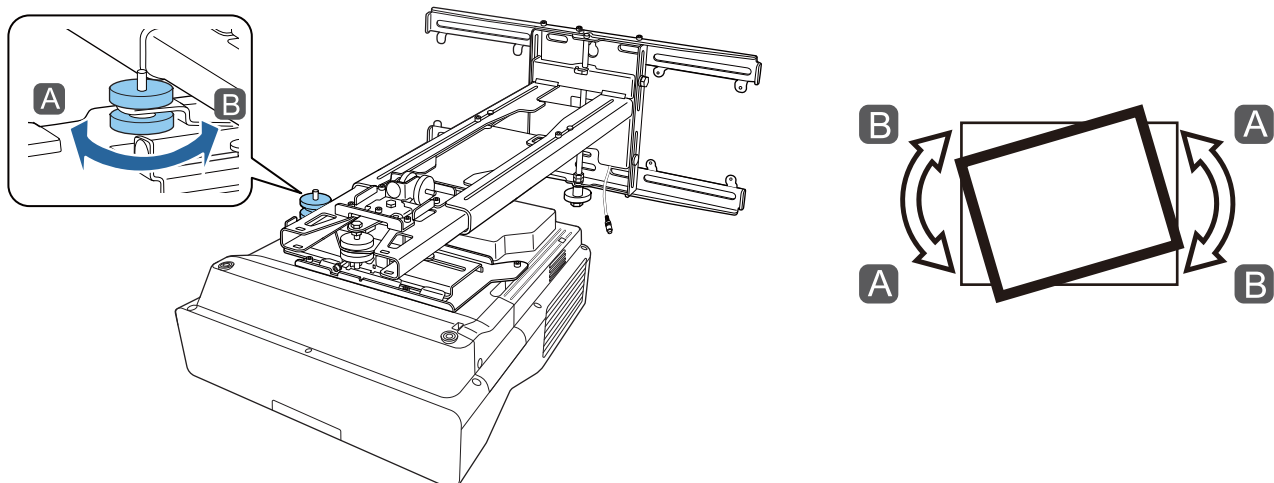


2 【設置】 メニューの [セッティングプレート調整ガイド] を選択する

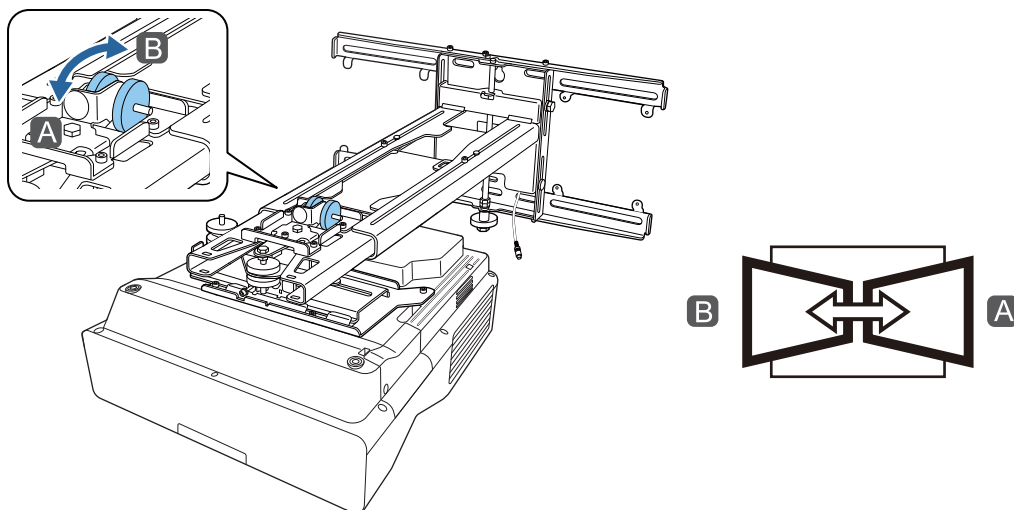
よく使う項目	設定	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設定	セッティングプレート調整ガ...	
表示	縦置き	しない
動作	設置モード	フロント・上下反転
管理	自動画面調整	
ネットワーク	幾何学歪み補正	ポイント補正
ペン/指タッチ	デジタルズーム	▼
インタラクティブ	ELPCB02を接続する	オフ
メモリー	タッチユニット	
節電	リモコン受光部	オフ
初期・全体設定	プロジェクターID	オフ
	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	
	パターン表示	

ガイド画面が表示されます。

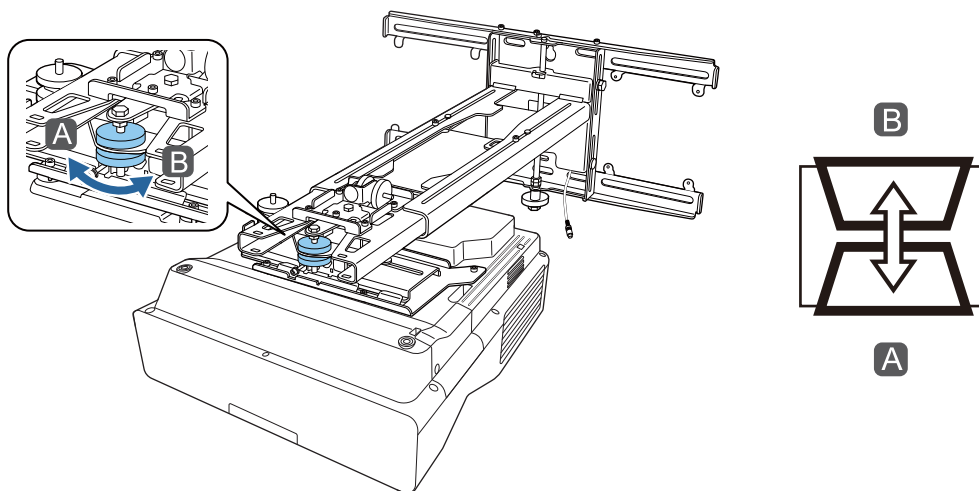
3 設置ガイド内 ① のダイヤルを回して水平ロールを調整する



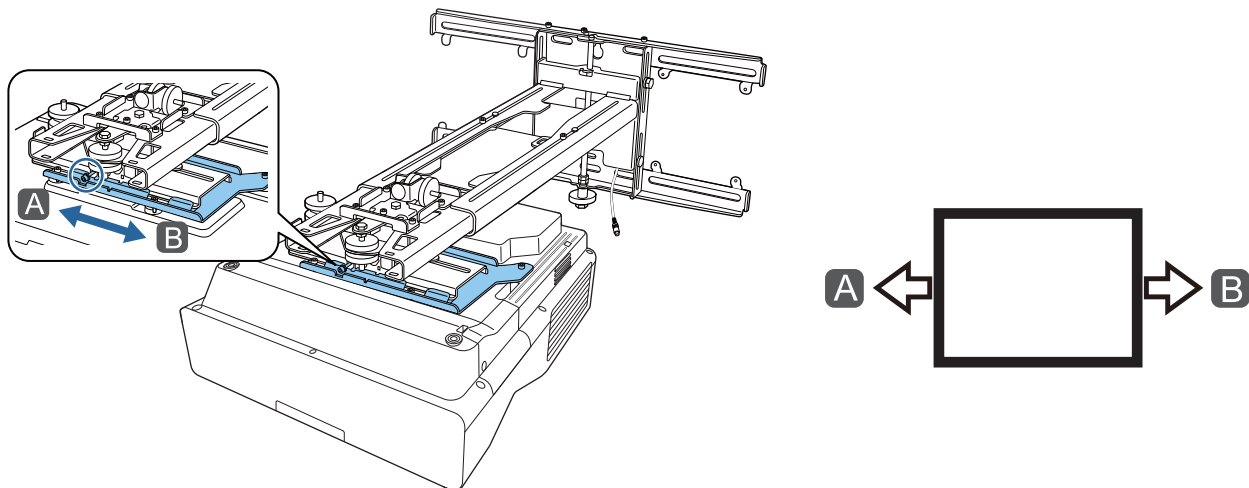
4 設置ガイド内 ② のダイヤルを回して水平回転を調整する



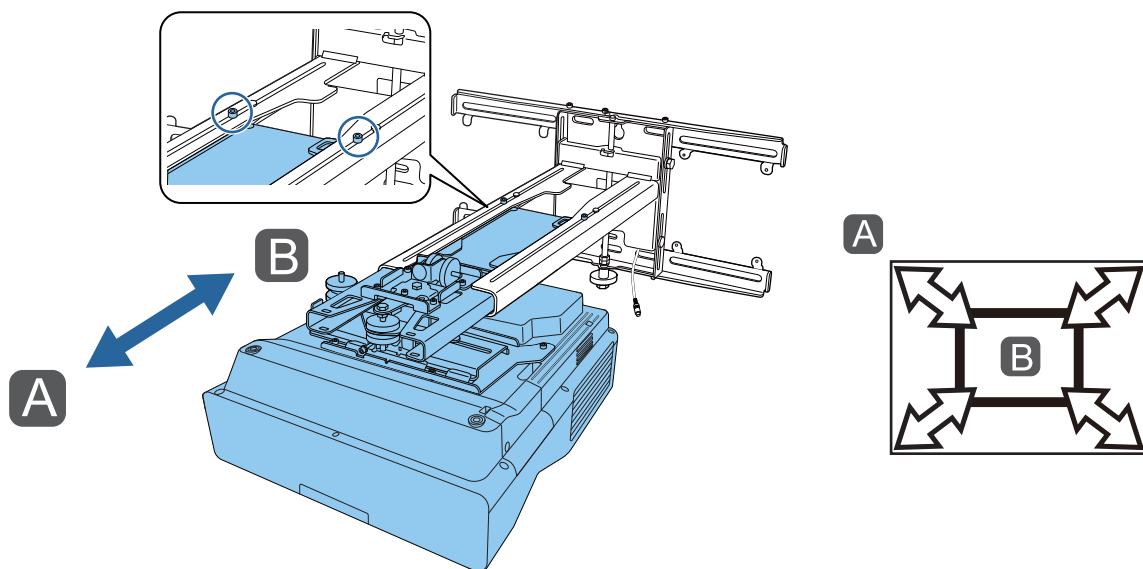
5 設置ガイド内 ③ のダイヤルを回して上下チルトを調整する



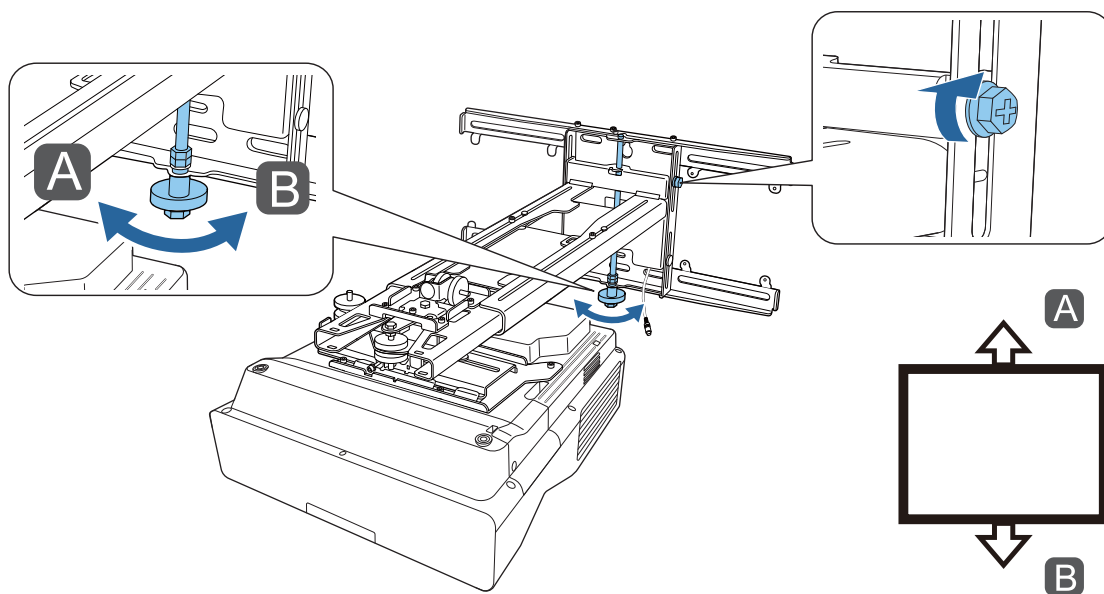
6 M4ボルトを緩めてから、水平スライドを調整する



7 M4ボルト (2本) を緩めてから、前後スライドを調整する



8 M6ボルトを緩めてから、上下スライドを調整する



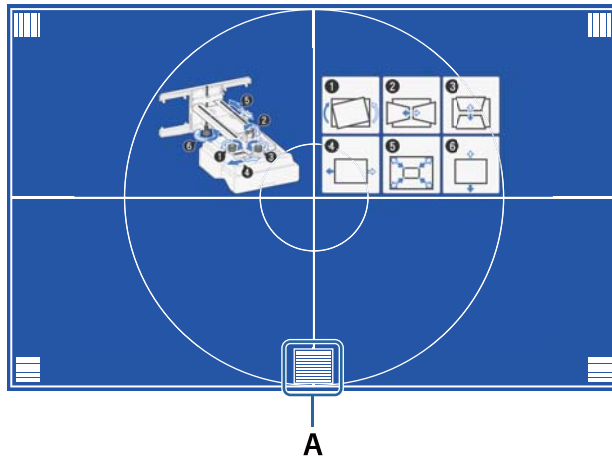
9 手順3から手順8で緩めたネジやボルトを締め直す



警告

すべてのボルトやネジを完全に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。

10 下図Aのピントが合うようにフォーカスを調整する



11 調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して、ガイド画面を消す

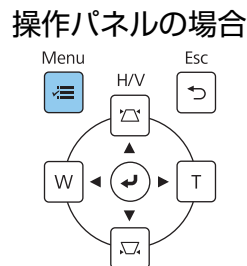
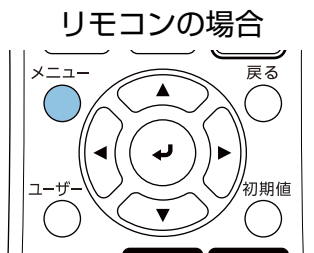
■ プロジェクターメニューを使った調整



- 調整した値は、[幾何学歪み補正] メニューの [メモリー] から保存できます。
- 事前にスクリーンタイプを正しく設定してください。補正を行ったあとにスクリーンタイプを変更すると、補正前の状態に戻ります。

湾曲補正

1 【メニュー】ボタンを押す



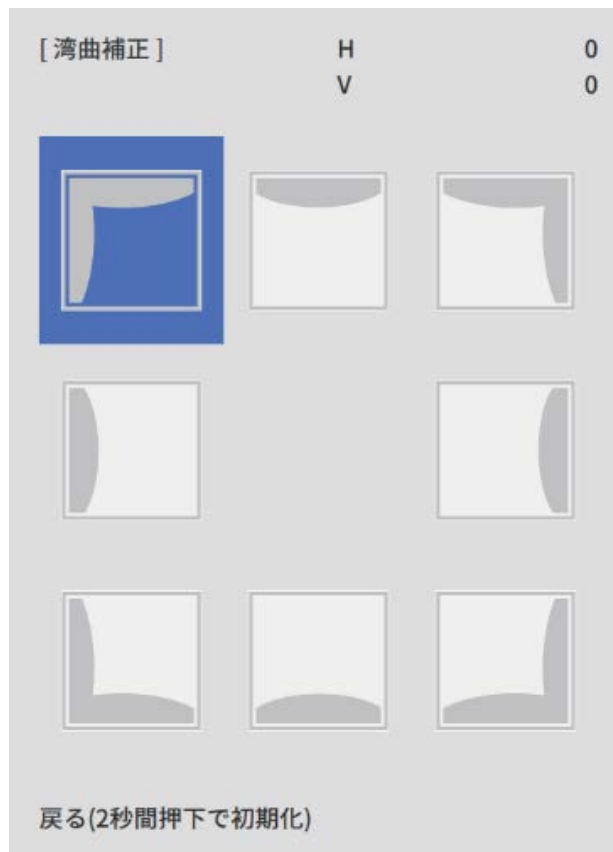
2 [設置] メニューの [幾何学歪み補正] を選択する

よく使う項目	設定	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設定	セッティングプレート調整が…	
表示	縦置き	しない
動作	設置モード	フロント・上下反転
管理	自動画面調整	
ネットワーク	幾何学歪み補正	ポイント補正
ペン/指タッチ	デジタルズーム	▼
インタラクティブ	ELPCB02を接続する	オフ
メモリー	タッチユニット	
節電	リモコン受光部	オフ
初期・全体設定	プロジェクターID	オフ
	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	
	パターン表示	

3 [湾曲補正] を選択する

[幾何学歪み補正]	戻る
タテヨコ台形補正	
Quick Corner	
✓ 湾曲補正	
ポイント補正	
メモリー	

4 補正する辺を選択して調整する

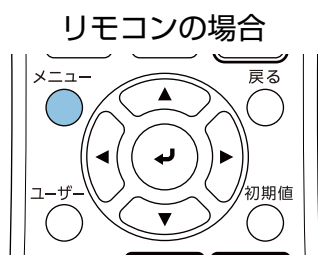


調整できない範囲に達したときは、「これ以上調整できません。」というメッセージが表示されます。

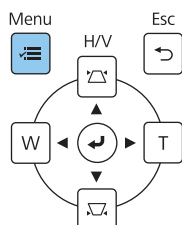
5 調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して終了する

Quick Corner

1 【メニュー】ボタンを押す



操作パネルの場合



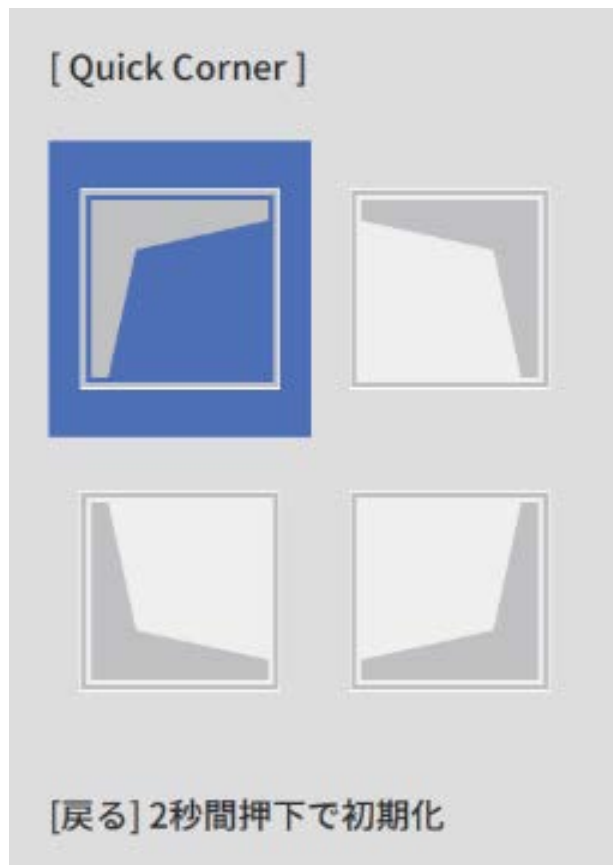
2 [設置] メニューの [幾何学歪み補正] を選択する

よく使う項目	設定	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設定	セッティングプレート調整が…	
表示	縦置き	しない
動作	設置モード	フロント・上下反転
管理	自動画面調整	
ネットワーク	幾何学歪み補正	ポイント補正
ペン/指タッチ	デジタルズーム	▼
インタラクティブ	ELPCB02を接続する	オフ
メモリー	タッチユニット	
節電	リモコン受光部	オフ
初期・全体設定	プロジェクターID	オフ
	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	
	パターン表示	

3 [Quick Corner] を選択する

[幾何学歪み補正]	戻る
タテヨコ台形補正	
✓ Quick Corner	
湾曲補正	
ポイント補正	
メモリー	

4 補正する辺を選択して調整する



調整できない範囲に達したときは、「これ以上調整できません。」というメッセージが表示されます。

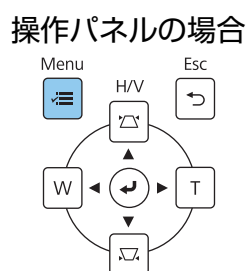
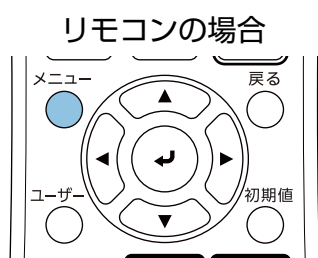


辺の調整中、リモコンの【1】【3】【7】【9】ボタンで補正する辺を切り替えられます。

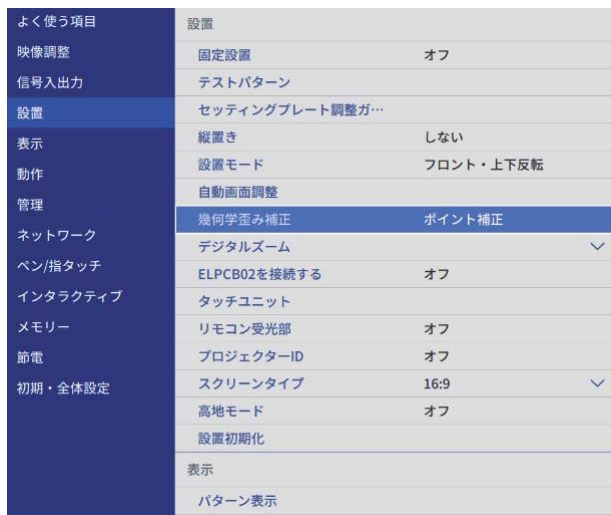
5 調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して終了する

ポイント補正

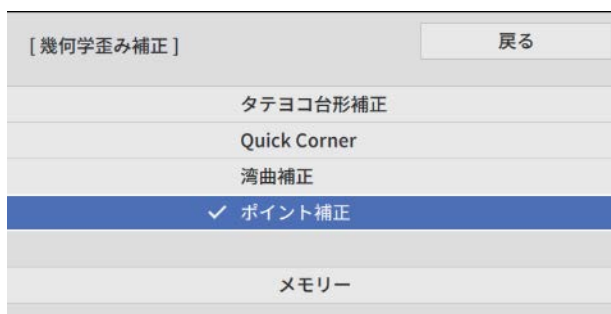
1 【メニュー】ボタンを押す



2 [設置] メニューの [幾何学歪み補正] を選択する



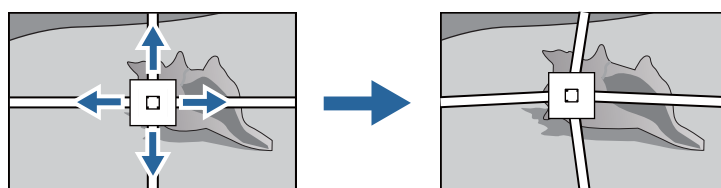
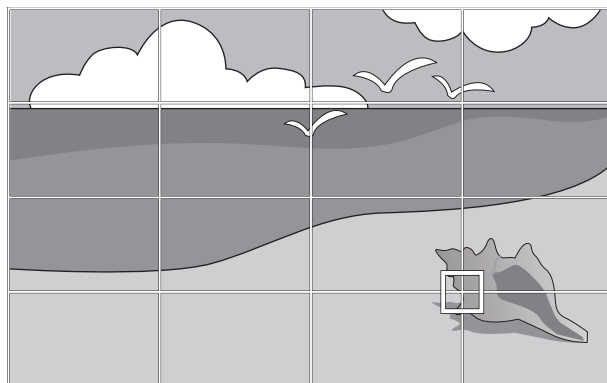
3 [ポイント補正] を選択する



4 [ポイント補正] を選択して、グリッド数を設定する



5 補正するポイントを選択して調整する

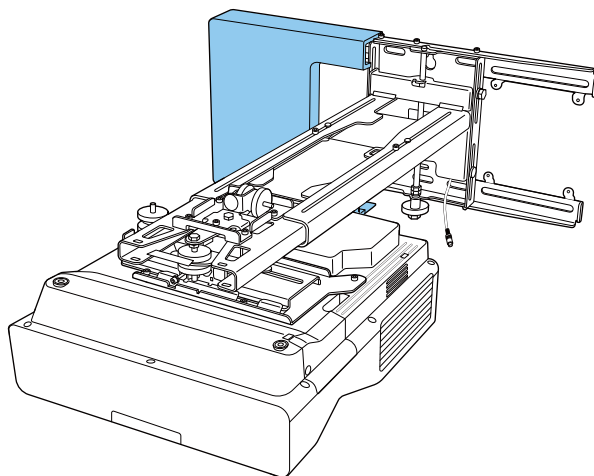


グリッドが見えにくいときは、[パターン色] でグリッドの色を変更します。

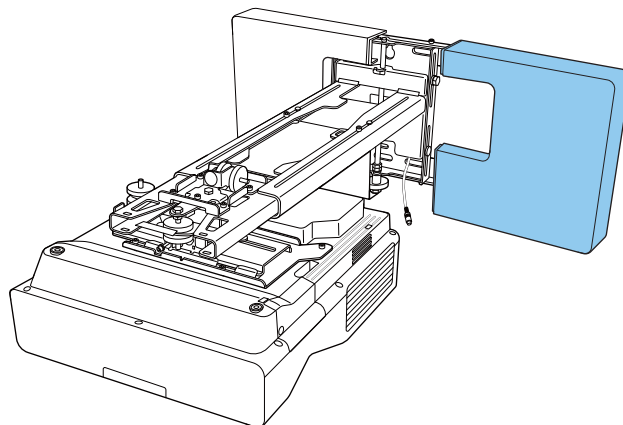
6 調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して終了する

カバーの取り付け

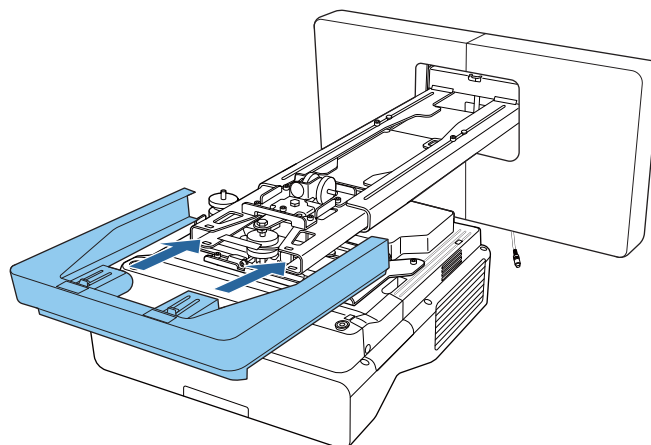
1 左側のウォールプレートカバーを取り付ける



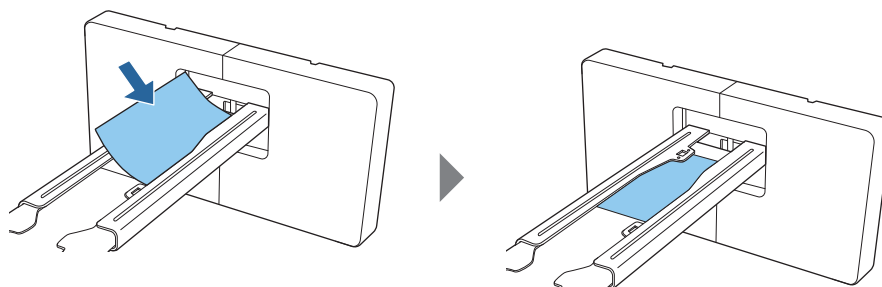
2 右側のウォールプレートカバーを取り付ける



3 エンドキャップをセッティングプレートにはめ込む



アームの空洞が気になるときは、同梱の目隠しシールを貼り付けてください。

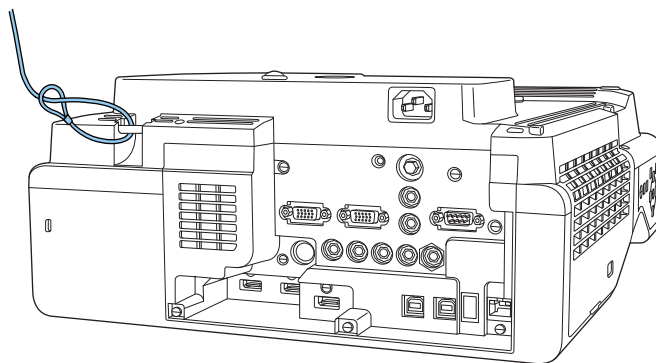


セキュリティーケーブルの取り付け

必要に応じて、以下のいずれかの方法でセキュリティー対策を行ってください。

- 市販の盗難防止用ワイヤーロックを取り付ける

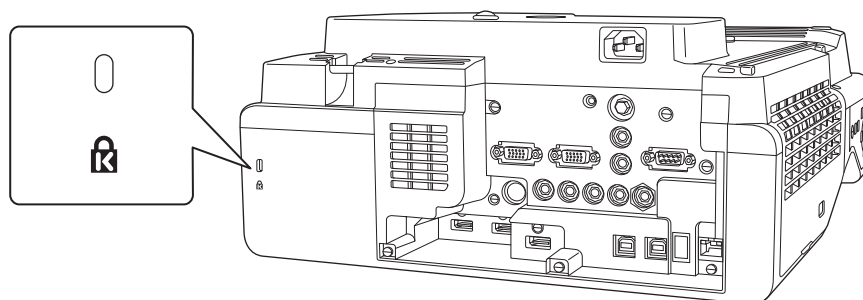
プロジェクターとセッティングプレートそれぞれのセキュリティーケーブル取り付け部にワイヤーを通して施錠してください。



- Kensington社製のセキュリティーワイヤーを取り付ける

Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティーロットが搭載されています。マイクロサーバーセキュリティーシステムについての詳細は、以下をご覧ください。

<http://www.kensington.com/>



ペンスタンドに関するご注意

警告

心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、ペンスタンドに近づかないでください。また、ペンスタンドを取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。

マグネットの磁力が強力なため電磁妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。



注意

磁気カードなどの磁気記憶媒体や、コンピューター、電子腕時計、携帯電話などの精密電子機器をペンスタンドに近づけないでください。

マグネットの磁力が強力なためデータの破損や故障の原因となる可能性があります。



ペンスタンド背面のマグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。取り付ける際にマグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようにご注意ください。

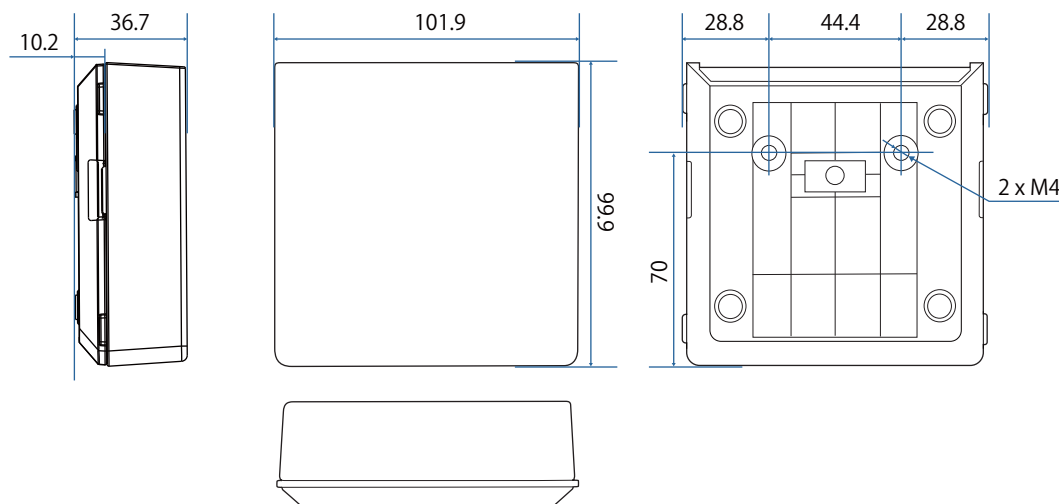


ペンスタンド仕様

項目	仕様
ペンスタンド質量	約93g

外形寸法

[単位 : mm]

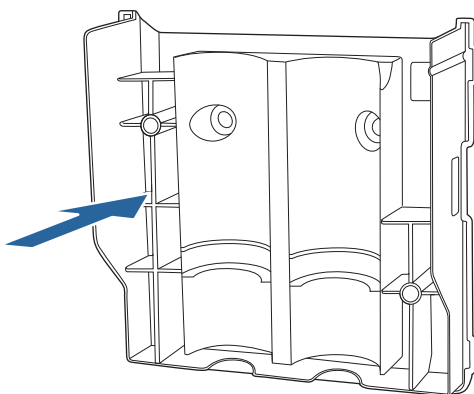


ペンスタンド取り付け手順

ペンスタンドはマグネットまたは市販のM4ネジで固定します。

マグネットで固定する場合

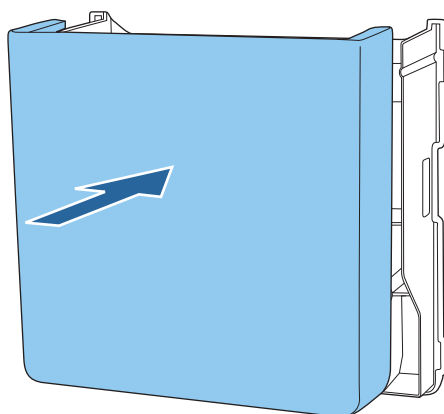
- 1 取り付け位置を確認して、マグネットで固定する



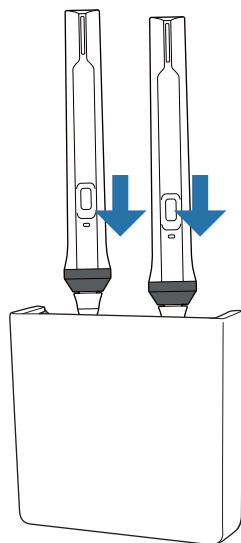
注意

マグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。マグネットと設置面の上に指や体の一部をはさまないようにご注意ください。

- 2 カバーを取り付ける

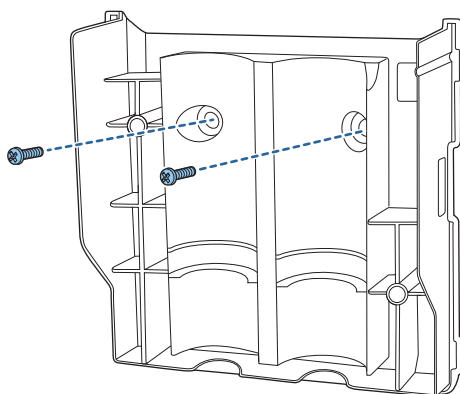


3 インタラクティブペンを収納する



ネジで固定する場合

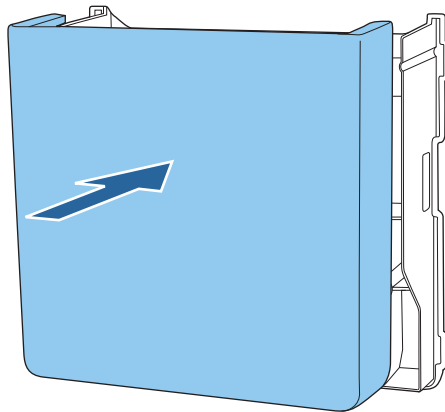
1 取り付け位置を確認して、市販のM4ネジ（20mm×2本）で固定する



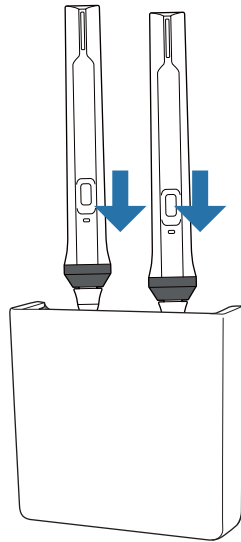
 警告

- 取り付け面に対してネジが斜めにならないように固定してください。
- ペンスタンドが確実に固定されていることを確認してください。

2 カバーを取り付ける



3 インタラクティブペンを収納する



インタラクティブペンの位置合わせ

ペン位置合わせを行う前に、プロジェクターの映像調整を済ませてください。

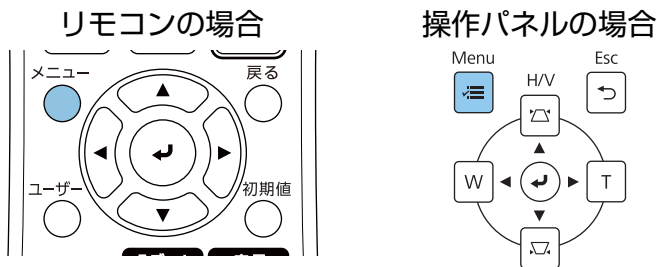
ペン位置合わせは、[自動ペン位置合わせ] と [手動ペン位置合わせ] の2つの方法があります。

初めてペン位置合わせをするときは、より正確に位置を合わせるために、[手動ペン位置合わせ] を行ってください。

2回目以降にペン位置合わせをするときは、[自動ペン位置合わせ] を行います。(p.83)

手動ペン位置合わせ

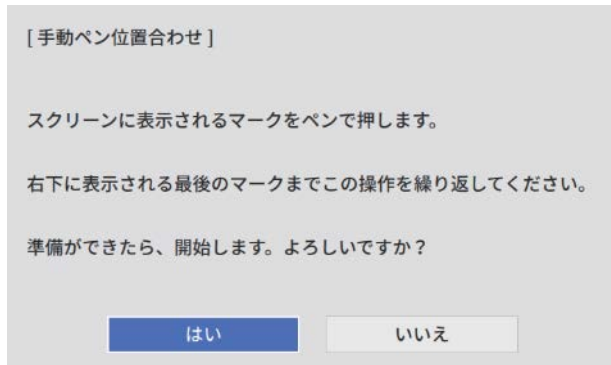
1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】 ボタンを押す



2 [ペン/指タッチ] メニューで [手動ペン位置合わせ] を選択する

よく使う項目	ペン/指タッチ
映像調整	自動ペン位置合わせ
信号入出力	手動ペン位置合わせ
設置	タッチユニット
表示	複数台設置
動作	ペンホバリング オン
管理	PC操作
ネットワーク	ペン/指タッチ初期化
ペン/指タッチ	インタラクティブ
インタラクティブ	描画機能を利用する オン
メモリー	ツールバー表示 常に表示
節電	描画エリア表示
初期・全体設定	画面クリア確認 オン
	ペンボタン動作 消しゴム
	時計表示 日付&時刻 ^
	日付 YYYY-MM-DD
	時刻 HH:MM
	プリント

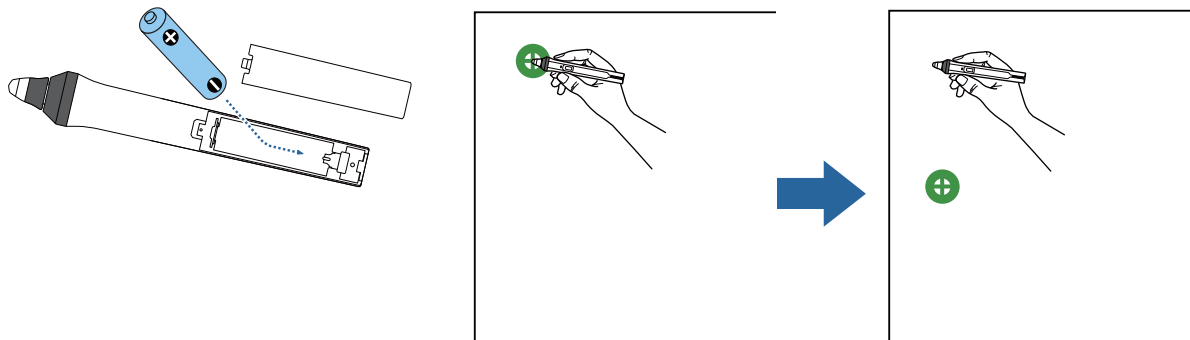
3 画面の内容を確認して、[はい] を選択する




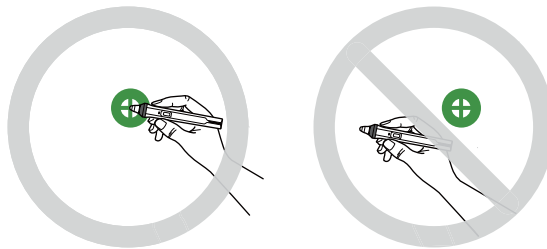
投写画面の左上に緑色のドットが表示されます。

4 ドットの中心をインタラクティブペンのペン先で押す

ドットが消えて次の位置に移動します。



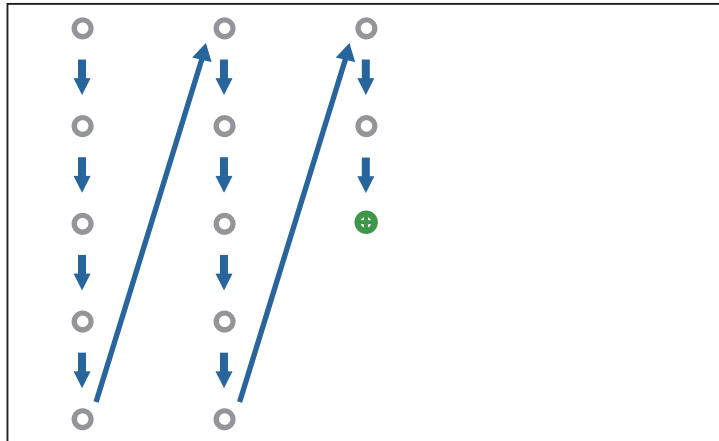
 必ずドットの中心を押してください。中心以外を押すと位置ずれの原因となります。



5

すべてのドットが消えるまで、手順4を繰り返す

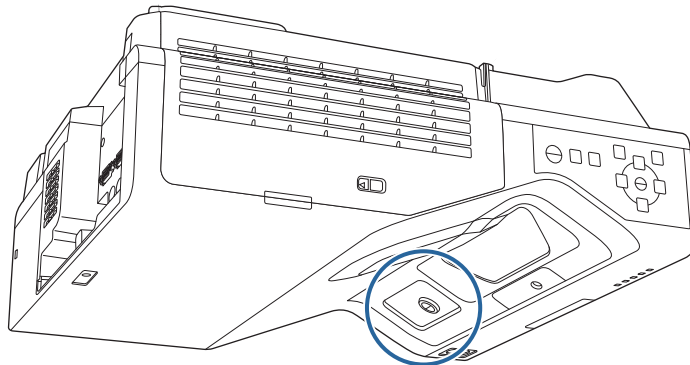
ドットはスクリーンの左上から右下に向かって、順番に表示されます。



すべてのドットが消えると、手動ペン位置合わせが完了します。



- インタラクティブペンとインタラクティブペン受光部（下図）との間に障害物がないことを確認してください。



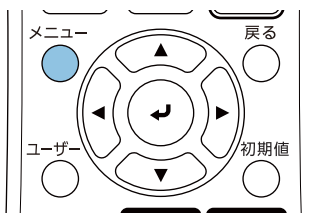
- 押す位置を間違えたときは、リモコンの【戻る】ボタンを押して1つ前のドットに戻ります。
- 中止するときは、【戻る】ボタンを2秒間押し続けます。

自動ペン位置合わせ

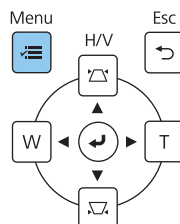
1

プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す

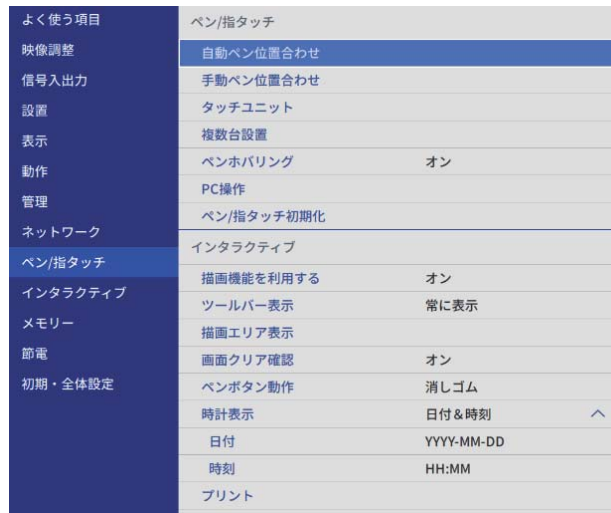
リモコンの場合



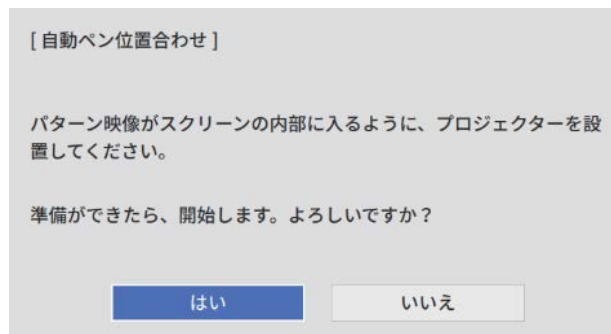
操作パネルの場合




2 [ペン／指タッチ] メニューで [自動ペン位置合わせ] を選択する











3 パターン映像が投写面に収まっていることを確認して、[はい] を選択する



自動的にペン位置合わせが始まります。

 自動ペン位置合わせが失敗したときは、画面の指示に従って周辺環境を確認してください。または、[手動ペン位置合わせ] を行ってください。

☐ タッチユニットに関するご注意

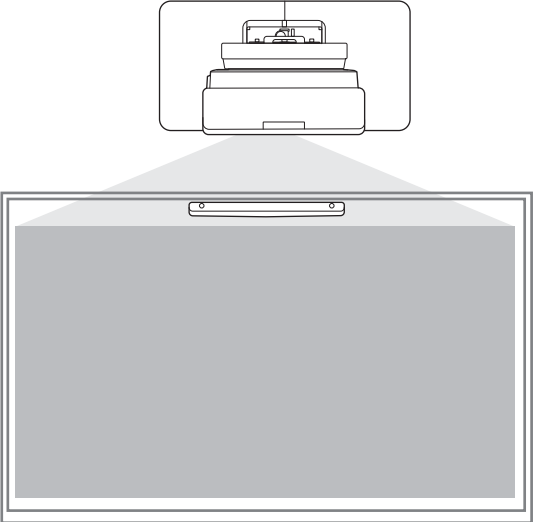
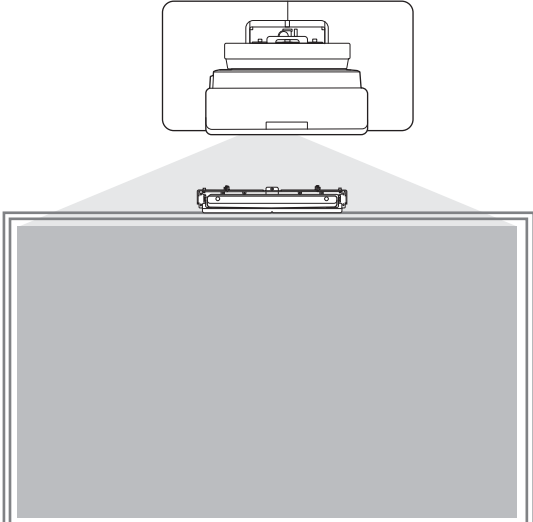
 警告	
<p>タッチユニットの分解・改造は絶対にしないでください。</p> <p>タッチユニットの内部には高出力のレーザー製品が組み込まれており、火災・感電・事故の原因となります。</p>	
<p>タッチユニットをEB-735Fi/EB-725Wi以外のプロジェクターや他の機器に接続しないでください。</p> <p>機器の故障や制限以上のレーザー光が放出される可能性があります。</p>	
<p>心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、タッチユニットに近づかないでください。また、タッチユニットを取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。</p> <p>マグネットの磁力が強力なため電磁妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。</p>	
 注意	
<p>磁気カードなどの磁気記憶媒体や、コンピューター、電子腕時計、携帯電話などの精密電子機器をタッチユニットに近づけないでください。</p> <p>マグネットの磁力が強力なためデータの破損や故障の原因となる可能性があります。</p>	
<p>タッチユニット背面のマグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。取り付ける際にマグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようにご注意ください。</p>	
<p>タッチユニットを廃棄する場合は分解しないでください。</p> <p>国や地域の法令や条例に従って廃棄してください。</p>	

電波障害自主規制について

この装置は、一般財団法人VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術機器です。

□ タッチユニットの設置場所

タッチユニットは取り付け先によって固定方法が異なります。

投写面に取り付ける場合：マグネットまたはネジで固定	投写面以外に取り付ける場合：タッチユニット取り付け金具を使って固定
	

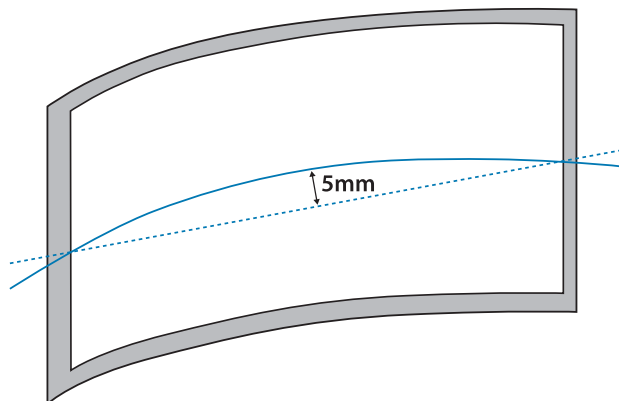


注意

タッチユニットを使用するときは、スクリーンの正面側に映像を投写してください。リアスクリーンに投写した映像では指タッチ操作できません。



タッチユニットを設置する前に、設置面にそりやゆがみがなく平らで、スクリーン表面の凹凸が5mm以下であることを確認してください。



タッチユニット取り付け金具に関するご注意

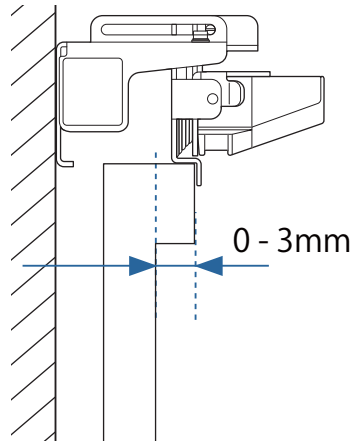


注意

スクリーンの周りに枠がある場合は、上枠の厚みが3mm以内であることを確認してください。



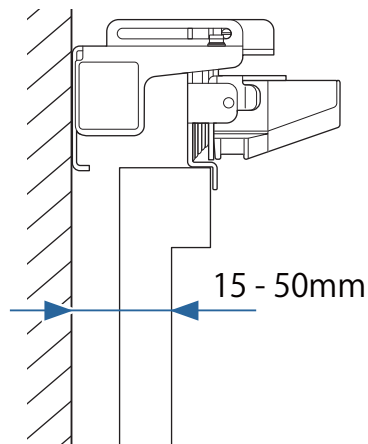
上枠の厚みが3mmを超えると、タッチユニットが正しく動作しません。



壁からスクリーン表面までの長さが50mm以内であることを確認してください。



50mmを超える場合は、タッチユニット取り付け金具を設置できません。

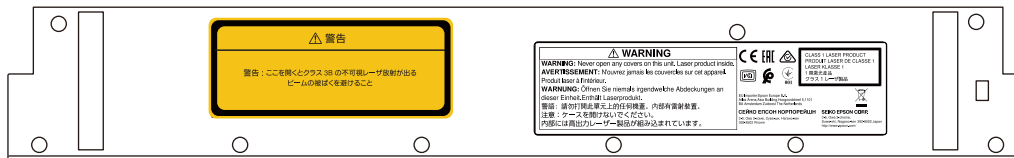


レーザーに関するご注意

添付のラベルについて

タッチユニットは、JIS C 6802:2018に適合したクラス1レーザー製品です。

タッチユニットには、クラス1レーザー製品であることと、警告を示すラベルが貼られています。

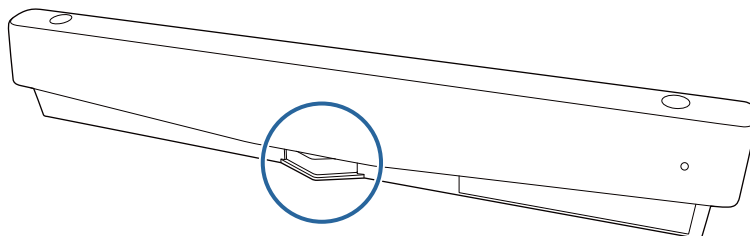


ラベルの内容は次のとおりです。

- クラス1レーザー製品
- 警告：ケースを開けないでください。内部には高出力レーザー製品が組み込まれています。
- 警告：
 - 注意：ここを開くとクラス3Bの不可視レーザー放射が出る
 - ビームの被ばくを避けること

レーザー照射口

レーザー光は、タッチユニットの背面にあるレーザー照射口から照射されます。

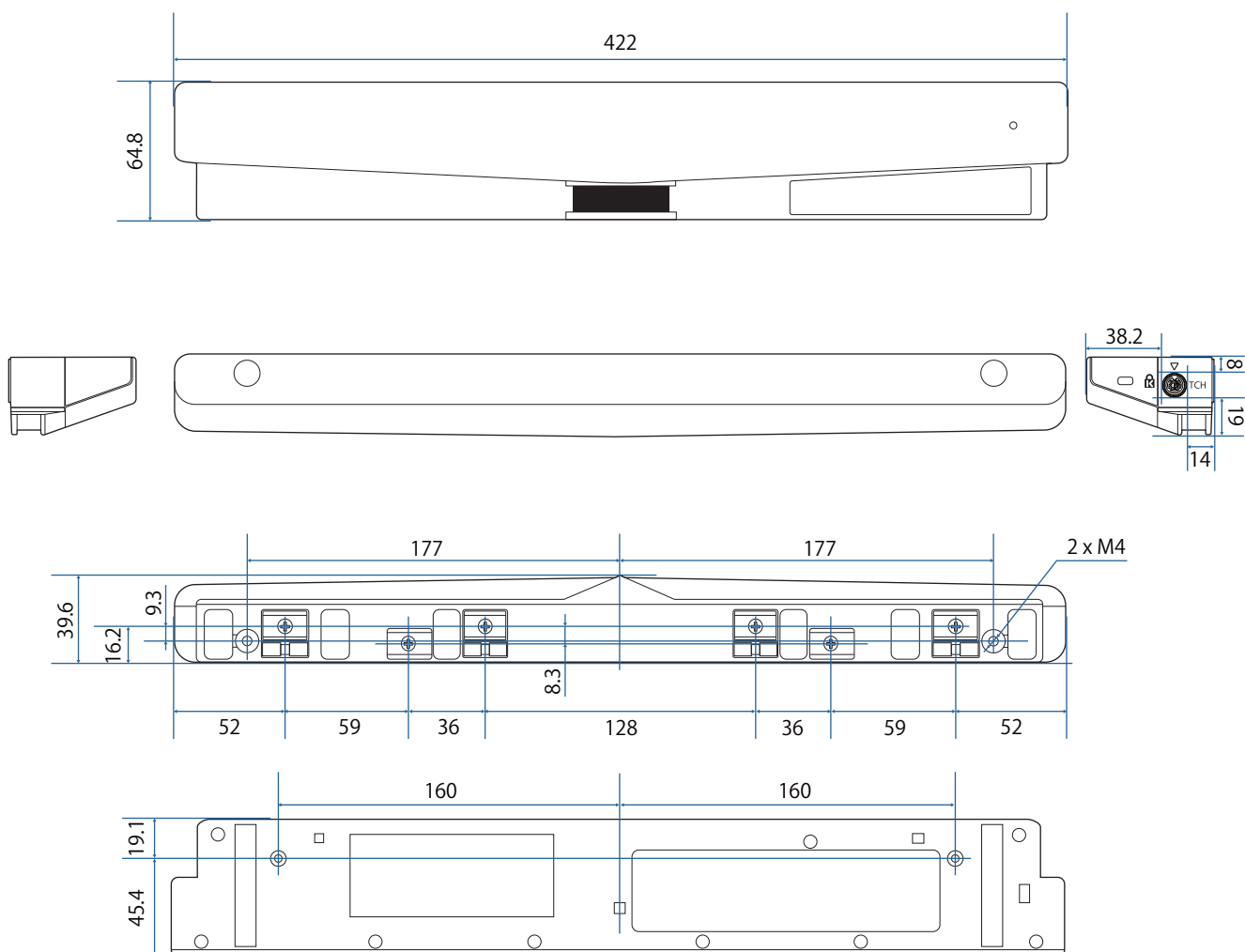


- 光源出力：最大 285W
- 波長：932 - 952nm

□ タッチユニット仕様

項目	仕様
タッチユニット質量	約0.6kg
動作温度範囲	0 - 40℃
電源（プロジェクター本体から供給）	5VDC 0.65 A

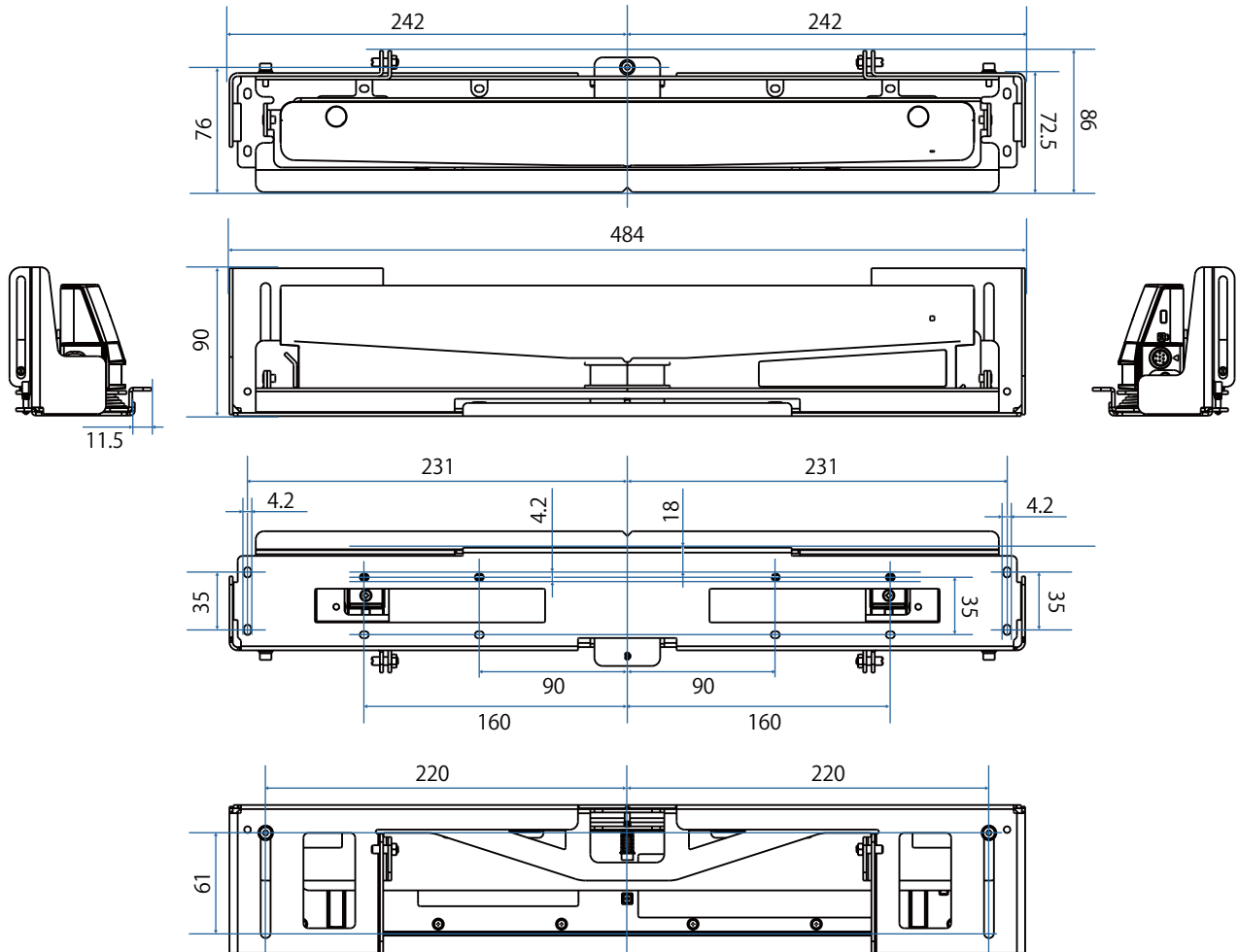
外形寸法



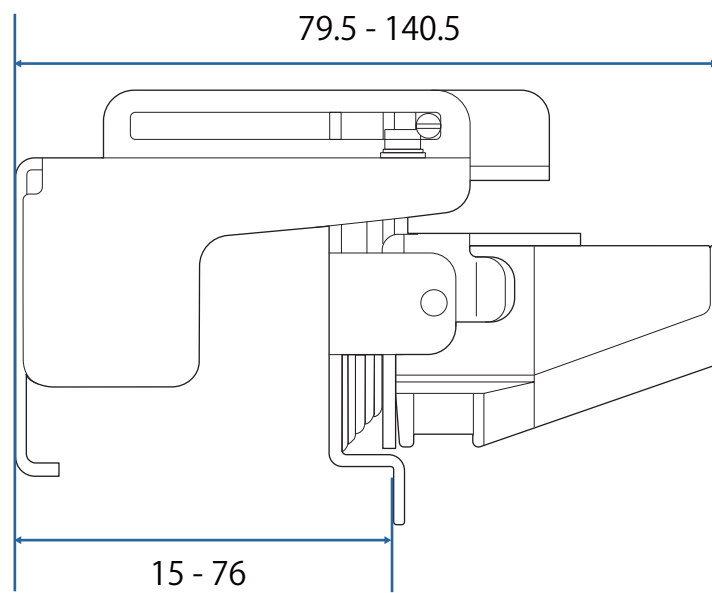
□ タッチユニット取り付け金具仕様

項目	仕様
タッチユニット取付金具質量	約1.8kg
最大荷重	約8.8kg

外形寸法

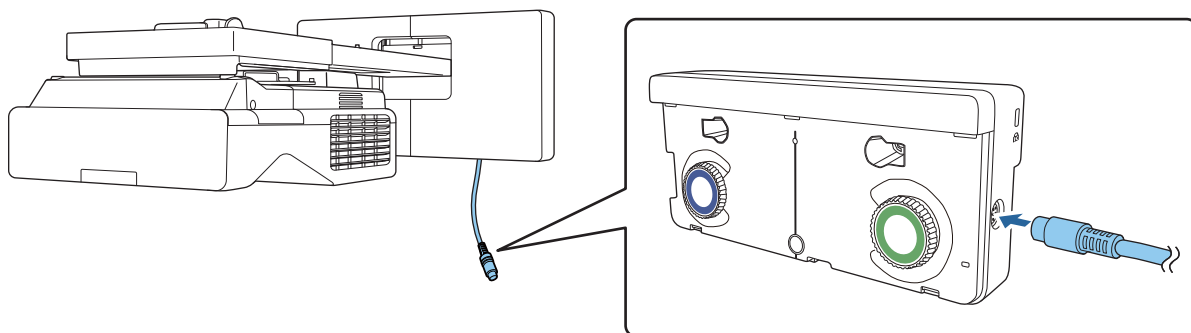


調整範囲



旧モデルのタッチユニットをお使いのときは

付け替える前の旧モデルのプロジェクターと一緒に使用していたタッチユニットは、接続し直して使用できます。



接続後は、以下の手順でセットアップしてください。

- 1 タッチユニットの電源を入れる (☞ p.102)
- 2 レーザーの角度を調整する (☞ p.103)
- 3 指タッチ位置合わせを行う (☞ p.117)



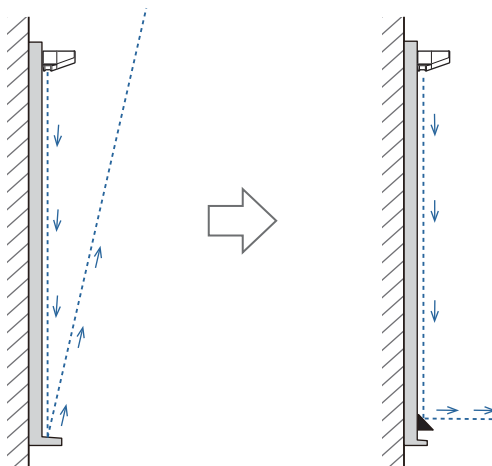
投写面に赤外線ディフレクターを貼りつけている場合は、剥がさずにそのままお使いください。

□ タッチユニット取り付け手順

赤外線ディフレクターを取り付ける

投写面の下部にフレームやトレイなどの障害物があるときは、赤外線ディフレクターを貼りつけてください。

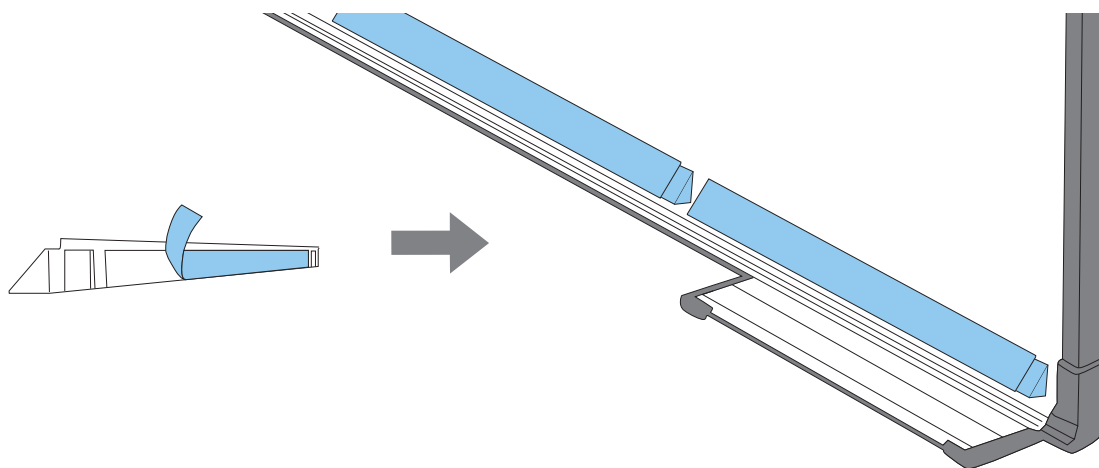
障害物があると下図のようにレーザーが反射して、指の位置が正しく検出されないことがあります。



- 既に赤外線ディフレクターを貼り付けてある場合は、剥がさずにそのままお使いください。
- 同じ壁面に複数台のタッチユニットを設置するときも、赤外線ディフレクターなどの仕切りを設置してレーザーの反射対策をしてください。詳しくは「複数台のタッチユニットを近くに設置するときは」 p.16をご確認ください。

1

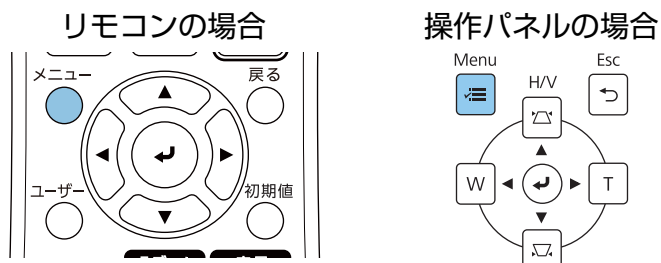
障害物のある位置に、同梱の赤外線ディフレクターを貼りつける



タッチユニットを取り付ける

■ 取り付け金具を使わずに投写面に取り付ける場合

1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す



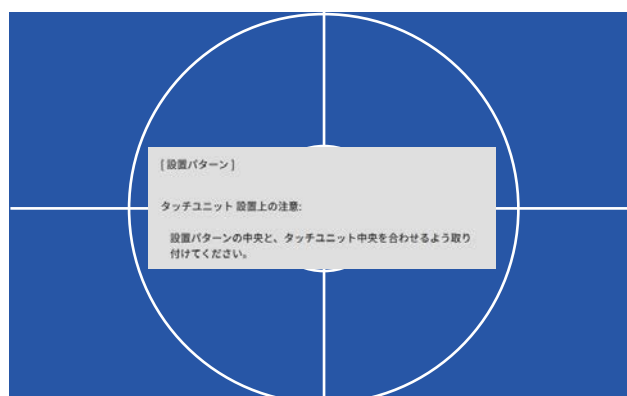
2 【設置】メニューで【タッチユニット】を選択する

よく使う項目	固定設置	オフ
映像調整	テストパターン	
信号入出力	セッティングプレート調整が...	
設置	縦置き	しない
表示	設置モード	フロント・上下反転
動作	自動画面調整	
管理	幾何学歪み補正	ポイント補正
ネットワーク	デジタルズーム	
ペン/指タッチ	ELPCB02を接続する	オフ
インタラクティブ	タッチユニット	
メモリー	リモコン受光部	オフ
節電	プロジェクターID	オフ
初期・全体設定	スクリーンタイプ	16:9
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	
	パターン表示	
	パターン種類	
	無信号時画面	書

3 【設置パターン】を選択する

[タッチユニット]	戻る
設置パターン	
電源	オフ
タッチ補正範囲	狭い

投写画面に設置パターンが表示されます。

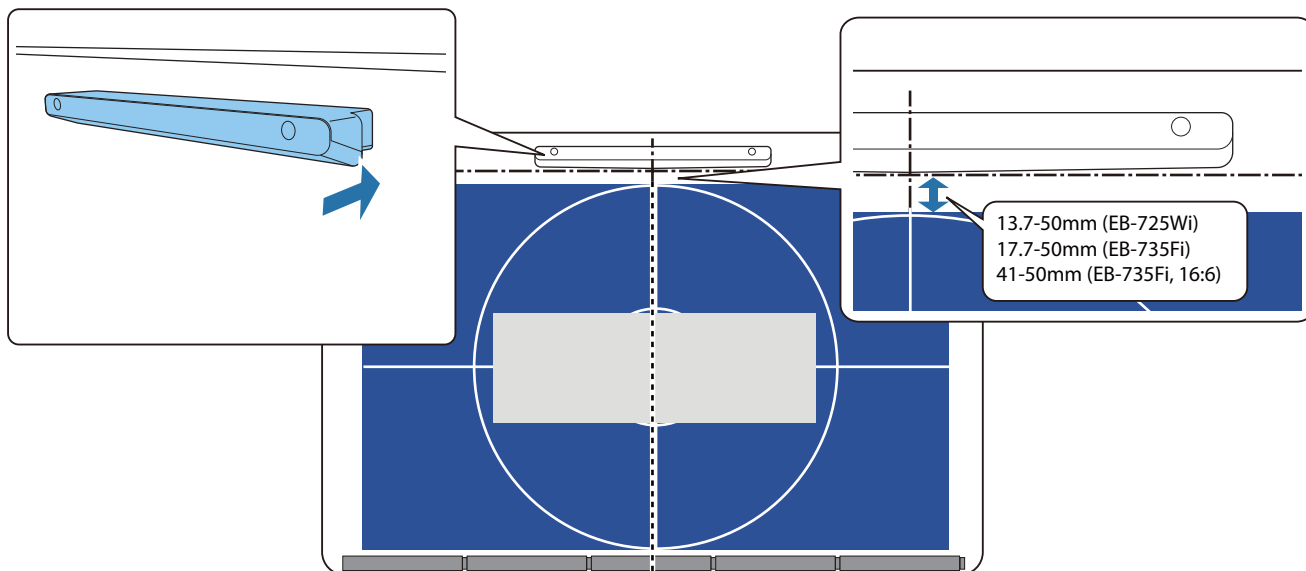


4 マグネットが使える面に取り付ける場合は、取り付け位置を確認してタッチユニットをマグネットで固定する

マグネットが使えない面に取り付ける場合は、次の手順へ進んでください。

⚠ 注意

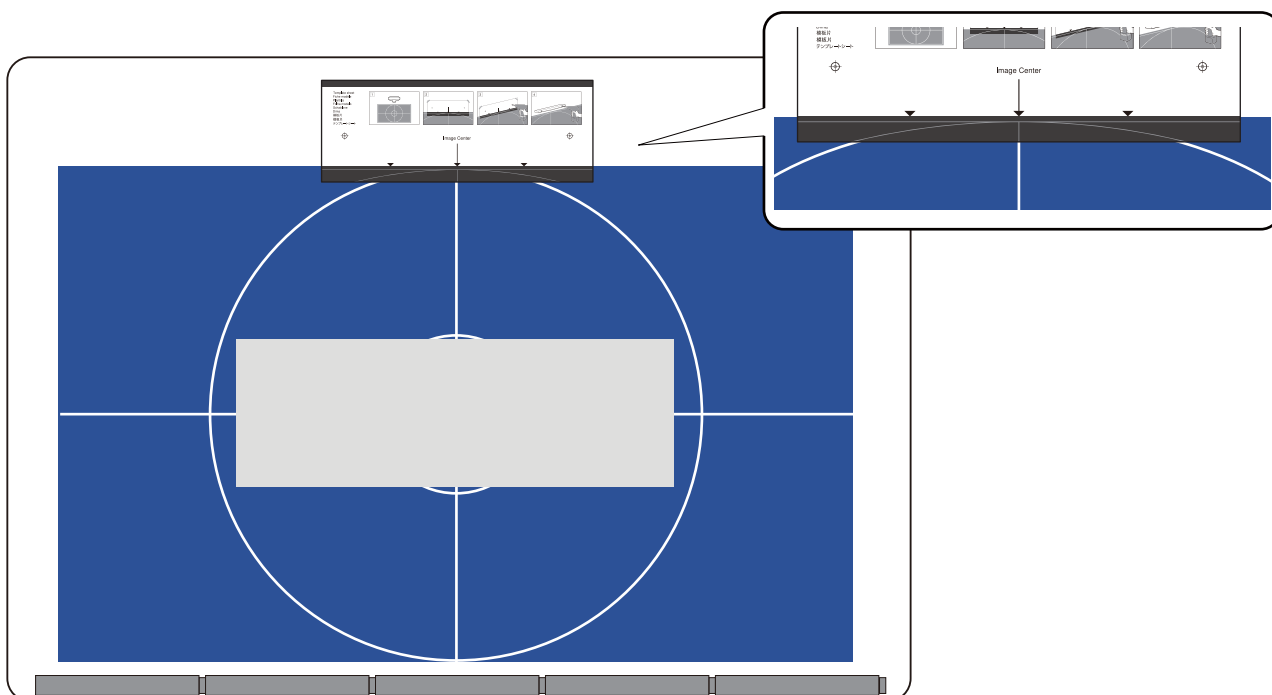
マグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。マグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようにご注意ください。



固定できたら、「タッチユニットの電源を入れる」 [p.102](#)へ進んでください。

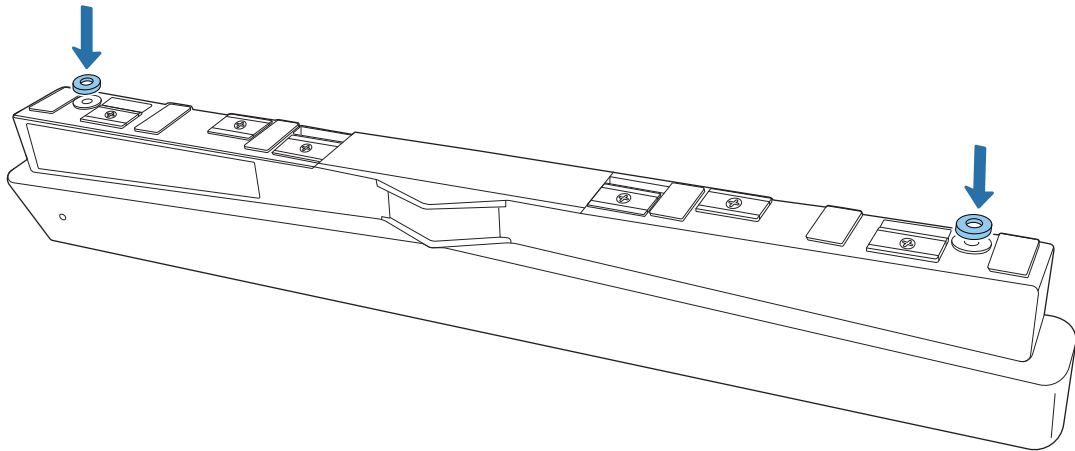
5 マグネットが使えない面へ取り付ける場合は、タッチユニットの取り付け位置にテンプレートシートを貼る

下図のように、テンプレートシートの下側を設置パターンに重ねて貼りつけます。

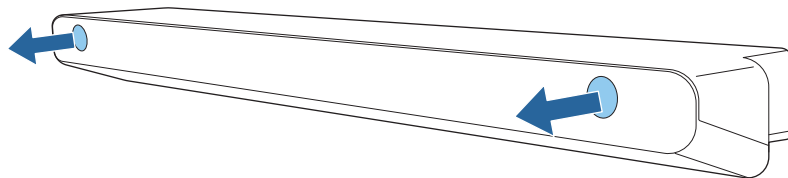


6 設置面に穴を開け、テンプレートシートを取り外す

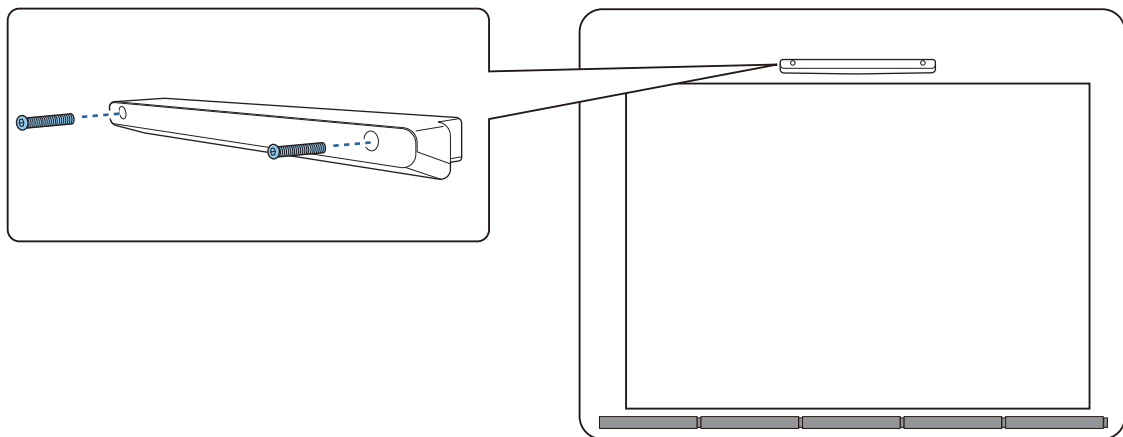
7 タッチユニット背面のネジ穴に、同梱のスペーサー（2個）を貼りつける



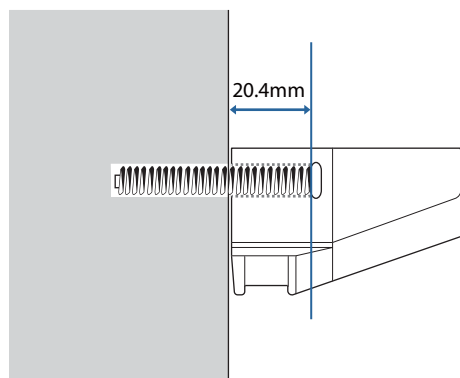
8 タッチユニット前面のゴムキャップ（2個）を取り外す



9 市販のM4ネジ（2本）でタッチユニットを固定する

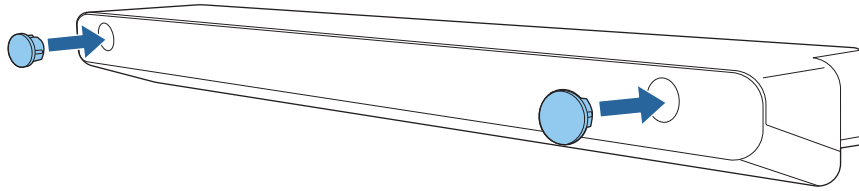


タッチユニット内のネジ穴深さは以下のとおりです。



10

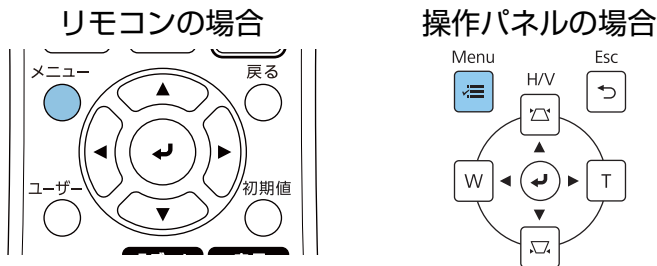
タッチユニット前面のネジ穴に、手順8で外したゴムキャップを取り付ける



■ 取り付け金具を使って投写面以外に取り付ける場合

1

プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す



2

【設置】メニューで【タッチユニット】を選択する

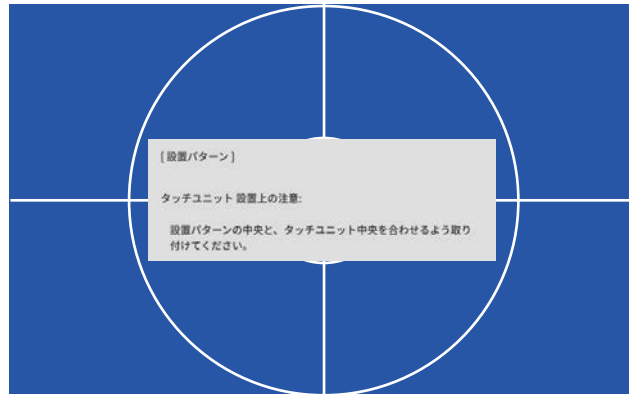
よく使う項目	固定設置	オフ
映像調整	テストパターン	
信号入出力	セッティングプレート調整ガ...	
設置	縦置き	しない
表示	設置モード	フロント・上下反転
動作	自動画面調整	
管理	幾何学歪み補正	ポイント補正
ネットワーク	デジタルズーム	▼
ペン/指タッチ	ELPCB02を接続する	オフ
インタラクティブ	タッチユニット	
メモリー	リモコン受光部	オフ
節電	プロジェクターID	オフ
初期・全体設定	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	
	パターン表示	
	パターン種類	
	無信号時画面	音

3

【設置パターン】を選択する



投写画面に設置パターンが表示されます。

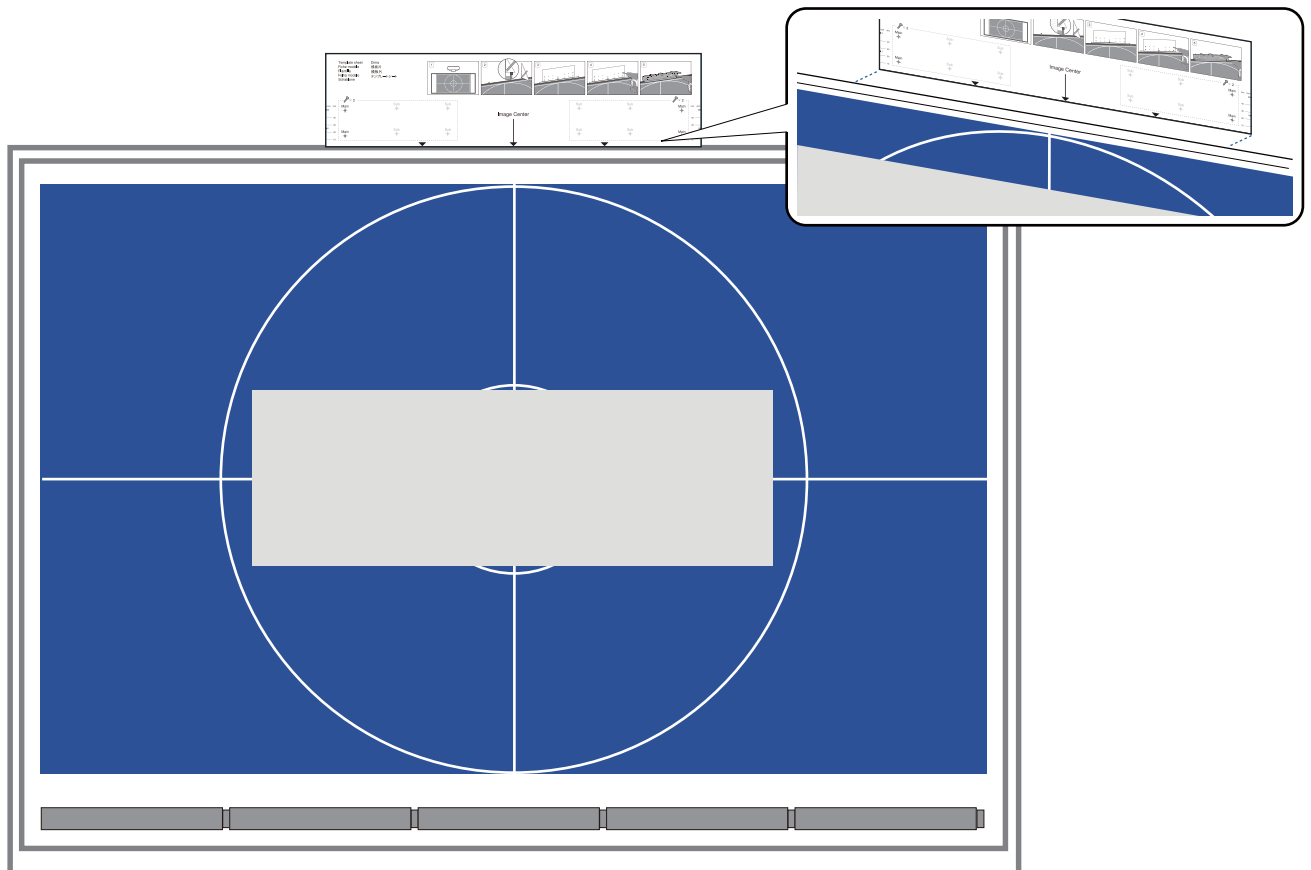


4

タッチユニット取り付け金具のテンプレートシートを貼る

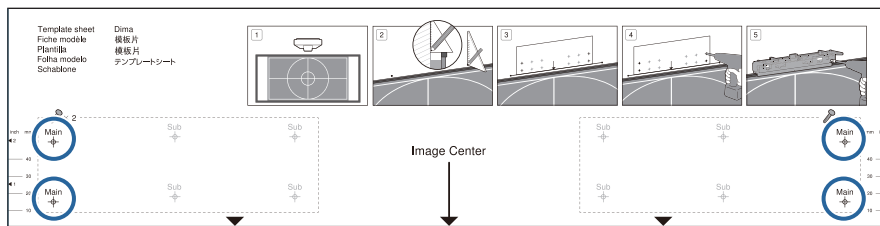
投写面の上端とテンプレートシートの下端を合わせてください。

取付金具の設置面と投写面の間ですき間がある場合は、事前に貼りつけ位置に目印の線などをひいておくことをお勧めします。

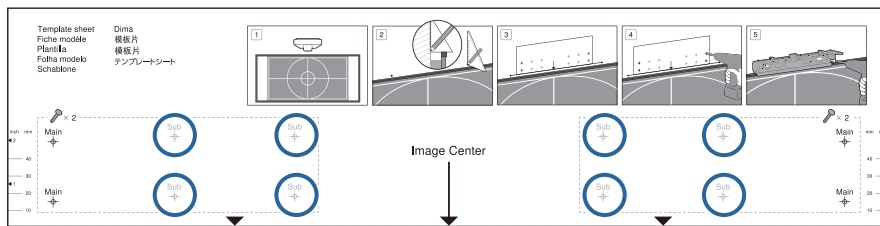


5 設置面に穴を開け、テンプレートシートを取り外す

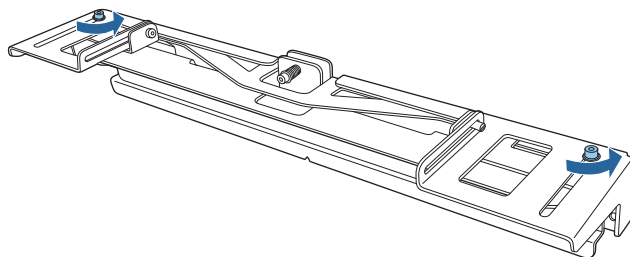
テンプレートシートにMainと記載されている箇所（4箇所）に穴を開けます。



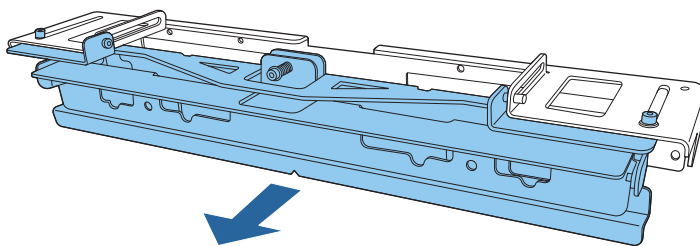
設置面の状況に応じて、Subと記載されている箇所でも固定できます。
バランスのとれる4箇所（左右2箇所ずつ）に穴を開けてください。



6 取り付け金具の上部にあるネジ（2本）を緩める

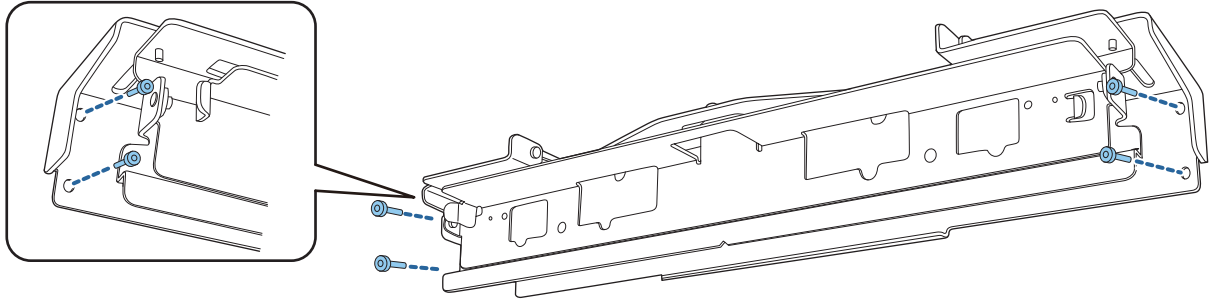


7 金具前面のパーツを前側いっぱいにはずす

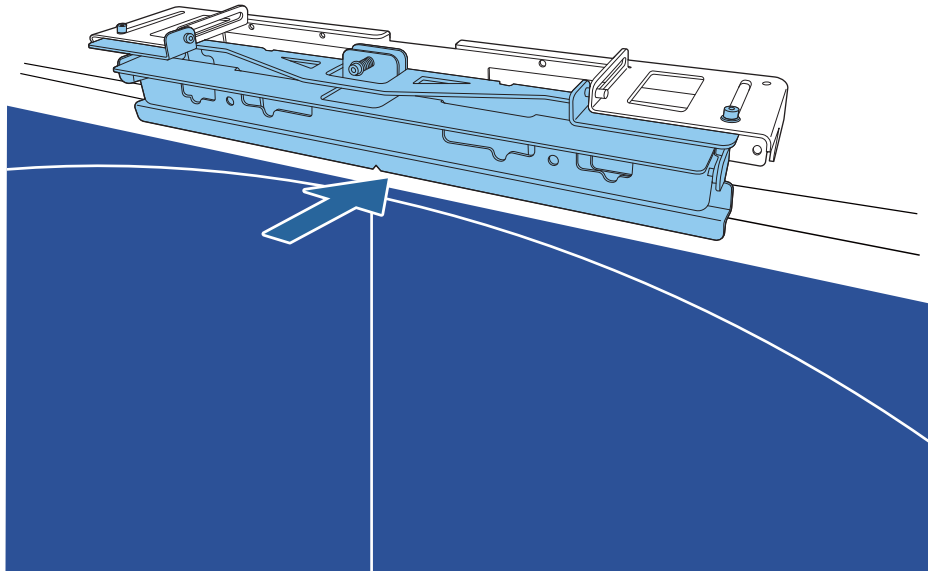


取り付け時にスライド部がずれないように、手順6で緩めた上部ネジ（2本）を軽く締め直してください。

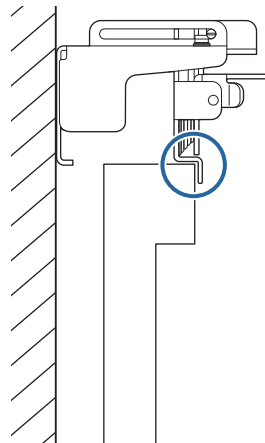
- 8 市販の直径3.8mm、全長45mm以上の木ネジ（4本）またはM4のアンカーボルト（4本）で取り付け金具を壁に固定する



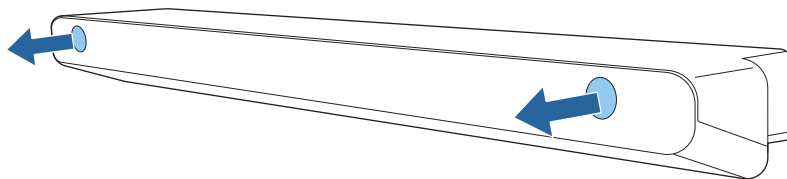
- 9 投写面に合うように取り付け金具をスライドさせる



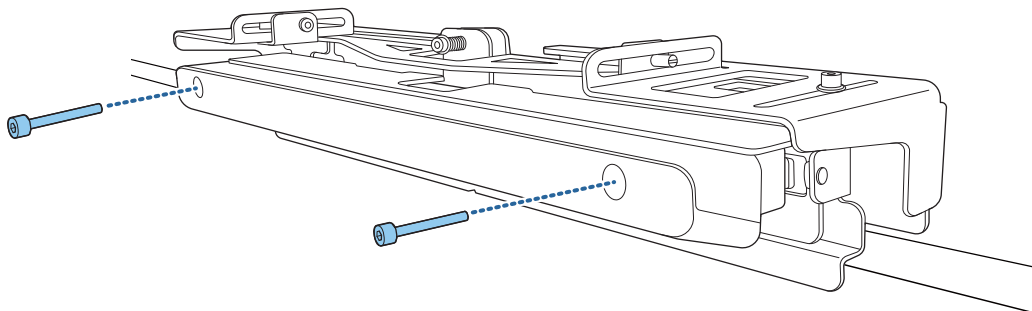
取付金具の下端が投写面に接するまでスライドさせます。



- 10 タッチユニット前面のゴムキャップ (2個) を取り外す



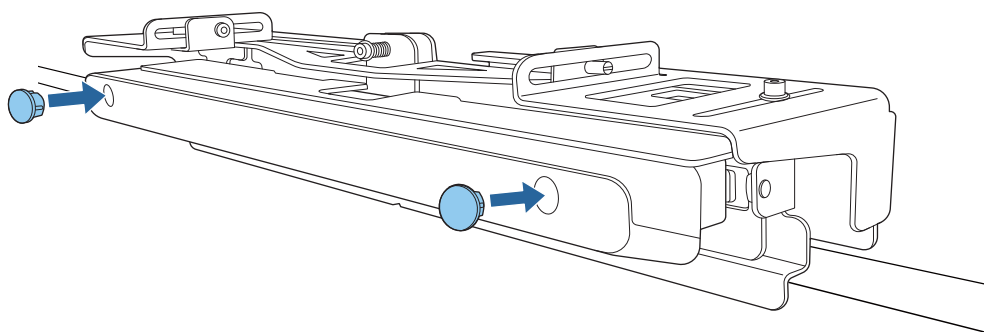
- 11 同梱のM4 x 25mmボルト (2本) で、タッチユニットを取り付け金具に固定する



! 注意

タッチユニットの裏面には強力なマグネットが付いています。タッチユニットと取り付け金具の間に手を挟まないようにご注意ください。

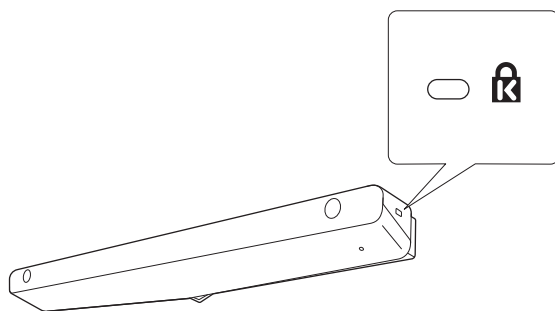
- 12 タッチユニット前面のネジ穴に、手順10で外したゴムキャップを取り付ける



セキュリティーケーブルを取り付ける

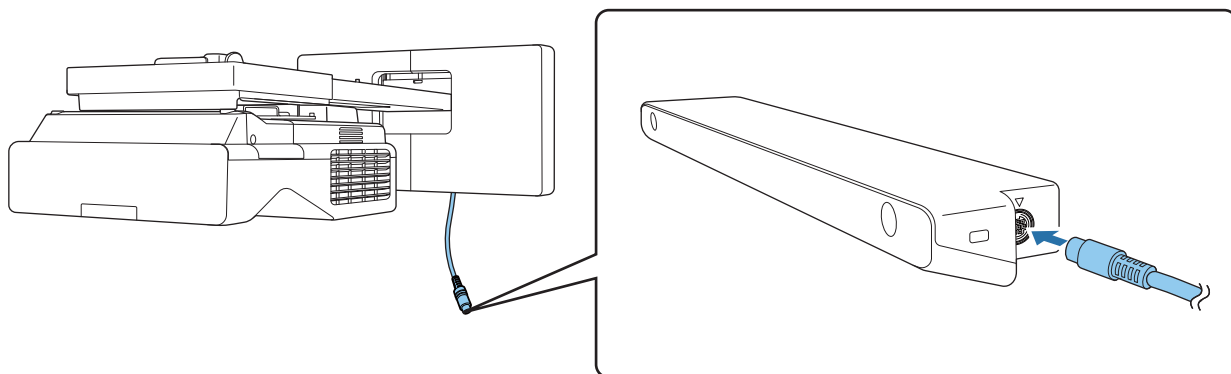
タッチユニットにはKensington社製のマイクロサーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティーロットが搭載されています。マイクロサーバーセキュリティーシステムについての詳細は、以下をご覧ください。


<http://www.kensington.com/>



タッチユニットの電源を入れる

- 1 プロジェクターに接続したタッチユニット接続ケーブルを、タッチユニットのTCH端子に接続する

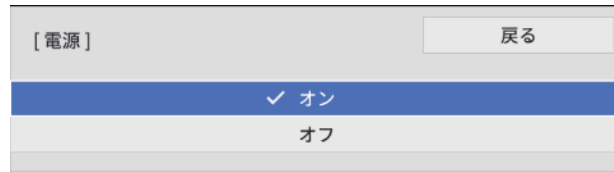


 タッチユニット接続ケーブルは奥までしっかりと差し込んでください。ケーブルが奥まで差さっていないと、レーザーの角度調整時に旧モデルのタッチユニット向けのメニューが表示されることがあります。

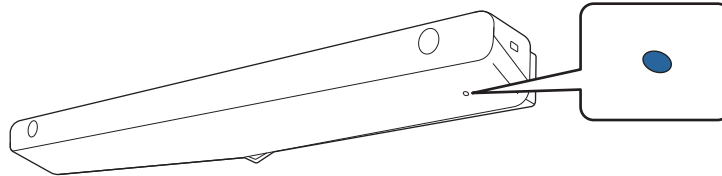
- 2 [設置] メニューで [タッチユニット] を選択する

よく使う項目	固定設置	オフ
映像調整	テストパターン	
信号入出力	セッティングプレート調整が...	
設置	縦置き	しない
表示	設置モード	フロント・上下反転
動作	自動画面調整	
管理	幾何学歪み補正	ポイント補正
ネットワーク	デジタルズーム	▼
ペン/指タッチ	ELPCB02を接続する	オフ
インタラクティブ	タッチユニット	
メモリー	リモコン受光部	オフ
節電	プロジェクターID	オフ
初期・全体設定	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	
	パターン表示	
	パターン種類	
	無信号時画面	青

3 [電源] を [オン] にする



タッチユニットの電源がオンになり、インジケータが青色に点灯します。

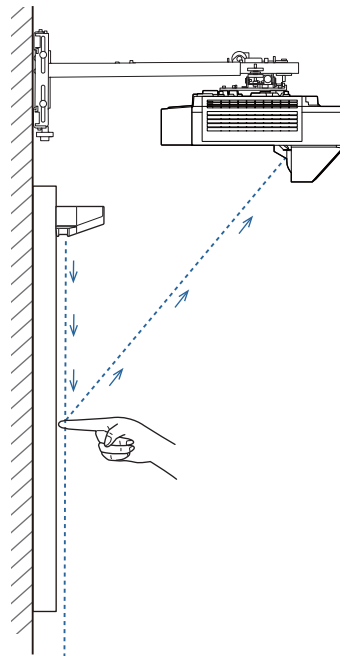


[電源] を [オン] に設定すると、次回からプロジェクターの電源をオンにしたときにタッチユニットの電源も自動的にオンになります。

レーザーの角度を調整する (タッチユニット自動調整)

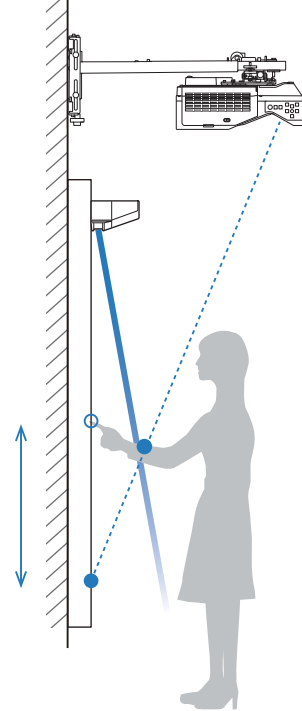
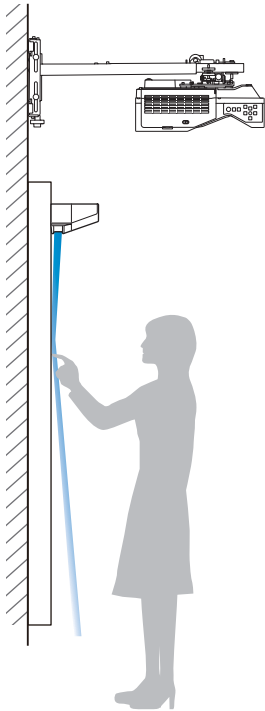
タッチユニットから赤外線レーザーがカーテン状に照射されます。投写面に触れた指に赤外線レーザーが反射し、反射した座標をプロジェクターの赤外線カメラが認識することで指の位置を検出します。

プロジェクターが指の位置を正しく検出できるように、タッチユニットから照射されるレーザーの角度を調整します。



レーザーがスクリーンに対して平行に照射されていないと、指タッチ操作に反応しなかったり、指の位置がずれたりします。

レーザーがスクリーンに対して平行でない場合



- 投写面に指でタッチしても、指の位置が検出されることがあります。
- 投写面に指が触れていない場合でも指が触れていると検出され、意図しない指タッチ操作が行われることがあります。

- プロジェクターで検出される指の位置と、実際に投写面に触れている指の位置がずれ、意図した通りに指タッチ操作ができないことがあります。
- プロジェクターが指を検出したままの状態になり、クリックの動作を認識しないことがあります。



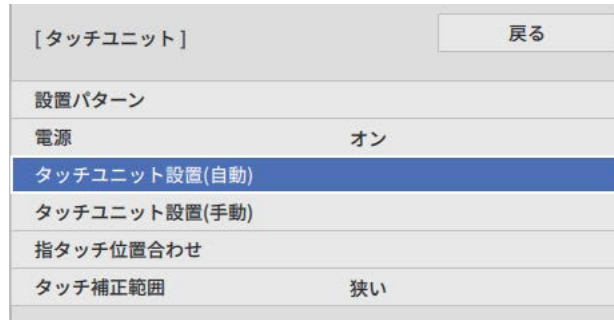
レーザーの角度を調整する前に、インタラクティブペンの位置合わせが終わっていることを確認してください。

1

[設置] メニューで [タッチユニット] を選択する

よく使う項目	固定設置	オフ
映像調整	テストパターン	
信号入出力	セッティングプレート調整が...	
設置	縦置き	しない
表示	設置モード	フロント・上下反転
動作	自動画面調整	
管理	幾何学歪み補正	ポイント補正
ネットワーク	デジタルズーム	▼
ペン/指タッチ	ELPCB02を接続する	オフ
インタラクティブ	タッチユニット	
メモリー	リモコン受光部	オフ
節電	プロジェクターID	オフ
初期・全体設定	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	
	パターン表示	
	パターン種類	
	無信号時画面	音

2 [タッチユニット設置 (自動)] を選択する

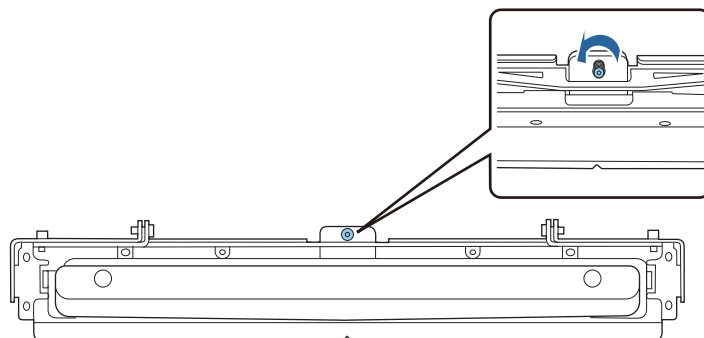


3 取り付け金具の有無を選択する

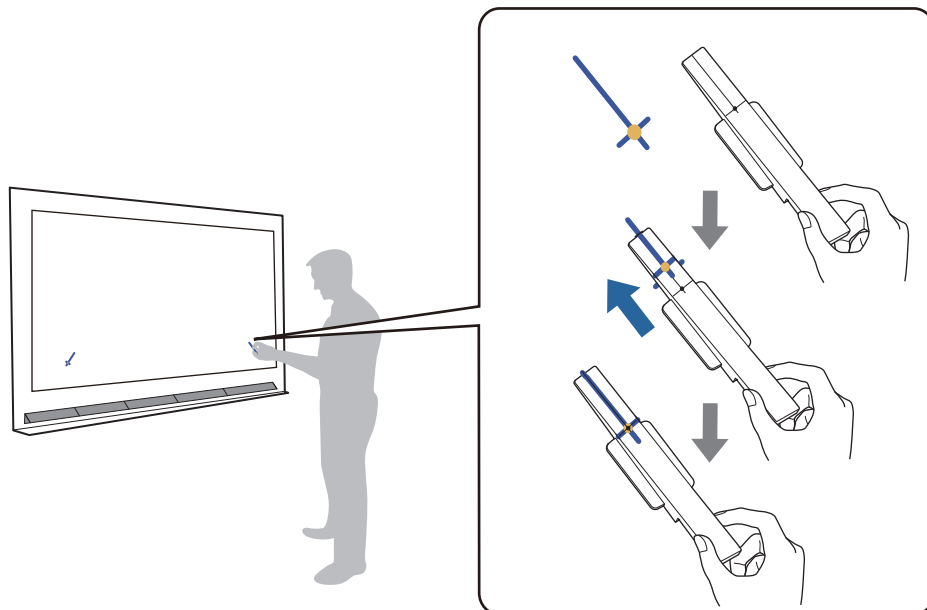


- 旧モデルのタッチユニットをお使いの場合は、以降の手順が異なります。画面の指示に従って操作してください。操作の詳細は、旧モデルのプロジェクト向けの『設置工事説明書』をご覧ください。
- ELPFT01を接続しているのに旧モデルのタッチユニット向けの画面が表示される場合は、タッチユニット接続ケーブルの接続を確認してください。

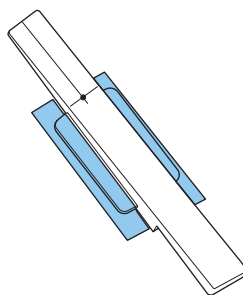
4 タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、タッチユニット取り付け金具上部の調整ネジを反時計回りいっぱいに戻す




5 投写画面のマーカースettings位置（2箇所）に、同梱のマーカースettingsを重ねて固定する




- マグネットが使えるスクリーン：マーカースettingsの底面をスクリーンに付けて固定します。
- マグネットが使えないスクリーン：同梱のテープで下図のように固定します。



 角度調整中は、マーカースettings以外のものを投写画面上に近付けしないでください。投写画面上にマーカースettings以外のものがあると、角度調整がうまくできないことがあります。


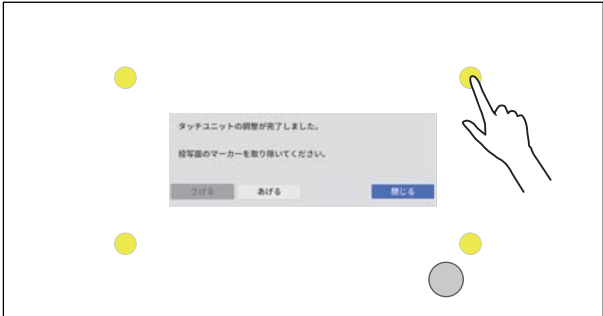
6 【決定】 ボタンを押して、タッチユニット自動調整を実行する

 投写面によっては、自動調整に数分かかる場合があります。

7 [タッチユニットの調整が完了しました] とメッセージが表示されたら、投写面からマーカースettingsを取り外す

自動調整が失敗した旨のメッセージが表示されたときは、「自動調整に失敗したときは」 [p.108](#) をご確認ください。

- 8 画面に表示された (●) を指で押して、同じ位置に (●) が表示されるか確認する
4つすべての (●) を押して確認してください。

画面	状態
	<p>指で触れている場所と、(●) が表示される場所が同じであれば、正しく調整されています。</p>
	<p>指で触れている場所と異なる場所に (●) が表示される場合は、操作パネルまたはリモコンを使って [あげる] を1回選択します。その後、もう一度 (●) を指で押して確認します。</p> <p>正しい位置に (●) が表示されるまで繰り返してください。</p>

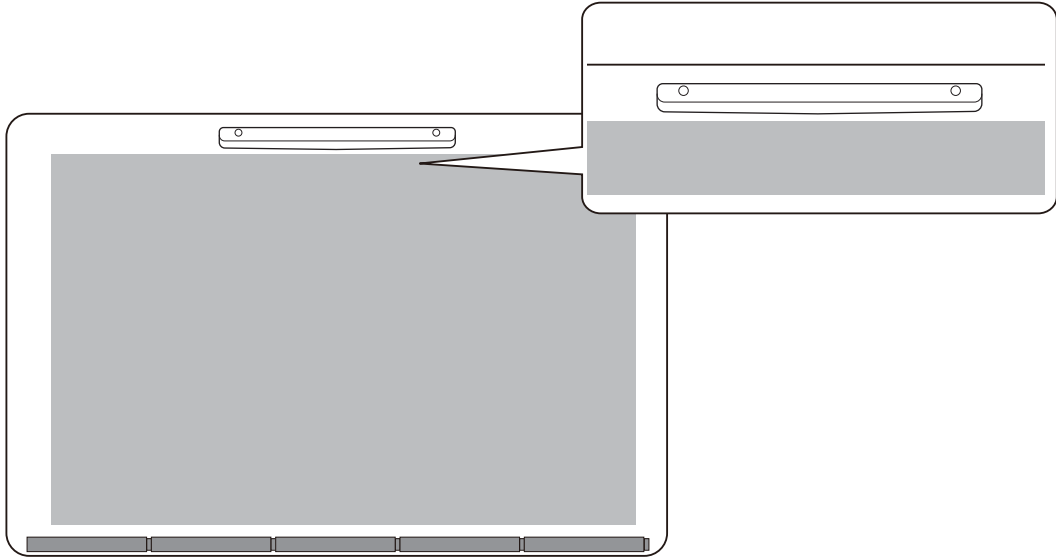
4箇所の (●) に触れてそれぞれ正しい位置に (●) が表示されるようになったら、調整は完了です。

「指タッチ操作の位置合わせ」 [p.117](#)へ進んでください。

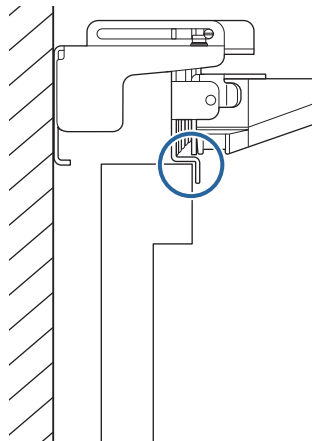
■ 自動調整に失敗したときは

1 タッチユニットの取り付け位置が正しいことを確認する

- タッチユニットと投写映像が平行になっていることを確認してください。



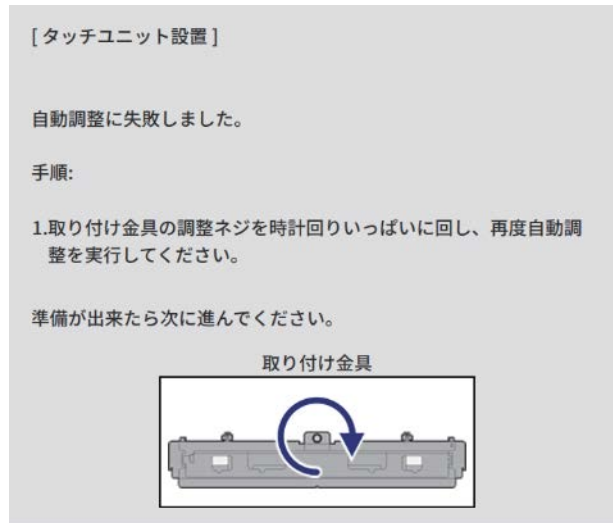
- タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、金具の下端が投写面のフチに隙間なく接していることを確認してください。



2

表示されたメッセージを確認して、必要な対応を行う

- 以下の画面が表示されたときは、レーザーの角度を調整してから、再度自動調整を実行します。詳細は「レーザーの角度を再調整する」 [p.109](#)をご確認ください。



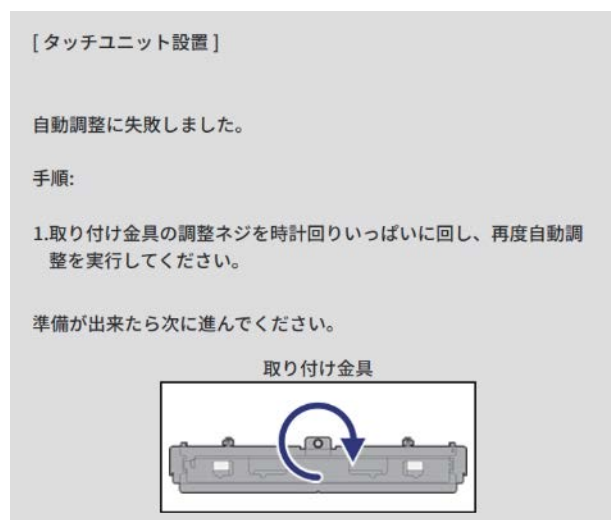
- 上記以外の画面が表示されたときは、画面に表示されている内容をすべて確認してください。すべて確認できたら、再度 [設置] メニューの [タッチユニット設置 (自動)] または [タッチユニット設置 (手動)] を実行してください。手動調整の詳細は、「レーザーの角度を手動で調整する」 [p.111](#)をご確認ください。



すべて確認しても問題が解決しない場合は、タッチユニット本体の故障の可能性があります。お買い上げの販売店へお問い合わせください。

レーザーの角度を再調整する

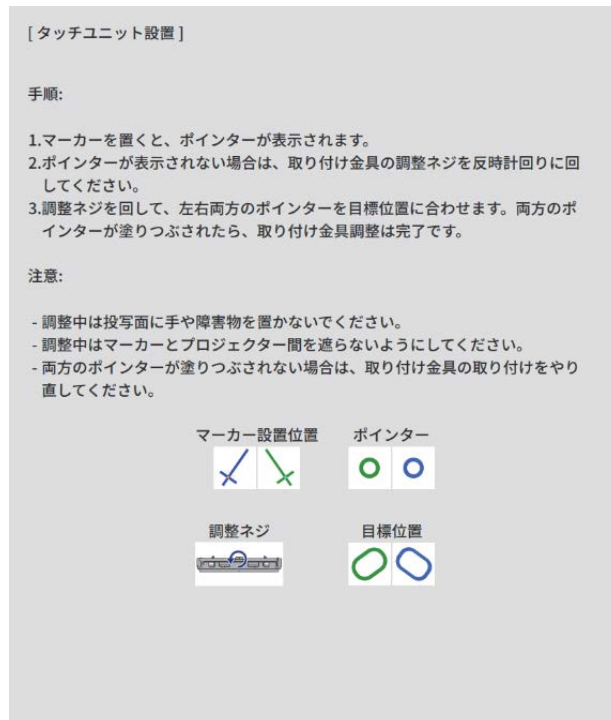
以下の画面が表示されたときの再調整方法を説明します。



1

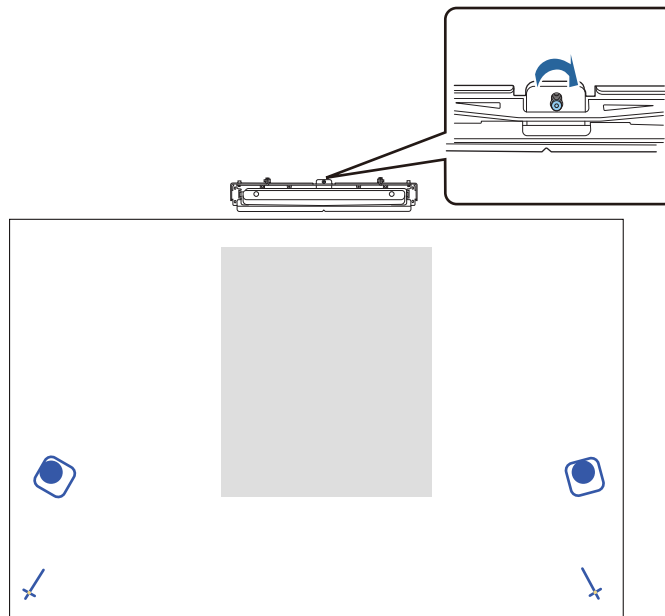
決定ボタンを押す

以下の調整画面が表示されます。



2

調整ネジを時計回りに回して、左右のポインターを塗りつぶし状態にする



3

【決定】 ボタンを押して、タッチユニット自動調整を実行する

4 調整が完了して以下の画面が表示されたら、投写面からマーカースを取り外す

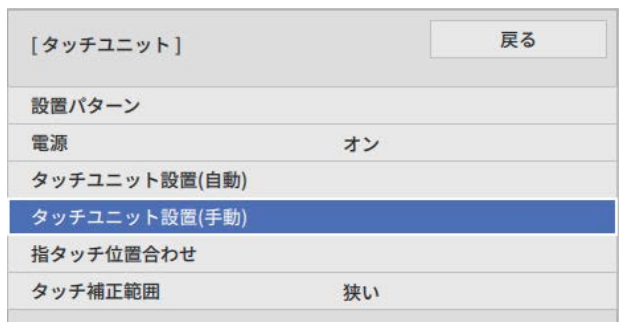


自動調整が失敗した旨のメッセージが表示されたときは、「自動調整に失敗したときは」 [p.108](#)をご確認ください。

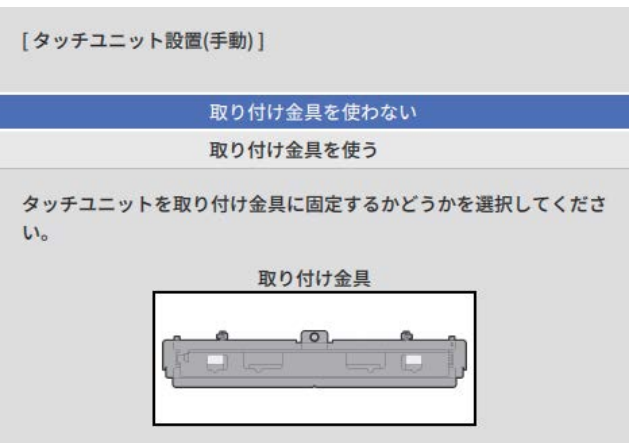
レーザーの角度を手動で調整する

[タッチユニット設置 (自動)] が失敗するときは、手動で調整します。

1 [設置] メニューで [タッチユニット] - [タッチユニット設置 (手動)] を選択する

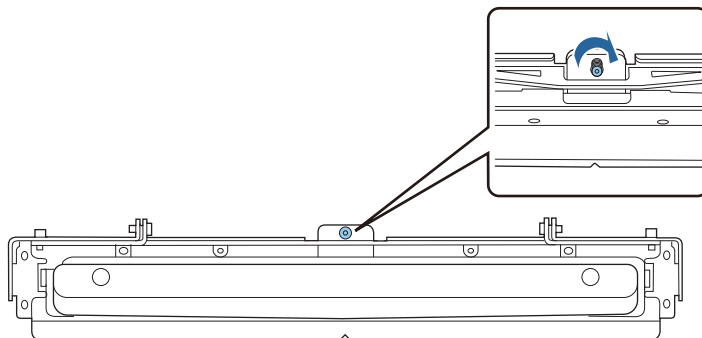


2 取り付け金具の有無を選択する



[取り付け金具を使わない] を選択した場合は、手順6へ進んでください。

- 3 タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、タッチユニット取り付け金具上部の調整ネジを時計回りいっぱい回す



- 4 タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、投写画面のマーカー設置位置（2箇所）に、同梱のマーカーを重ねて固定する



マーカーを固定すると、投写画面の左右にポインターが表示されます。

ポインターが表示されていない場合は、表示されるまでタッチユニット取り付け金具上部の調整ネジを回します。

5 タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、タッチユニット取り付け金具上部の調整ネジを回してポインターを動かして、目標位置に入れる

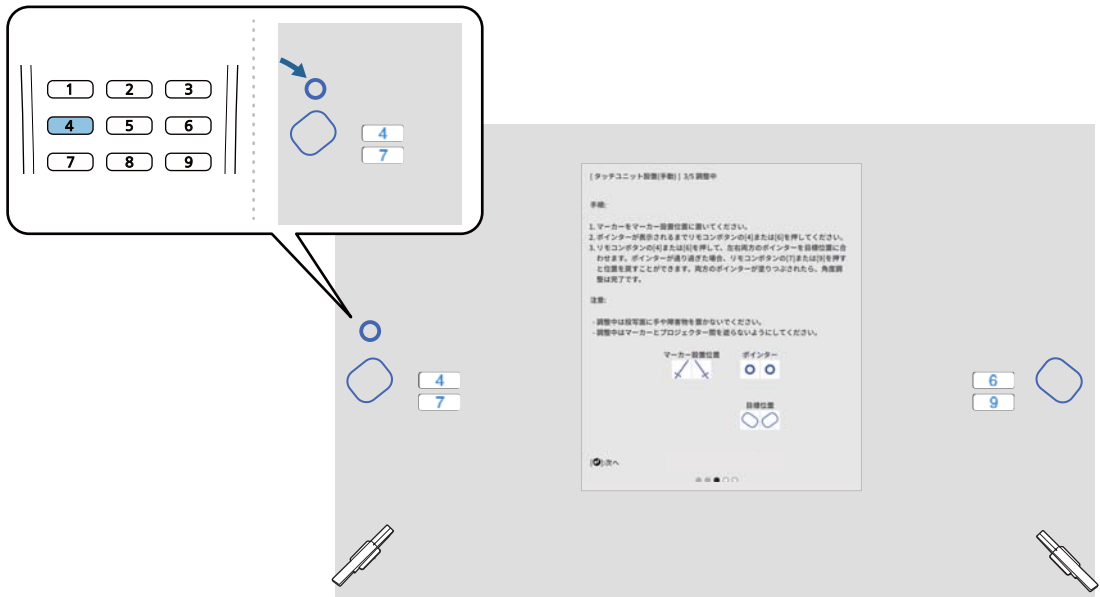


目標位置に入ると、ポインターは塗りつぶし状態（●）になります。
 左右のポインターがそれぞれ塗りつぶし状態になったら、リモコンの【決定】ボタンを押します。

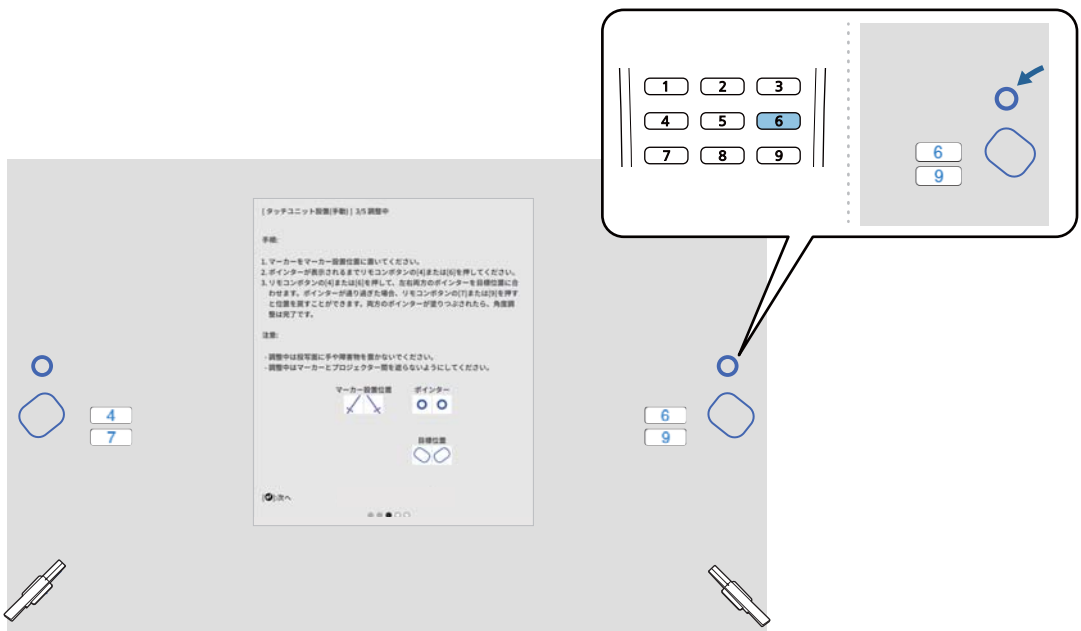
6 投写画面のマーカ―設置位置（2箇所）に、同梱のマーカ―を重ねて固定する




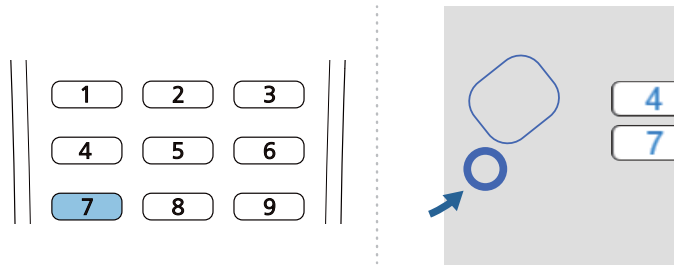
7 投写画面の左側にポインターが表示されるまで、リモコンの【4】ボタンを押す



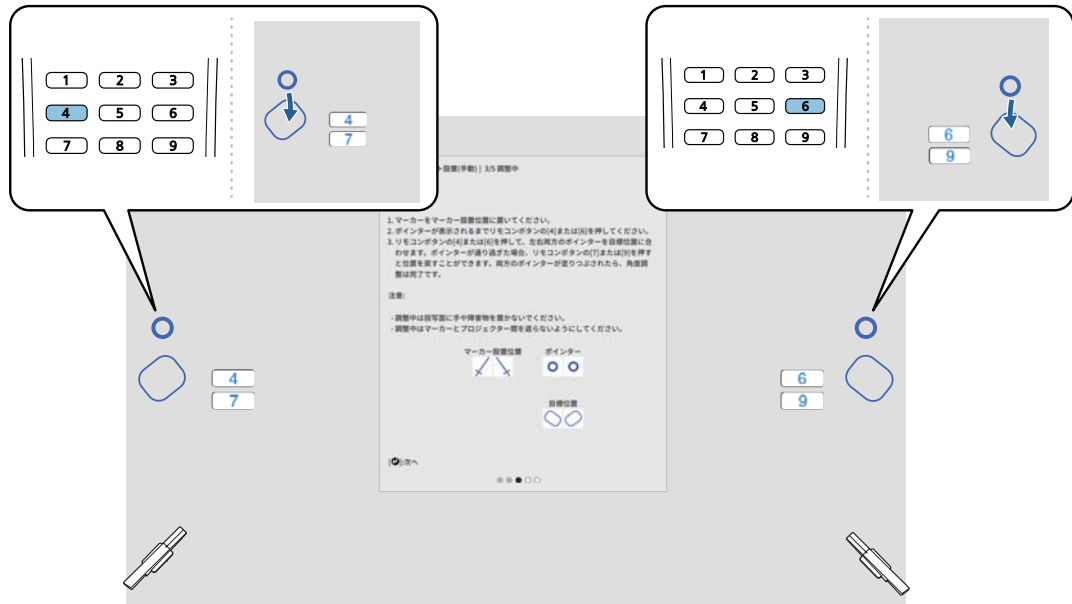
8 投写画面の右側にポインターが表示されるまで、リモコンの【6】ボタンを押す



 右側のポインターを動かしている間に左側のポインターが画面の外に出てしまったときは、もう一度表示されるまでリモコンの【7】ボタンを押してください。



9 左右それぞれのポインターをリモコンの【4】または【6】ボタンで動かして、目標位置に入れる

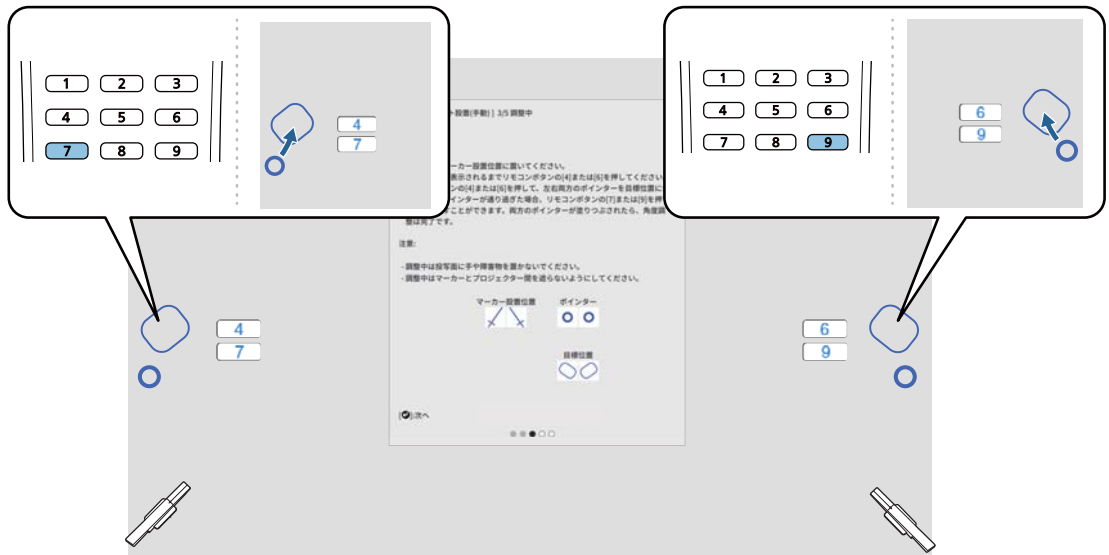


目標位置に入ると、ポインターは塗りつぶし状態（●）になります。

左右のポインターがそれぞれ塗りつぶし状態になったら、リモコンの【決定】ボタンを押します。



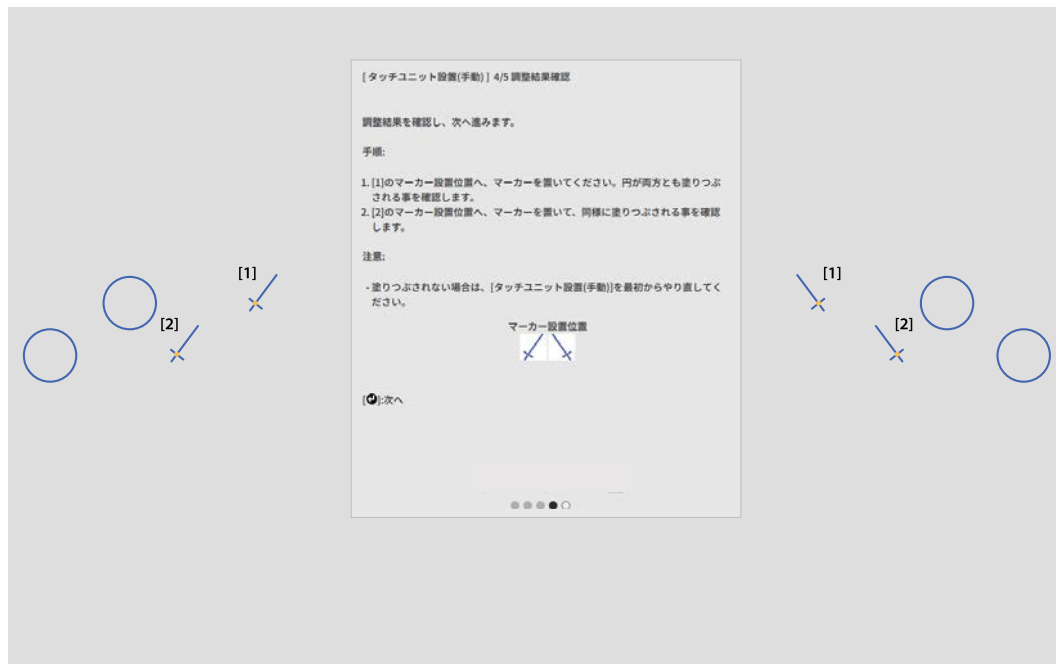
- 一方のポインターを動かすと、もう一方のポインターも少し動きます。ポインターの位置を確認しながら、左右それぞれのポインターを交互に少しずつ調整することをお勧めします。
- ポインターが目標位置を通り過ぎてしまったときは、リモコンの【7】または【9】ボタンでポインターを逆方向に動かします。



- ポインターを意図どおりに動かせなくなったときは、リモコンの【戻る】ボタンを押して手順6からやり直してください。

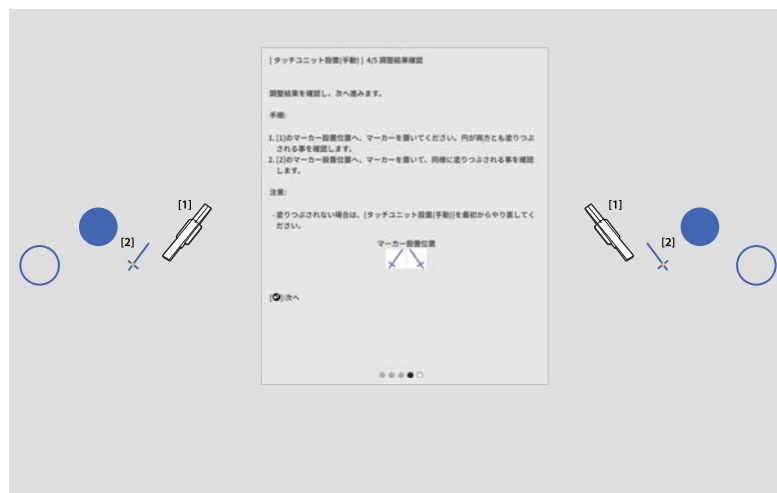
10

画面の指示に従ってマーカー設置位置にマーカーを置いて、調整結果を確認する

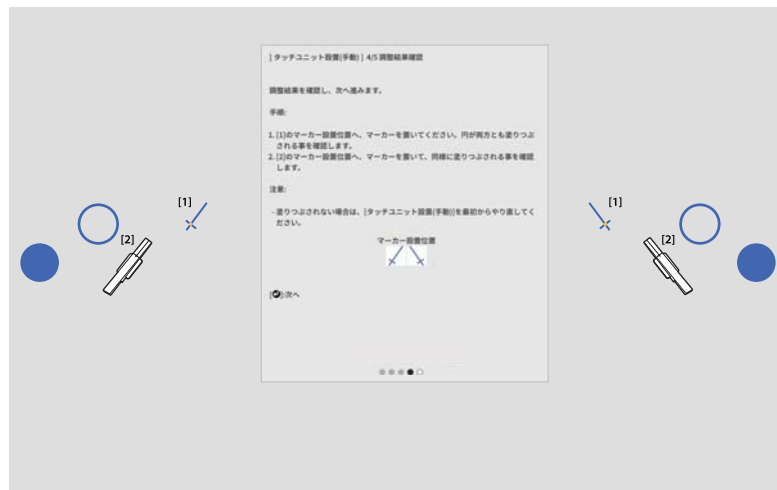


マーカー設置位置にマーカーを置いたときに、投写画面に表示されている円が塗りつぶされることを確認します。

[1]の位置にマーカーを置いたとき

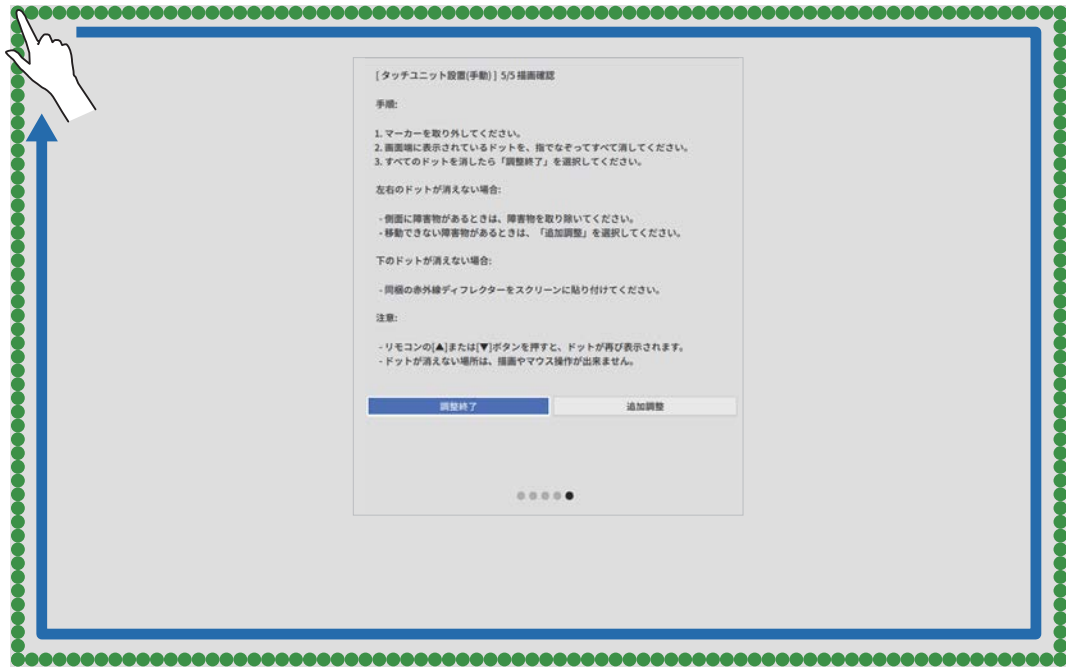


[2]の位置にマーカーを置いたとき



11

マーカーを取り外して、投写画面に表示されたドットを指でなぞって消す



ドットがすべて消えたら、[調整終了] を選択します。

「指タッチ操作の位置合わせ」 [p.117](#)へ進んでください。

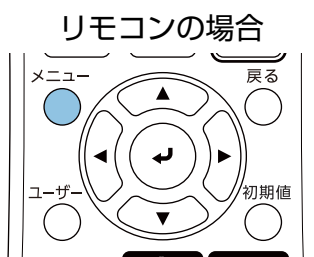
一部のドットが消えないときは、[追加調整] を選択します。画面の指示に従って再度調整してください。

指タッチ操作の位置合わせ

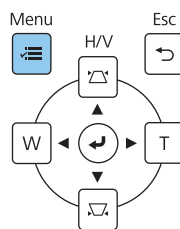
プロジェクターが指の位置をより正確に認識できるよう、指タッチ位置合わせを行います。

1

プロジェクターの【メニュー】ボタンを押す



操作パネルの場合



2 [設置] メニューで [タッチユニット] を選択する

よく使う項目	固定設置	オフ
映像調整	テストパターン	
信号入出力	セッティングプレート調整が…	
設置	縦置き	しない
表示	設置モード	フロント・上下反転
動作	自動画面調整	
管理	幾何学歪み補正	ポイント補正
ネットワーク	デジタルズーム	▼
ペン/指タッチ	ELPCB02を接続する	オフ
インタラクティブ	タッチユニット	
メモリー	リモコン受光部	オフ
節電	プロジェクターID	オフ
初期・全体設定	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	
	パターン表示	
	パターン種類	
	無信号時画面	青

3 [指タッチ位置合わせ] を選択する

[タッチユニット]	戻る
設置パターン	
電源	オン
タッチユニット設置(自動)	
タッチユニット設置(手動)	
指タッチ位置合わせ	
タッチ補正範囲	狭い

4 [はい] を選択する

[指タッチ位置合わせ]

注意: 調整中は投写面に手や障害物を置かないでください。

- スクリーンに表示されるマークを指でタッチします。
- マークが移動するまで指を離さないでください。
- 右下に表示される最後のマークまでこの操作を繰り返してください。

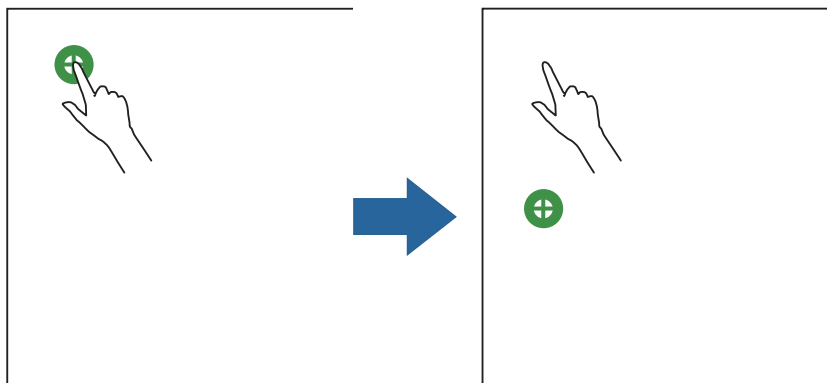
準備ができれば、開始します。よろしいですか？

はい いいえ

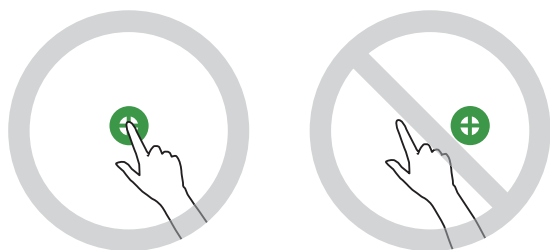
投写画面の左上にドットが表示されます。

5 表示されているドットを中心に指で押す

ドットが消えて次の位置にドットが表示されたら、指を離します。

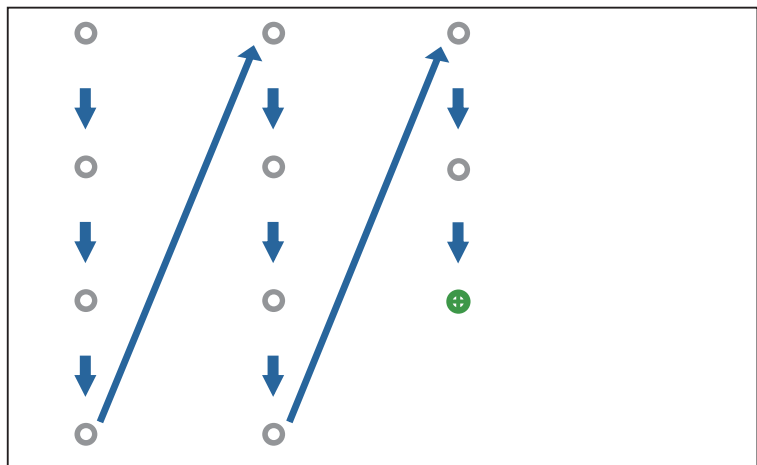


• 必ずドットを中心に押してください。中心以外を押すと位置ずれの原因となります。



• 手の甲など指以外の箇所が触れないようにしてください。

6 すべてのドットが消えるまで、手順5を繰り返す



すべてのドットが消えると、指タッチ位置合わせが完了します。



- 押す位置を間違えたときは、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押してください。1つ前のドットからやり直せます。2つ以上前のドットからやり直すことはできません。
- 指タッチ位置合わせを中止するときは、【戻る】ボタンを2秒間押します。
- すべてのドットが消えてから指タッチ位置合わせが完了するまで、数秒かかることがあります。

一括設定機能

1台のプロジェクターで設定したプロジェクターメニューの内容を、他の複数のプロジェクターに一括で設定できます（一括設定機能）。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。以下のいずれかの方法で設定します。

- USBメモリーを使って設定する。
- コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する。
- Epson Projector Managementを経由して設定する。

本書では、USBメモリーを使う方法とUSBケーブルを使う方法を説明します。

Epson Projector Managementを経由して設定する方法は、『Epson Projector Management 操作ガイド』をご覧ください。



- 以下の設定をコピーしたくないときは、[一括設定範囲] を [一部] に設定してください。
 - [パスワードプロテクト]
 - [信号入出力] メニューの [EDID]
 - [ネットワーク] メニュー
- プロジェクターの位置調整を行う前に一括設定を行ってください。一括設定機能では、幾何学歪み補正などの投写画面の調整値も反映されます。プロジェクターの位置調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。
- 一括設定機能を使うと、登録してあるユーザーロゴも他のプロジェクターに反映されます。機密情報などをユーザーロゴとして登録しないでください。



注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。

USBメモリーを使って設定する

USBメモリーを使って一括設定を行う方法を説明します。



- FAT形式でフォーマットしたUSBメモリーを使用してください。
- セキュリティー機能が付いているUSBメモリーでは、一括設定機能が利用できません。セキュリティー機能の付いていないUSBメモリーをお使いください。
- USBカードリーダーやUSBハードディスクでは、一括設定機能は利用できません。

■ 設定値をUSBメモリーに保存する

- 1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

2

USBメモリーをプロジェクターのUSB-A端子に接続する



- USBメモリーは、プロジェクターに直接接続してください。USBハブを介してUSBメモリーを接続すると、設定値の保存が正常に行われなかったりすることがあります。
- 空のUSBメモリーを接続してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく保存できないことがあります。

3

リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

On/StandbyインジケータとStatusインジケータが青色に、LaserインジケータとTempインジケータが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離してください。

On/Standby  ■

Status  ■

Laser  ■

Temp  ■

すべてのインジケータが点滅になると、一括設定ファイルの書き込みが始まります。



注意

- ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。
- ファイルの書き込み中は、プロジェクターからUSBメモリーを抜かないでください。USBメモリーを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、On/Standbyインジケータのみが青色に点灯します。

On/Standby  ■

Status  □

Laser  □

Temp  □

プロジェクターの電源がオフになったら、USBメモリーを抜きます。



- 一括設定したファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときはPJCONFDATAの後ろに任意の文字列を追加してください。他のファイル名に変更すると、プロジェクターが正しく認識できないことがあります。
- 2バイト以上の文字は、ファイル名に使えません。

■ 保存した設定値を他のプロジェクターに反映する

1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケータがすべて消灯していることを確認する

2 一括設定ファイルを保存したUSBメモリーを、プロジェクターのUSB-A端子に接続する



USBメモリーには一括設定ファイル以外のデータを入れないでください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく反映できないことがあります。

3 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

On/StandbyインジケータとStatusインジケータが青色に、LaserインジケータとTempインジケータが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離してください。インジケータは約75秒点灯します。

On/Standby 

Status 

Laser 

Temp 

すべてのインジケータが点滅に変わると、設定値の書き込みが始まります。



注意

- 設定値の書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。
- 設定値の書き込み中は、プロジェクターからUSBメモリーを抜かないでください。USBメモリーを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、On/Standbyインジケータのみが青色に点灯します。

On/Standby 

Status 

Laser 

Temp 

プロジェクターの電源がオフになったら、USBメモリーを抜きます。

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する



一括設定機能の対応OSは以下のとおりです。

- Windows 7 以降
- OS X 10.11以降

■ 設定値をコンピューターに保存する

- 1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケータがすべて消灯していることを確認する
- 2 コンピューターのUSB 端子とプロジェクターのUSB-B1 端子をUSB ケーブルで接続する
- 3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】 ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

On/StandbyインジケータとStatusインジケータが青色に、LaserインジケータとTempインジケータが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯したら、【戻る】 ボタンを離してください。

On/Standby  

Status  

Laser  

Temp  

コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

- 4 リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイル (PJCONFDATA.bin) をコンピューターに保存する



一括設定ファイルのファイル名を変更するときはPJCONFDATAの後ろに任意の文字列を追加してください。他のファイル名に変更すると、正しく認識できないことがあります。2バイト以上の文字は、ファイル名に使えません。

5 コンピューター上で「USBデバイスの取り出し」を行ってから、USBケーブルを抜く



Macをお使いの場合は、「"EPSON_PJ"の取り出し」を行ってください。

プロジェクターの電源がオフになり、On/Standbyインジケータのみが青色に点灯します。

On/Standby  

Status  

Laser  

Temp  

■ 保存した設定値を他のプロジェクターに反映する

1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケータがすべて消灯していることを確認する

2 コンピューターのUSB 端子とプロジェクターのUSB-B1 端子をUSB ケーブルで接続する

3 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】 ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

On/StandbyインジケータとStatusインジケータが青色に、LaserインジケータとTempインジケータが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯したら、【メニュー】 ボタンを離してください。

On/Standby  

Status  

Laser  

Temp  

コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

4 コンピューターに保存した一括設定ファイル (PJCONFDATA.bin) をリムーバブルディスクの最上位フォルダーにコピーする



リムーバブルディスク上に、一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをコピーしないでください。

5 コンピューター上で「USBデバイスの取り外し」を行ってから、USBケーブルを抜く

 Macをお使いの場合は、「"EPSON_PJ"の取り出し」を行ってください。

すべてのインジケータが点滅すると、設定値の書き込みが始まります。

⚠ 注意

設定値の書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、On/Standbyインジケータのみが青色に点灯します。







On/Standby 





Status 

Laser 

Temp 

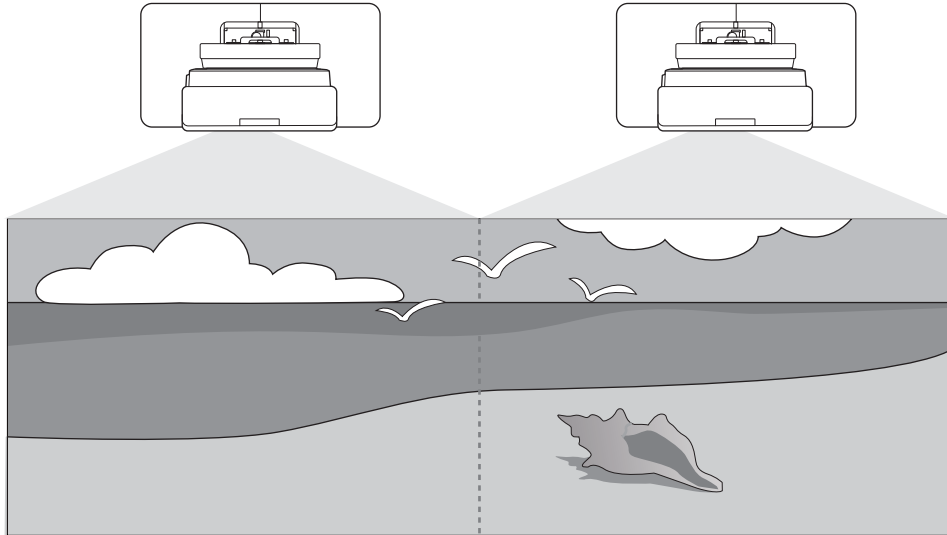
設定がうまくいかないときは

確認	対処法
<p>Laserインジケータ、Tempインジケータが、橙色に速く点滅していませんか？</p> <p>On/Standby </p> <p>Status </p> <p>Laser  </p> <p>Temp  </p>	<p>一括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーまたはUSBケーブルが正しく接続できていない可能性があります。USBメモリーまたはUSBケーブルを取り外し、プロジェクターの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。</p>

確認	対処法
<p>On/Standbyインジケータと Statusインジケータが青色に、 LaserインジケータとTempインジ ケータが橙色に、それぞれ速く点滅 していませんか？</p> <p>On/Standby </p> <p>Status </p> <p>Laser </p> <p>Temp </p>	<p>設定値の書き込みに失敗して、プロジェクターのファームウ ェアに異常が生じた可能性があります。ご使用をやめ、電源 プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお 問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。</p>

本機を複数台並べて設置する (マルチプロジェクション)

複数台のプロジェクターを並べて設置して、1つの大きな画面を投写できます (マルチプロジェクション)。



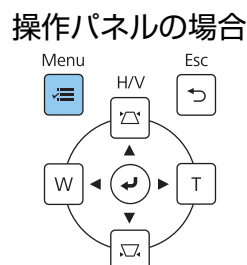
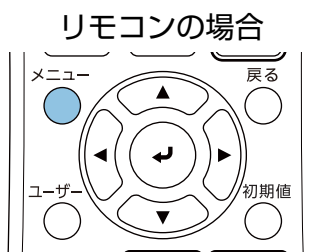
マルチプロジェクションを行うときは、以下の順番で接続や必要な設定を行います。

マルチプロジェクションの設定を行うときは、プロジェクターメニューから [動作] - [スリープモード] を [オフ] にすることをお勧めします。

- 1 プロジェクターIDの設定 (☛ p.127)
- 2 マルチプロジェクションの映像設定 (☛ p.129)
- 3 プロジェクターの同期設定 (☛ p.130)

プロジェクターID の設定

1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す



2 【設置】メニューで【プロジェクターID】を選択する

よく使う項目	固定設置	オフ
映像調整	テストパターン	
信号入出力	セッティングプレート調整が…	
設置	縦置き	しない
表示	設置モード	フロント・上下反転
動作	自動画面調整	
管理	幾何学歪み補正	ポイント補正
ネットワーク	デジタルズーム	▼
ペン/指タッチ	ELPCB02を接続する	オフ
インタラクティブ	タッチユニット	
メモリー	リモコン受光部	オフ
節電	プロジェクターID	オフ
初期・全体設定	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	
	パターン表示	
	パターン種類	
	無信号時画面	音

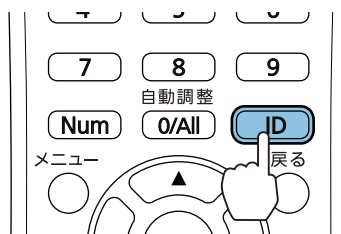
3 対象のプロジェクターに設定するID番号を選択する

[プロジェクターID]	戻る
✓ オフ	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

4 【戻る】ボタンを押してメニューを終了する

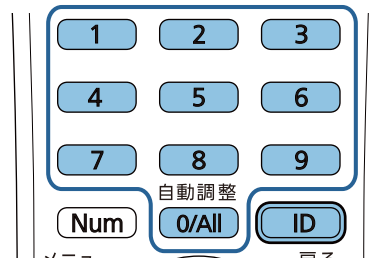
残りのプロジェクターについて、手順1～4を繰り返します。

5 操作対象のプロジェクターにリモコンを向けて、【ID】ボタンを押す



投写画面上に現在のID番号が表示されます。

6 【ID】 ボタンを押したまま、操作対象のプロジェクターIDと同じ数字のボタンを押す



選択したIDが設定されたプロジェクターのリモコン操作が有効になります。



- [プロジェクターID] を [オフ] に設定しているときは、リモコンで選択したID設定に関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。
- リモコンでIDを0に選択したときは、プロジェクターIDの設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
- 複数のリモコンを同時に操作すると、赤外線の影響により意図しない動作となることがあります。

マルチプロジェクションの映像調整

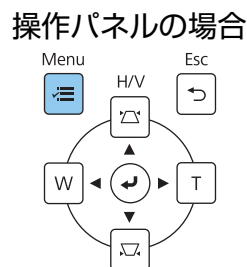
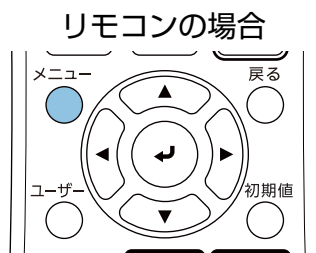


プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写開始後、30分以上経ってから映像の調整を行ってください。

EB-735Fi/EB-725Wiをお使いの場合

1 プロジェクターの電源をオンにする

2 【メニュー】 ボタンを押す



3 下記の各メニューから、必要な設定を行う

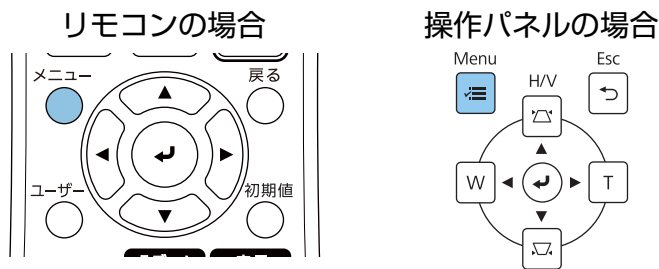
設定方法の詳細はプロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。

[映像調整] - [カラーモード] (リモコンの【カラーモード】ボタンを押して実行します)	映像全体の色が均一に見えるように、各プロジェクターで同じ項目を選択します。
[動作] - [光源明るさ制御] - [光源モード]	映像全体の明るさを合わせます。[カスタム]を選択して、一番暗いプロジェクターを基準に [明るさレベル] を調整してください。
[管理] - [ユニフォーミティー] [映像調整] - [RGBCMY]	映像全体の色が均一に見えるように、プロジェクターごとの映像の色味を調整します。

プロジェクターの同期設定 (インタラクティブ機能を使う場合のみ)

事前にワイヤードリモコンケーブル (ELPKC28) でプロジェクター同士を接続します。詳細は「複数台のプロジェクターを近くに設置するときは」 p.15をご覧ください。

1 【メニュー】 ボタンを押す



2 [ペン/指タッチ] メニューの [複数台設置] を選択する

よく使う項目	自動ペン位置合わせ
映像調整	手動ペン位置合わせ
信号入出力	タッチユニット
設定	複数台設置
表示	ペンホバリング オン
動作	PC操作
管理	ペン/指タッチ初期化
ネットワーク	インタラクティブ
ペン/指タッチ	描画機能を利用する オン
インタラクティブ	ツールバー表示 常に表示
メモリー	描画エリア表示
節電	画面クリア確認 オン
初期・全体設定	ペンボタン動作 消しゴム
	時計表示 日付&時刻 ^
	日付 YYYY-MM-DD
	時刻 HH:MM
	プリント
	保存
	メール

3

[複数台同期] を選択する

[複数台設置]		戻る
赤外線強度	標準	
複数台同期	赤外線	







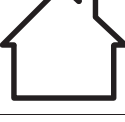




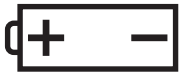


4

[有線接続] を選択する

[複数台同期]		戻る
✓	有線接続	
	赤外線	
	有線/赤外線	

安全規格対応シンボルマークと説明

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

シンボルマーク	対応規格	意味
	IEC60417 No.5007	電源 ON 電源への接続を示す。
	IEC60417 No.5008	電源 OFF 電源からの切り離しを示す。
	IEC60417 No.5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通电状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
	ISO7000 No.0434B IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
	IEC60417 No.5041	注意 (高温) 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
	IEC60417 No.6042 ISO3864-B3.6	注意 (感電危険) 感電 (電撃) の危険性がある機器・装置であることを示す。
	IEC60417 No.5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。
	IEC60417 No.5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラス及びマイナス電極の接続を示す。
	---	
	IEC60417 No.5001B	電池(一般) 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。
	IEC60417 No.5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
	---	
	IEC60417 No.5019	保護接地 障害発生時の電撃 (感電) 保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
	IEC60417 No.5017	アース Ⓧ の使用が明示的に要請されない場合の接地 (アース) 端子であることを示す。

シンボルマーク	対応規格	意味
	IEC60417 No.5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。
	IEC60417 No.5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
	IEC60417 No.5172	クラスⅡ機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスⅡ機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
	ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
	ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
	---	プロジェクター動作中の投写窓覗きこみ禁止を示す。
	---	プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。
	ISO3864 IEC60825-1	注意(レーザー放射) 製品上に注意が必要なレベルのレーザー放射部があることを示す。
	ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
	IEC60417 No.5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
	ISO3864 IEC60417 No.5057	注意(可動部品) 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
	IEC 60417-6056	注意(可動ファンのブレード) 保護規定上、可動ファンのブレードから離れなければならないことを示す。
	IEC 60417-6043	注意(鋭利な角) 保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを示す。
	--	プロジェクター動作中の投写窓覗きこみ禁止を示す。
	ISO7010 No. W027 ISO 3864	警告、光放射 (UV、可視光、IRなど) 光放射の近くにいるときは、目や肌に負傷を与えないように注意することを示す。
	IEC60417 No.5109	居住区域使用禁止 居住区域での使用に適さない電気機器・装置であることを示す。

商標について

Mac、OS Xは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

© 2020 Seiko Epson Corporation

2023.01 413966401JAPDF